

岩洞第一發電所岩洞堰堤管理事務所建替工事

【 建築工事 】
(新築工事)

図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面リスト	
A-01	新築工事 特記仕様書(1)	
A-02	新築工事 特記仕様書(2)	
A-03	新築工事 特記仕様書(3)	
A-04	新築工事 特記仕様書(4)	
A-05	新築工事 特記仕様書(5)	
A-06	新築工事 特記仕様書(6)	
A-07	建築面積・敷地求積図	A1:1/100 A1:1/200 A2:1/200 A2:1/600
A-08	仕上表	
A-09	案内図・配置図	A1:1/200 A2:1/600
A-10	1階平面図・2階平面図	A1:1/50 A2:1/100
A-11	立面図	A1:1/100 A2:1/200
A-12	東立面図・南立面図	A1:1/50 A2:1/100
A-13	北立面図・西立面図	A1:1/50 A2:1/100
A-14	A～A断面図・B～B断面図	A1:1/50 A2:1/100
A-15	建具キープラン	A1:1/50 A2:1/100
A-16	建具表	A1:1/50 A2:1/100
A-19	1階・2階天井伏図	A1:1/50 A2:1/100
A-20	1階平面詳細図	A1:1/30 A2:1/60
A-21	2階平面詳細図	A1:1/30 A2:1/60
A-22	矩計図	A1:1/30 A2:1/60
A-23	階段詳細図	A1:1/30 A2:1/60
A-24	展開図 車庫・玄関	A1:1/50 A2:1/100
A-25	展開図 1階廊下・1階踏込 女子トイレ・1階男子トイレ・洗面所・電気温水室	A1:1/50 A2:1/100
A-26	展開図 1階休息室・2階監視室・2階休息室	A1:1/50 A2:1/100
A-27	展開図 2階湯沸室・2階廊下・2階トイレ・2階洗面脱衣室・2階浴室	A1:1/50 A2:1/100
A-28	採光・排煙・換気計算	A1:1/50 A2:1/100
		A1:1/50 A1:1/200 A1:1/600 A2:1/100 A2:1/200 A2:1/600
S-01	構造関係特記仕様書(1)	
S-02	構造関係特記仕様書(2)	
S-03	配筋標準図(1)	
S-04	配筋標準図(2)	
S-05	配筋標準図(3)	
S-06	配筋標準図(4)	
S-07	配筋標準図(5)	
S-08	調査位置平面図・ボーリング柱状図・スクリーウエイト貫入試験	A1:1/400 A2:1/800
S-09	基礎(ラッパコンクリート)伏図・基礎伏図	A1:1/30 A2:1/100
S-10	1階梁・床伏図・1階柱・壁・2階梁・床伏図	A1:1/50 A2:1/100
S-11	2階柱・壁・R階梁・R階床伏図	A1:1/50 A2:1/100
S-12	基礎・柱・梁・壁スラブ・叩き 各断面図	A1:1/30 A1:1/20 A2:1/60 A2:1/40
S-13	軸組図	A1:1/100 A2:1/200
S-14	架橋配筋図	A1:1/30 A2:1/60
S-15	鉄骨標準図(1)	
S-16	鉄骨標準図(2)	
S-17	鉄骨標準図(3)	
S-18	置屋根柱伏図・置屋根母屋伏図	A1:1/30 A2:1/100
S-19	置屋根重木伏図	A1:1/50 A2:1/100
S-20	置屋根軸組図	A1:1/100 A2:1/200
S-21	鉄骨部材リスト・置屋根詳細図	A1:1/10 A2:1/20

【 建築工事 】
(解体工事)

[illegible]

【 電氣工事 】

[illegible]

【機械工事】

[illegible]

訂正	月	日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—	
					製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号
							.	図面リスト		A — 00
							.			

9-2

防水

工事

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

設置標準仕様書表9.3.1～9.3.3による

防水層の種類

種別	施工箇所	可塑剤防止付シートの材質	所収材	仕上塗料	歩行の様
・S-F1					
・S-F2					
・S-W1					
・S-W2					
・S1-F1					
・S1-F2					
・S1-W1					
・S1-W2					

防水層の種類(管内防水)

種別	施工箇所	保護層
・S-C1		

固定金具の材質及び形状

断面3.0mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を被覆加工したもの

断端工法(S1-W1、S1-W2の場合)の防錆用フィルム

設置する・設置しない

継ぎ工法においてPCコンクリート部材下地の目地処理

行う(・図示)・行わない

PCコンクリート(S-F1、S1-F1の場合)下地の入隅部の増張り

行う(・図示)・行わない

機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法・図示による

4. 塗膜防水

塗膜防水の種類

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層
・X-1			
・X-2			
・Y-1			
・Y-2			

防水の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・C-SU1		・C-SUP	

下地処理

コンクリートの打ち継ぎ箇所の処理

図示

6. 断気装置

断気の種類

断気の種類	断気装置の種類	設置数量
9-1-1-1 9-1-1-2 9-1-1-3 9-1-1-4 9-1-1-5 9-1-1-6	※ アスファルトルーフィング類及びシート製造用の仕様による	※ アスファルトルーフィング類及びシート製造用の仕様による
X-1	※ 防水材の主要材の製造所の仕様による	※ 防水材の主要材の製造所の仕様による

シーリング

シーリング材の種類、施工箇所

(9.7.2)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書(表9.7.1)による。但し、外壁タイル接着剤塗りの場合のシーリング材は1票に、カーテンウォールの場合のシーリングは1票による。

施工箇所	種類	規格(記号)

シーリング材の目地寸法

(9.7.3)

箇所	目地寸法	目地寸法	目地寸法
縦	※20mm以上・※5mm以上・※10mm以上	横	※20mm以上・※5mm以上・※10mm以上

接着性試験

(9.7.5)

※ 簡易接着性試験

※ 引張接着性試験(部位)

※ 提出する

※ 提出しない

9. 防水工監修書

1. 施工

2. 石材

石材の割付

※標準仕様書10.1.3(1)(ア)(イ)による・図示による

石材仕上げののみみ部分の仕上げ

※標準仕様書0.1.3(2)(ア)による

取り付用モルタル、既設合の目地用モルタル、浸透性防水剤、石面塗料、裏打ち処理剤、金物の固定に使用する充填材

※専門工事業者の指定する製品

テラゾーブロック

石材の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	石材の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

2. 石材

石材の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	石材の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

3. 有縁石

有縁石の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	有縁石の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

10-2

石

工事

3. 外壁型工法

外壁型工法の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	外壁型工法の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

4. 内装型工法

内装型工法の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	内装型工法の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

5. 外壁型工法

外壁型工法の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	外壁型工法の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

6. 床及び階段の石張り

床及び階段の石張りの種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	床及び階段の石張りの種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・階段						

7. 床、甲板等の石張り

床、甲板等の石張りの種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	床、甲板等の石張りの種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・甲板						

8. アーチ、上げ重等の石張り

アーチ、上げ重等の石張りの種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	アーチ、上げ重等の石張りの種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・アーチ						
・上げ重						

11. 伸張調整目地及びびり割れ誘発目地

伸張調整目地及びびり割れ誘発目地の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	伸張調整目地及びびり割れ誘発目地の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床面						
・壁面						

12. タイル工事

タイル工事の種類、寸法

(10.2.1)(表10.2.1)

施工箇所	タイル工事の種類	品質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ
------	----------	----	-----------	--------	-------

23-2

舗装工事

①砂利敷き

9.路面標示用塗料

・鋪石鋪装

(22.8.2) (22.8.3)

種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	割付け	基層 (mm)
・小鋪石 (花こう岩)	・圓形	・80	・圓形	・20mm+基層 ・70 ・737mm+混合層 ・50

(22.8.2)

クッション材 ※砂 ・空練りモルタル

仕上りの平坦性 ※歩行に支障のないものとし、鋪石間の設差3mm以内とする

(22.8.2)

種類 ・道路 ※A種 ・図示による

・建物前面その他 ※B種 ○図示による

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
・3種1号	・塗膜	・砂吹付	・白	・150	・1.0
・1種	○吹付	・吹付	・	・100	・
・2種	○吹付	・吹付	・	・	・

○電解発生性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23

植栽工事

1.植栽地の確認等

2.植栽基準の整備

3.植込み用土

4.土壌改良材

5.植樹

6.芝、吹付けは種地被覆

7.屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指標 (pH) 試験 ・行う ・行わない

(23.1.3)

電気伝導率 (EC) の試験 ・行う ・行わない

整備内容 (23.2.2) (表23.2.1~2)

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	・土壌改良材
・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する
	・B種	(※100 ・120 ・150)	・植栽部分	・適用しない
	・C種	樹高7m以上～12m未満	・図示	・
	・D種	(※80 ・100)	・	・
		樹高3m以上～7m未満	・	・
		(※60 ・80)	・	・
		樹高3m未満	・	・
		(※50 ・60)	・	・
・芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分	・適用する
	・	・	・図示	・適用しない

植栽基準の排水設備 (23.2.2)

(樹きよ、開きよ、排水層縦穴排水等) ・設ける (※図示 ・)

・現場発生土の良質土 ・寄土 (23.2.3)

種類、指定量 (23.2.3) (22.2.4)

・パーク景観制

・施工箇所 ・植栽範囲 | ・図示 | |

使用量 植栽基準面積1㎡あたり (・50L ・) | | |

・内訳発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)

・施工箇所 ・植栽範囲 | ・図示 | |

使用量 植栽基準面積1㎡あたり (・10L ・) | | |

樹木 樹種、寸法、株立数等 | ・図示による ・ | (23.3.2) |

刈込みものの適用 ・適用する (数量: ・) | ・適用しない | |

支柱 支柱の種類 | ※丸太 (間伐材) ・夏竹 ・ | (23.3.2) |

防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ | | |

形式 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八つ掛け形 | | |

・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形 | | |

幹巻用材料 ※幹巻用テープ ・わら、こも | | (23.3.2) |

新植、移植樹木、芝等の植保証 (23.3.4) (23.4.7)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の植保証の期間 ※引渡の日から1年 ・無し ・ | | |

移植樹木の植保証期間を行う期間 ※引渡の日から1年 ・無し ・ | | |

芝 種類 | ※コウライシバ ・ノシバ ・ | (23.4.2~3) |

芝張りの工法 (平地) ※目地張り ・べた張り (法面) ・目地張り ※べた張り | | |

吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	種子の量 (g/㎡)	備考
・芝 (播種後2年以内)		
・		

・地被類 (23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・	・	・

植栽基準及び材料 (23.5.2)

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ ・図示による ・ | | |

排水層 ・粒直径材 (層の厚さ: ・) | | |

植込み用土 ・板状成形品 | | |

・改良土 ・人工軽量土 | | |

・屋上緑化軽量システム

耐根層、耐根層保護層、排水層、透水層及び土壌層等植栽基礎工法 ※システム製造所の仕様による ・ | | |

樹木、芝及び地被類 (23.5.3)

樹種、寸法、株立数等 ・図示による ・ | | |

刈込みものの適用 ・適用する (数量: ・) | ・適用しない | |

見切り材、護根材、排水孔、マルチング材等 ・図示による ・ | | (23.5.3) |

工法 (23.5.4)

平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による ・ | | |

支柱 ・設置する (形式 ・図示 ・) | | |

かん水装置 ・設置する (種類 ・図示 ・) | | |

訂正

月

日

設計年月日

設計

検図

受領印

工事名称

設計番号

製図

担当

受領年月日

図面番号

縮尺

図面番号

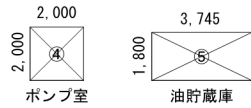
・

岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事

—

新築工事 特記仕様書 No. 6

A新築—06



ポンプ室

④ $2,000 \times 2,000 = 4.0 \text{ m}^2$

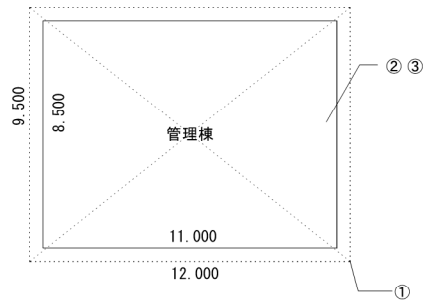
建築面積 ④ = 4.00 m^2

1階床面積 ④ = 4.00 m^2

油貯蔵庫

⑤ 建築面積 ⑤ = 6.74 m^2

1階床面積 ⑤ = 6.74 m^2



管理棟

① $12,000 \times 9,500 = 114.00 \text{ m}^2$

② $11,000 \times 8,500 = 93.50 \text{ m}^2$

③ $11,000 \times 8,500 = 93.50 \text{ m}^2$

建築面積 ① = 114.00 m^2

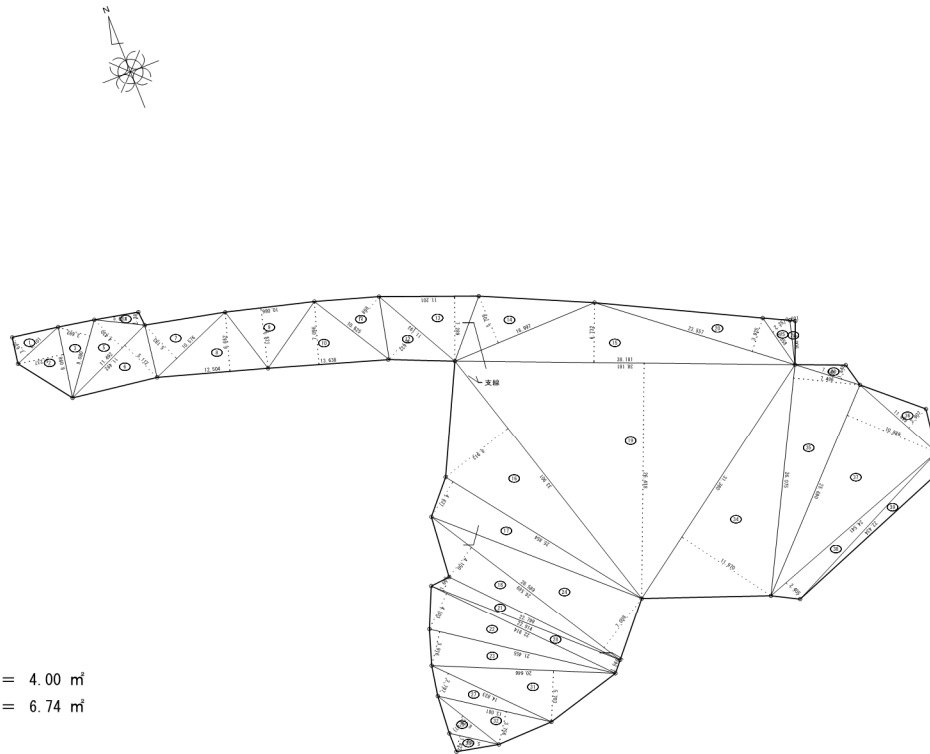
1階床面積 ② = 93.50 m^2

2階床面積 ③ = 93.50 m^2

延べ床面積 ②+③ = 187.00 m^2

④ $2,000 \times 2,000 = 4.00 \text{ m}^2$

⑤ $3,745 \times 1,800 = 6.74 \text{ m}^2$



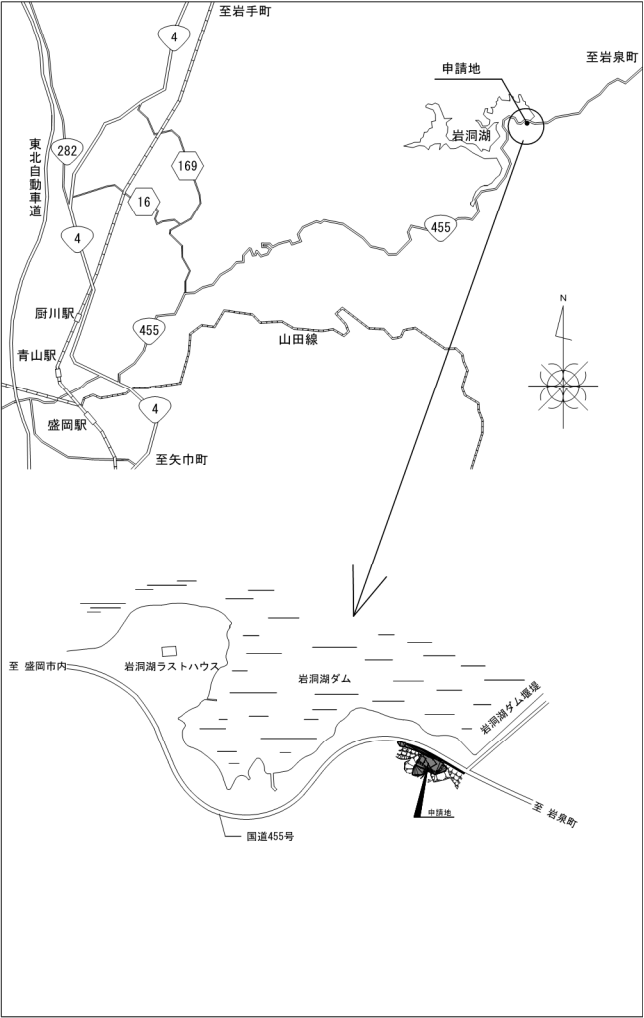
現況図面 S=1/300

番号	区画	面積	用途	備考
1	4.131	2.439	14.46243	8.022131
2	4.139	2.227	14.46243	8.022131
3	4.139	2.432	14.46243	8.022131
4	4.137	1.281	14.46243	8.022131
5	11.182	4.522	14.46243	8.022131
6	11.182	5.117	14.46243	8.022131
7	18.376	5.133	14.46243	8.022131
8	12.334	4.427	14.46243	8.022131
9	12.334	4.427	14.46243	8.022131
10	12.334	4.427	14.46243	8.022131
11	12.334	4.427	14.46243	8.022131
12	12.334	4.427	14.46243	8.022131
13	12.334	4.427	14.46243	8.022131
14	12.334	4.427	14.46243	8.022131
15	12.334	4.427	14.46243	8.022131
16	12.334	4.427	14.46243	8.022131
17	12.334	4.427	14.46243	8.022131
18	12.334	4.427	14.46243	8.022131
19	12.334	4.427	14.46243	8.022131
20	12.334	4.427	14.46243	8.022131
21	12.334	4.427	14.46243	8.022131
22	12.334	4.427	14.46243	8.022131
23	12.334	4.427	14.46243	8.022131
24	12.334	4.427	14.46243	8.022131
25	12.334	4.427	14.46243	8.022131
26	12.334	4.427	14.46243	8.022131
27	12.334	4.427	14.46243	8.022131
28	12.334	4.427	14.46243	8.022131
29	12.334	4.427	14.46243	8.022131
30	12.334	4.427	14.46243	8.022131
31	12.334	4.427	14.46243	8.022131
32	12.334	4.427	14.46243	8.022131
33	12.334	4.427	14.46243	8.022131
34	12.334	4.427	14.46243	8.022131
35	12.334	4.427	14.46243	8.022131
36	12.334	4.427	14.46243	8.022131
37	12.334	4.427	14.46243	8.022131
38	12.334	4.427	14.46243	8.022131
39	12.334	4.427	14.46243	8.022131
40	12.334	4.427	14.46243	8.022131
41	12.334	4.427	14.46243	8.022131
42	12.334	4.427	14.46243	8.022131
43	12.334	4.427	14.46243	8.022131
44	12.334	4.427	14.46243	8.022131
45	12.334	4.427	14.46243	8.022131
46	12.334	4.427	14.46243	8.022131
47	12.334	4.427	14.46243	8.022131
48	12.334	4.427	14.46243	8.022131
49	12.334	4.427	14.46243	8.022131
50	12.334	4.427	14.46243	8.022131
51	12.334	4.427	14.46243	8.022131
52	12.334	4.427	14.46243	8.022131
53	12.334	4.427	14.46243	8.022131
54	12.334	4.427	14.46243	8.022131
55	12.334	4.427	14.46243	8.022131
56	12.334	4.427	14.46243	8.022131
57	12.334	4.427	14.46243	8.022131
58	12.334	4.427	14.46243	8.022131
59	12.334	4.427	14.46243	8.022131
60	12.334	4.427	14.46243	8.022131
61	12.334	4.427	14.46243	8.022131
62	12.334	4.427	14.46243	8.022131
63	12.334	4.427	14.46243	8.022131
64	12.334	4.427	14.46243	8.022131
65	12.334	4.427	14.46243	8.022131
66	12.334	4.427	14.46243	8.022131
67	12.334	4.427	14.46243	8.022131
68	12.334	4.427	14.46243	8.022131
69	12.334	4.427	14.46243	8.022131
70	12.334	4.427	14.46243	8.022131
71	12.334	4.427	14.46243	8.022131
72	12.334	4.427	14.46243	8.022131
73	12.334	4.427	14.46243	8.022131
74	12.334	4.427	14.46243	8.022131
75	12.334	4.427	14.46243	8.022131
76	12.334	4.427	14.46243	8.022131
77	12.334	4.427	14.46243	8.022131
78	12.334	4.427	14.46243	8.022131
79	12.334	4.427	14.46243	8.022131
80	12.334	4.427	14.46243	8.022131
81	12.334	4.427	14.46243	8.022131
82	12.334	4.427	14.46243	8.022131
83	12.334	4.427	14.46243	8.022131
84	12.334	4.427	14.46243	8.022131
85	12.334	4.427	14.46243	8.022131
86	12.334	4.427	14.46243	8.022131
87	12.334	4.427	14.46243	8.022131
88	12.334	4.427	14.46243	8.022131
89	12.334	4.427	14.46243	8.022131
90	12.334	4.427	14.46243	8.022131
91	12.334	4.427	14.46243	8.022131
92	12.334	4.427	14.46243	8.022131
93	12.334	4.427	14.46243	8.022131
94	12.334	4.427	14.46243	8.022131
95	12.334	4.427	14.46243	8.022131
96	12.334	4.427	14.46243	8.022131
97	12.334	4.427	14.46243	8.022131
98	12.334	4.427	14.46243	8.022131
99	12.334	4.427	14.46243	8.022131
100	12.334	4.427	14.46243	8.022131

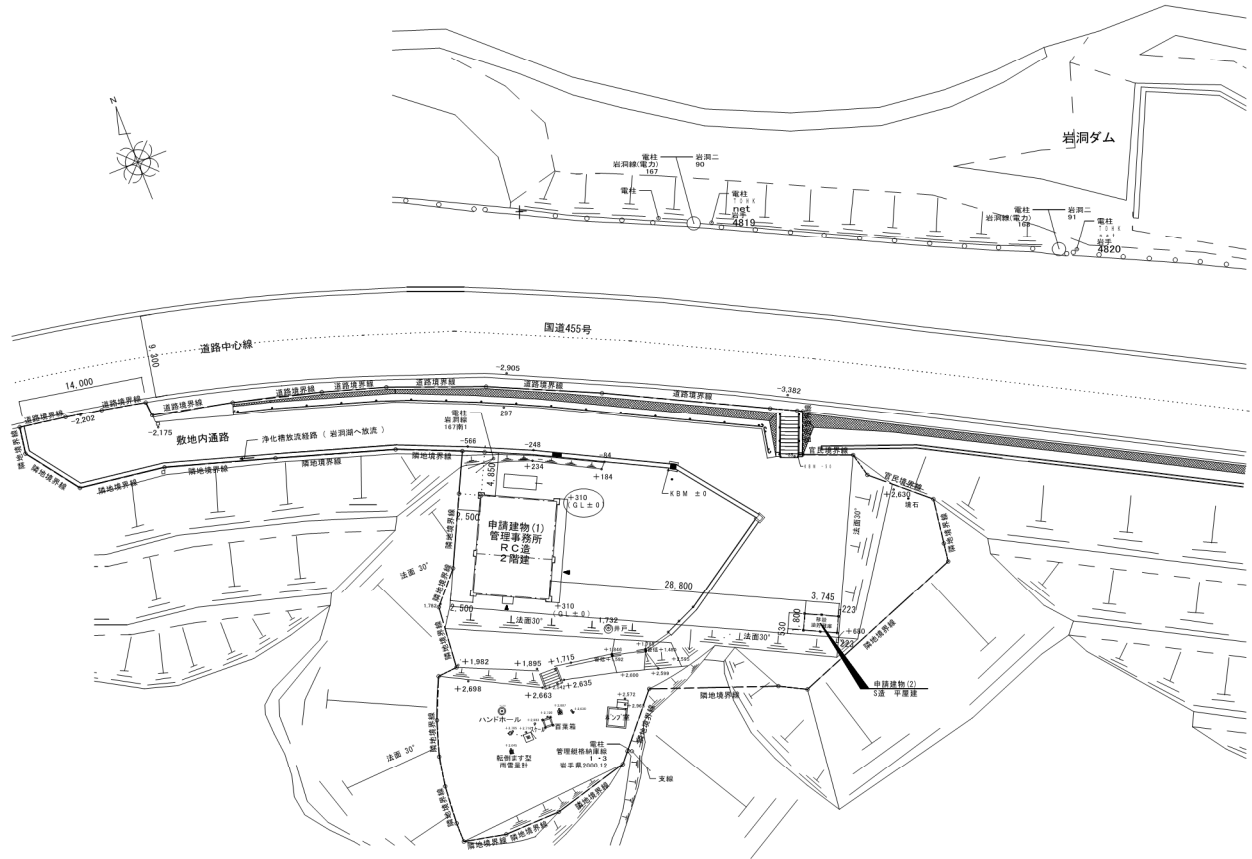
	申請建物		申請建物	既存建物	合 計
	管 理 棟	油貯蔵庫	合 計		
建築面積	114.00 m ²	6.74 m ²	120.74 m ²	4.00 m ²	124.74 m ²
1階床面積	93.50 m ²	6.74 m ²	100.24 m ²	4.00 m ²	104.24 m ²
2階床面積	93.50 m ²		93.50 m ²		93.50 m ²
延べ床面積	187.00 m ²	6.74 m ²	193.74 m ²	4.00 m ²	197.74 m ²

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							建物面積・敷地面積求積図	縮尺 1:1,000 (A3) 1:1,000 (A2) 1:1,000 (A1)
								A新築—07

外部仕上表															
部 位	部 分	仕 上 ・ 仕 様			部 位	部 分	仕 上 ・ 仕 様			部 位	部 分	仕 上 ・ 仕 様			
屋 根	勾配屋根	ガルバリウム鋼板 t 0.4 瓦棒葺き			外 壁	置屋根	金属系サイディング t 15 張り (・ 出隅・見切り等部材メーカー指定品)			その他	庇	アルミ製 サポートポール付 出=1,000			
		アスファルトルーフィング 940 t 0.1 下葺き					透湿防水シート下張り				外部梁天端	アルミ曲加工水切り			
	野地板	木毛セメント板 t25 下張り					土台水切り：鋼板製 WSF-25 面取出隅 (同等品)					靴洗い(グレーチング)			
	置屋根下地	鉄骨構造					躯体 R C コンクリート打ち放しB種 透湿防水形外装薄塗材E ローラー塗り								
	破風・鼻隠し	木下地 210×24 2段 ガルバリウム鋼板包み					基礎 コンクリート打ち放し 薄塗り補修仕上								
					土 間	叩き・車庫	コンクリート刷毛引き仕上			断熱材	屋根	A種フェノールフォーム保温板 1種2号(ネオマフォーム 同等) t 80			
	軒樋	ガルバリウム鋼板製 大型角樋 平120深型 t 0.5			開口部	玄関・ボイラー室	断熱玄関ドア				壁	A種フェノールフォーム保温板 1種2号(ネオマフォーム 同等) t 50			
	縦樋	カラー鋼板製 丸樋 90φ				一般開口部	樹脂サッシ				床・土間	外気に接する部分 1種2号(ネオマフォーム 同等) t 80			
				車庫入口		オーバースライダ(バランス型) ・ 玄関側：アルミ樹脂複合片開き戸			その他の部分 1種2号(ネオマフォーム 同等) t 50						
軒天上		LGS 25型下地 ケイ酸カルシウム板 t 6 EP塗り								平成26年省エネ基準 (2地域)適合	開口部廻り・一部スラブ上	現場発泡ウレタン吹付			
	換気口	軒先換気部材：FV-N06F (同等品)													
内部仕上表															
階	部位		床			巾木		壁			天 井				備 考
	室名		下 地	仕 上	1FLからの高さ - 250～ - 300	種 類	高さ	下地	仕 上	下 地	仕 上	廻 縁	天井高		
1階	車 庫			コンクリート 金ゴテ仕上					コンクリート打放仕上げ		コンクリート打放 断熱材 t 80 打込 EP塗				
	玄 関	コンクリート	モルタル下地 150角磁器質タイル貼り		- 200	同 左	150		石膏ボード t12.5下張り (GL工法) ・一部コンクリート打放補修下地 ビニールクロス貼り	一部 LGS 19型	化粧石膏ボード t 9.5 張り	塩ビ製 コ型	2,700		
	階 段 下 倉 庫	同 左	コンクリート 金ゴテ仕上		- 200		150	一部 LGS 65型	同 上	同 上	同 上	同 上			
	廊 下	同 左	コンクリート 金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り		± 0	ビニ巾木	60	一部 LGS 65・90型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口	
	休 憩 室	同 左	同 上		± 0	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (GL工法) ・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口	
	洗 面 所	同 左	同 上		± 0	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	洗面化粧台(鏡付) W = 600 洗濯機スペース ・ 天井点検口	
	温 水 器 室	コンクリート	コンクリート 金ゴテ仕上		± 0	化粧金ゴテ仕上	200	LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,700	エコ給湯機	
	踏 込	同 左	コンクリート 金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り		± 0	同 左	60	LGS 65・90型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り	同 上	2,400	手洗い器	
	女 子 ト イ レ	同 左	同 上		± 0	同 左	60	LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット) ・ ペーパーホルダー 音姫	
	男 子 ト イ レ	同 左	同 上		± 0	同 左	60	LGS 65・90型	同 上	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット) ・ ペーパーホルダー	
階 段 室	同 左	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り			同 左	60	一部 LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法) ・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上		ノンスリップ タイヤ付 R C 壁天端 集成材 t30 CL塗		
2階	ホ ー ル	コンクリート	シダー・コナーク(ワイヤメッシュ150×150×6敷込)金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り		+ 150	ビニ巾木	60	一部 LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法) ・一部コンクリート打放補修下地 ビニールクロス貼り	一部 LGS 19型	化粧石膏ボード t 9.5 張り	塩ビ製 コ型	2,500	R C 壁天端 集成材 t30 CL塗 天井点検口	
	監 視 室	同 左	スチール製O Aフロア AZ3000-DP(300N)同等品下地 タイルカーベット t7 敷込		+ 150	同 左	60	一部 LGS 65・100型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法) ・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口	
	廊 下	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り 長尺塩シート t2 貼り		+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	メンテナンス用天井点検口 上部スチール製点検口(鍵用フック付)	
	休 憩 室	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り フロア t 12 張り		+ 150	同 左	60	一部 LGS 65型	同 上	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口	
	収 納	同 左	木床組下地 フロア t12 張り		+ 150	同 左	60	同 左	同 上	同 上	同 上	同 上			
	湯 沸 室	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り 長尺塩シート t2 貼り		+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り 流し前 不燃化粧板 t 3 貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	システムキッチン L = 2,400 (1H) 吊戸棚 レンジフード(シロッコ式) 天井点検口	
	ト イ レ	同 左	同 上		+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット) ・ ペーパーホルダー	
	洗 面 脱 衣 室	同 左	同 上		+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り ビニールクロス貼り 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填(浴室側)	同 上	同 上	同 上	2,400	洗面化粧台(鏡付)	
	浴 室	同 左	ユニットバス		――	――	――	――	断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	――	断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	――	2,000		
	防火認定	化粧石膏ボード t9.5 (不燃 NM-1864) 石膏ボード t12.5 (不燃 NM-8619) ビニルクロス (不燃 (NM)又は準不燃 (QM)認定品) 不燃化粧板 (不燃 NM-2183)			建築材料 環境配慮		・ 床・壁・天井・家具等における仕上げ、下地等はF☆☆☆☆認定品を使用すること。(対象外物品を除く) 断熱材：フェノールフォーム打込材・グラスウール F ☆☆☆☆認定品を使用すること ・ 室内使用材料配慮：使用材料はノンアスベスト仕様の材料を使用すること			法37条適合					
訂 正	月 日							設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号		
	・											岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	――		
									製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号	
											・	仕上表		A新築 ― 08	



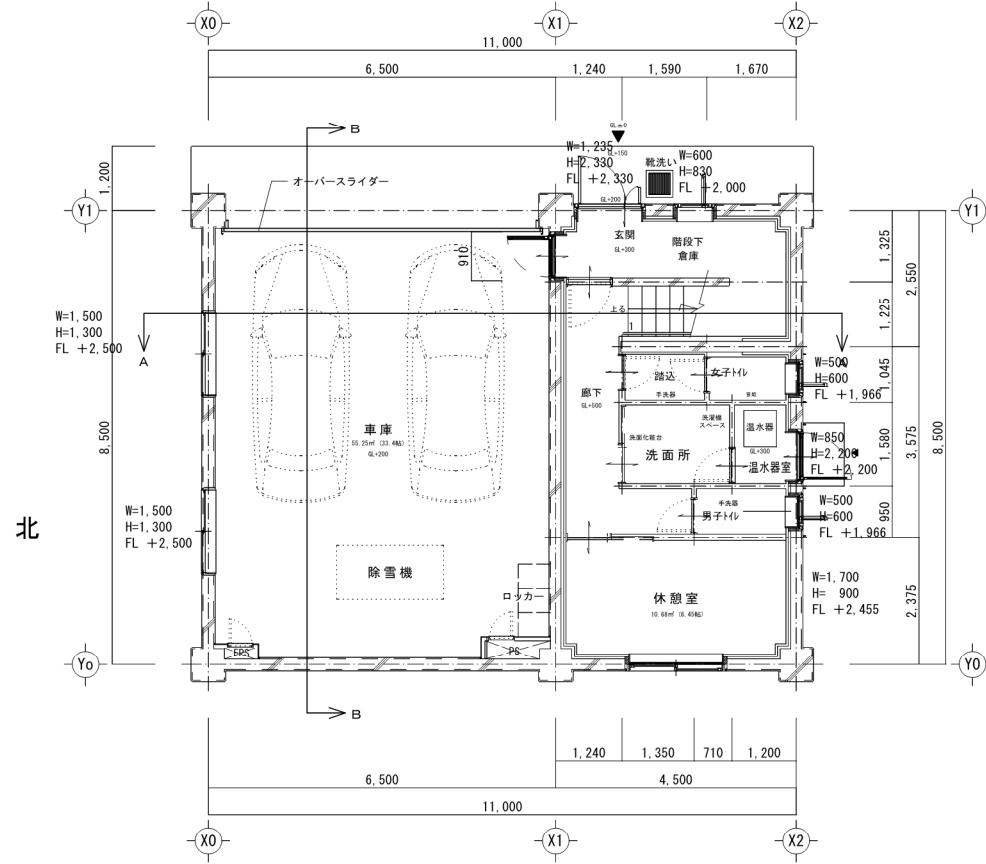
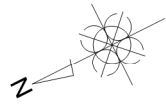
既存建物配置図 S=1/300



配置図 S=1/300

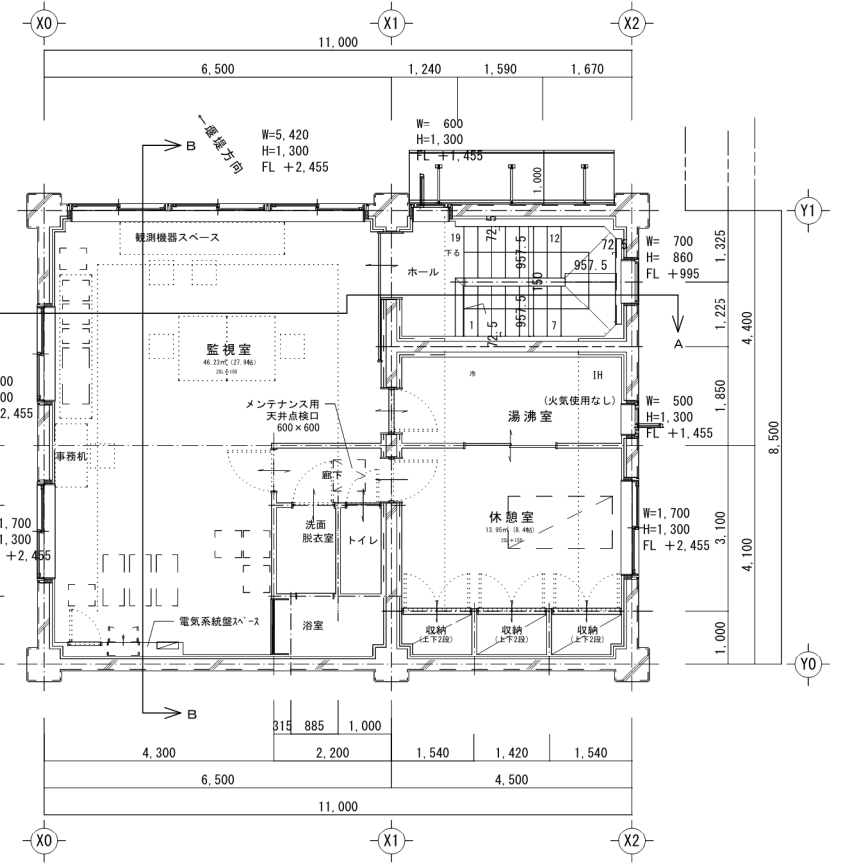
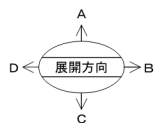
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							.	案内図・配置図	A新築—09
								縮尺	
								S=1/300 (A1)	
								S=1/600 (A3)	

東



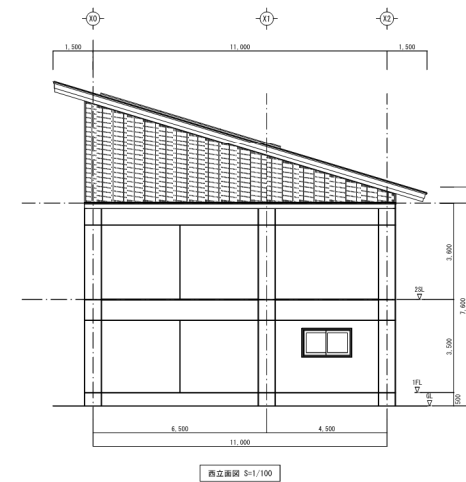
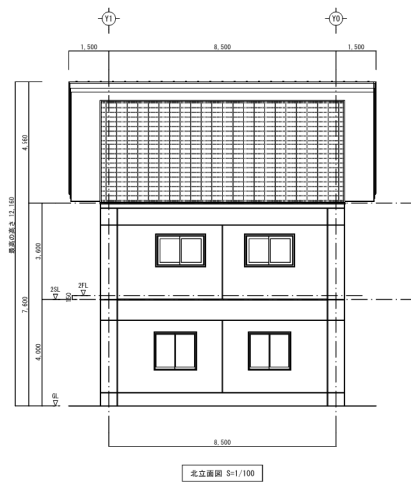
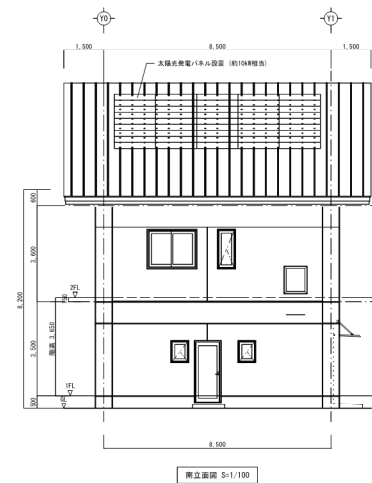
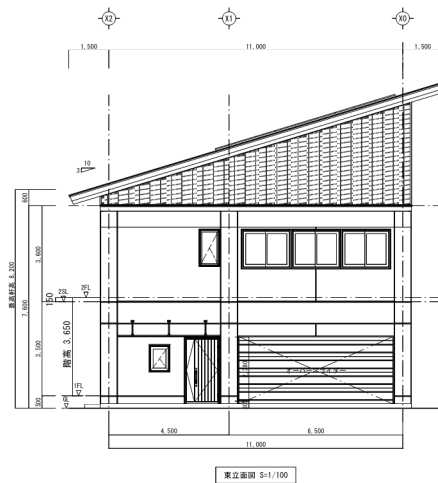
北

西

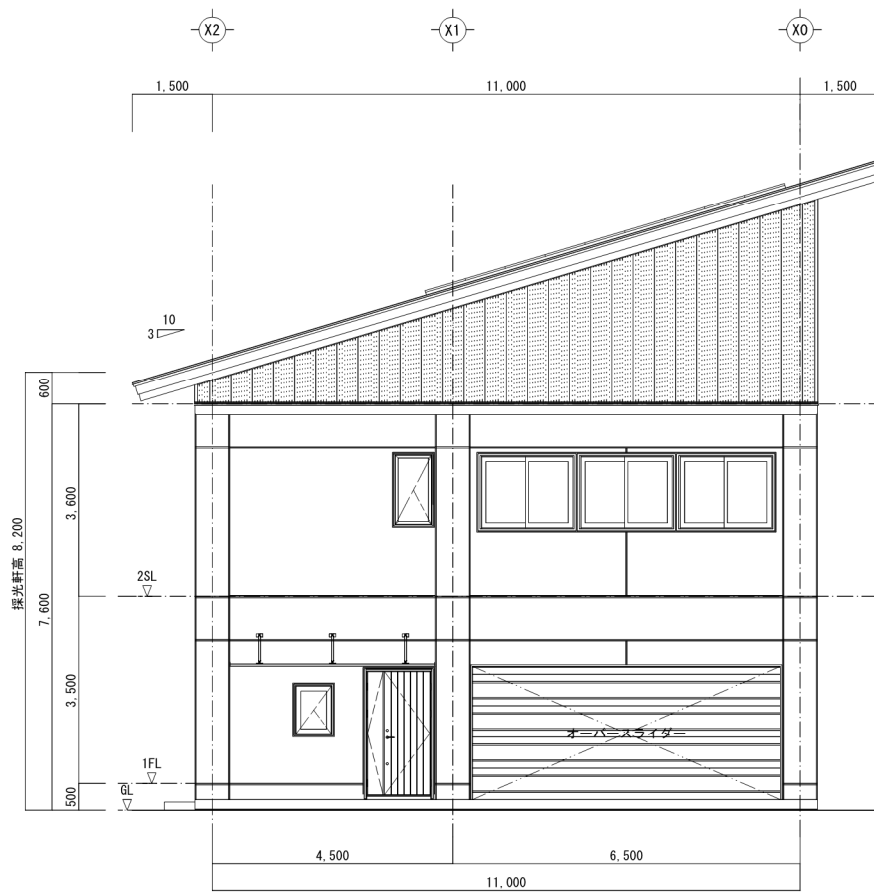


南

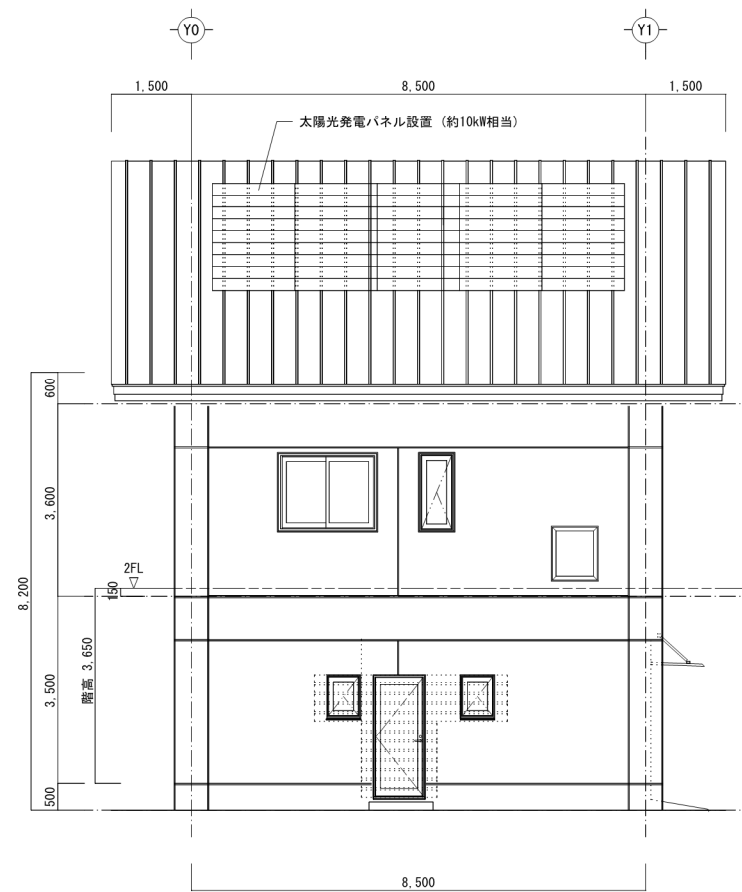
訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							1階平面図・2階平面図	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
								A新築 — 10



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	・				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事 図面名称 立面図	
								縮尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	図面番号 A新築 — 11

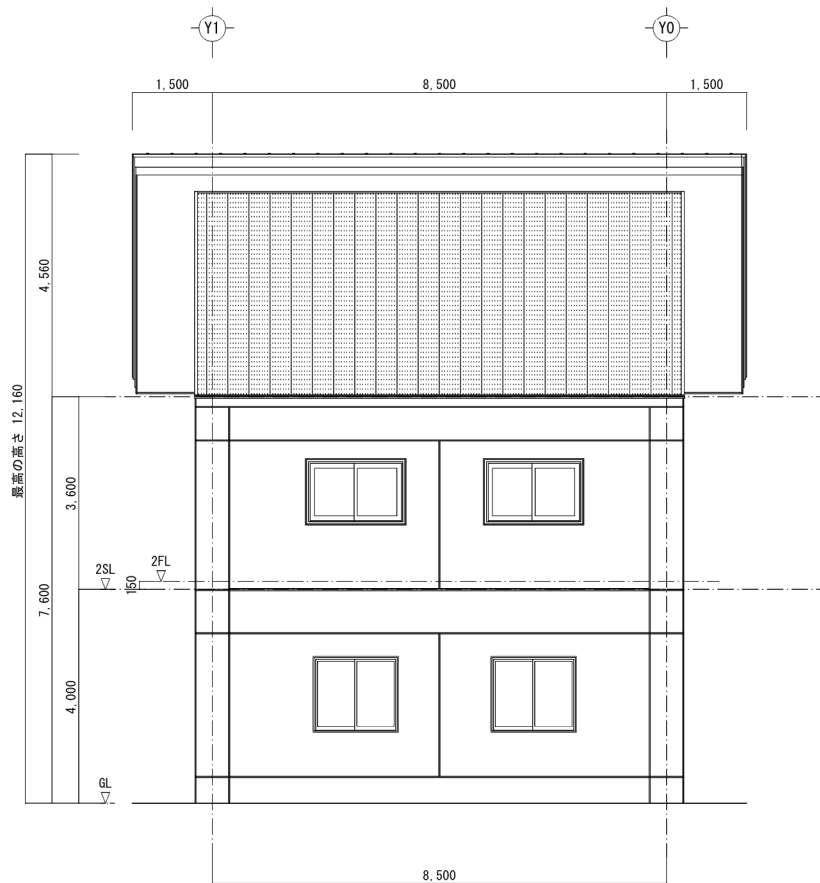


東立面図 S=1/50

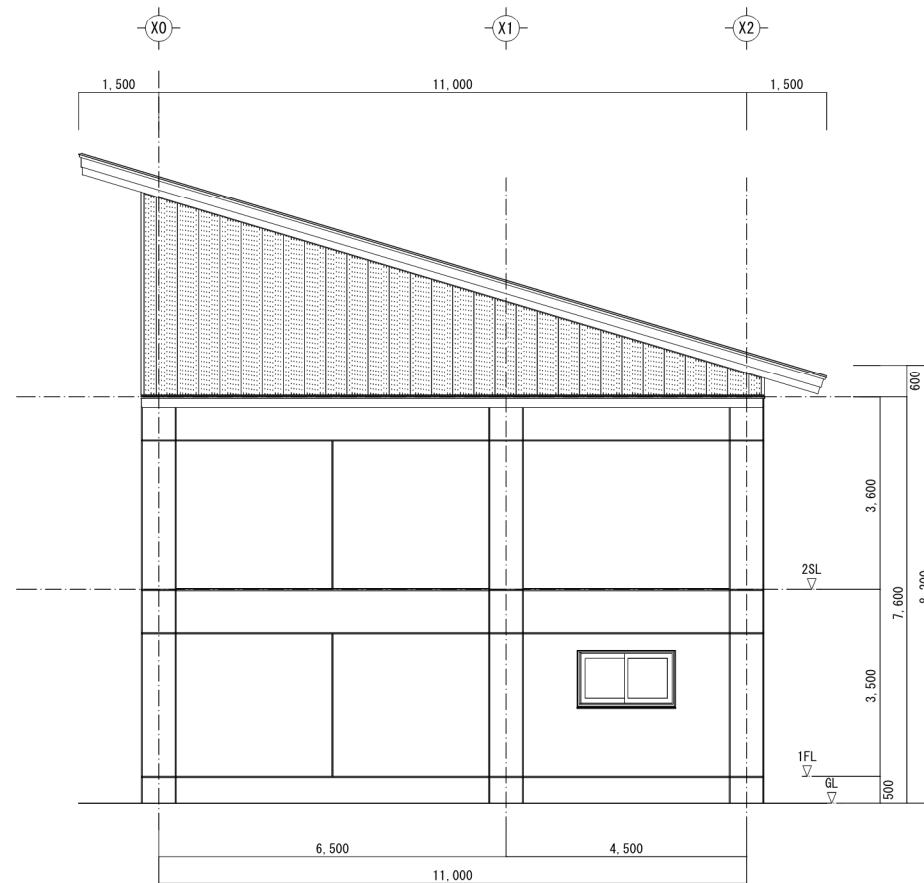


南立面図 S=1/50

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
								図面名称	図面番号
								東立面図・南立面図	A新築 12

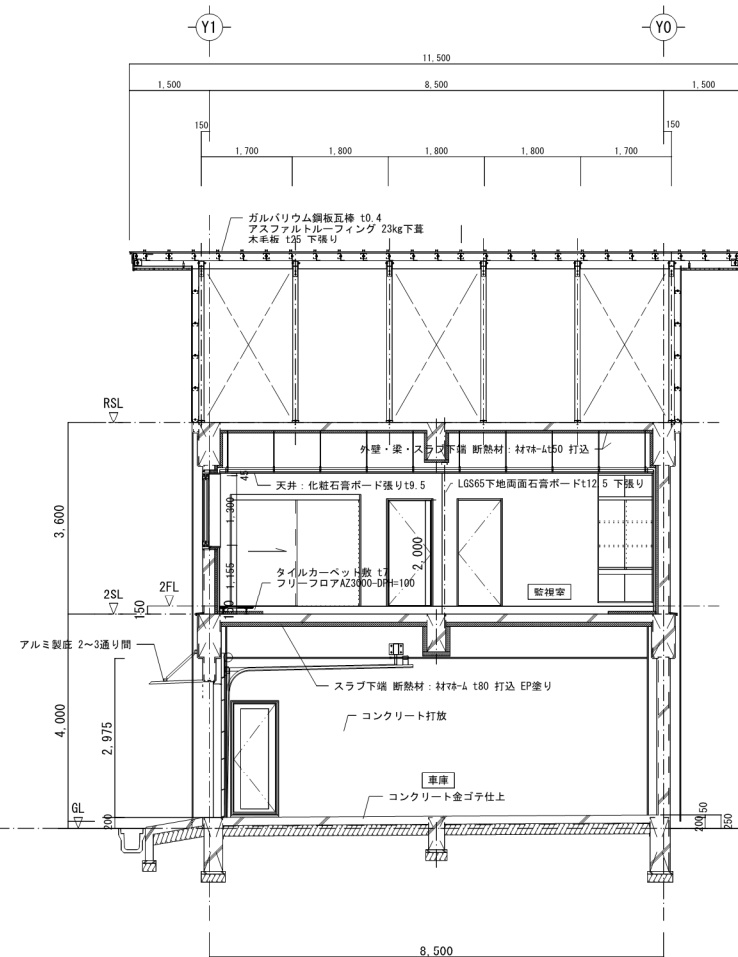
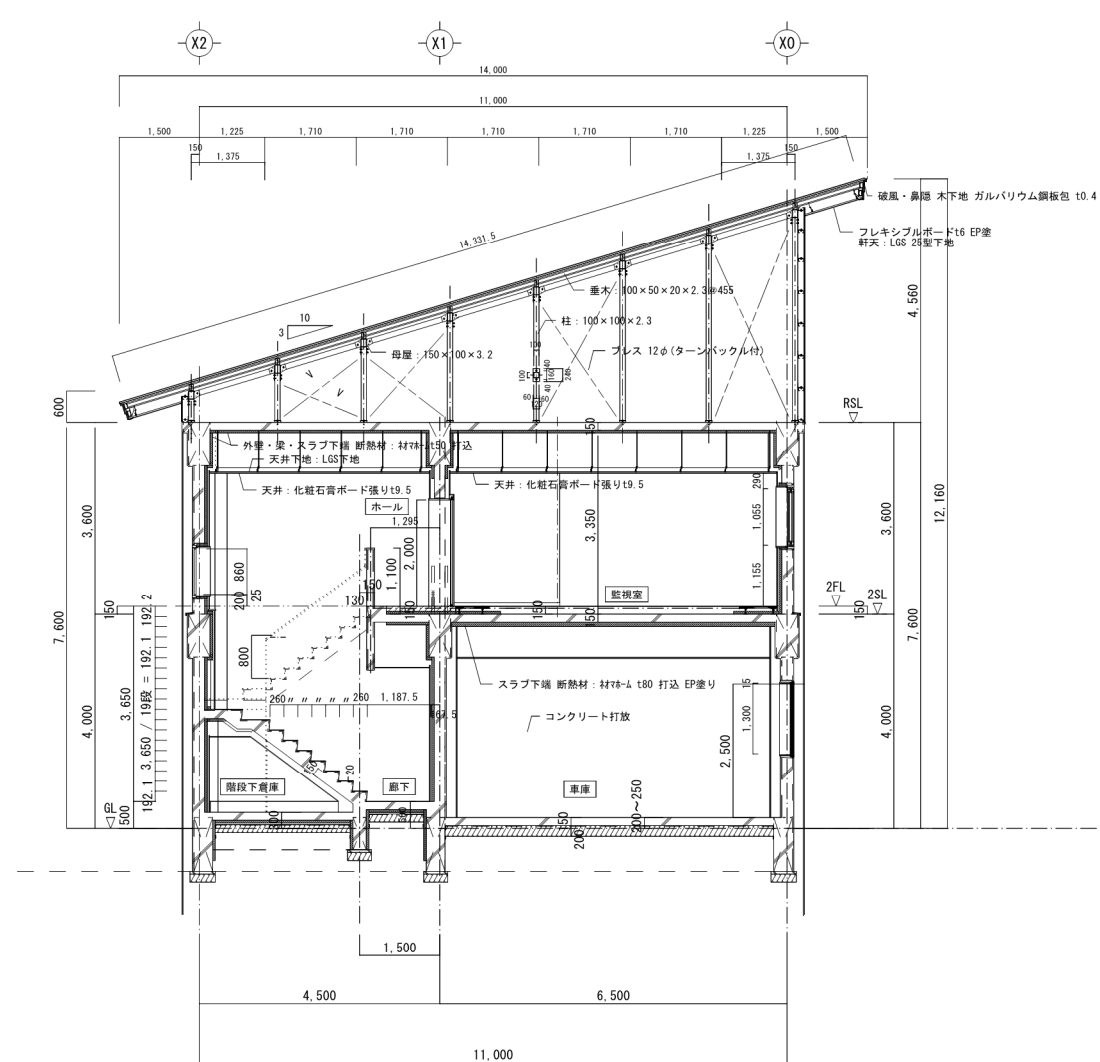


北立面図 S=1/50

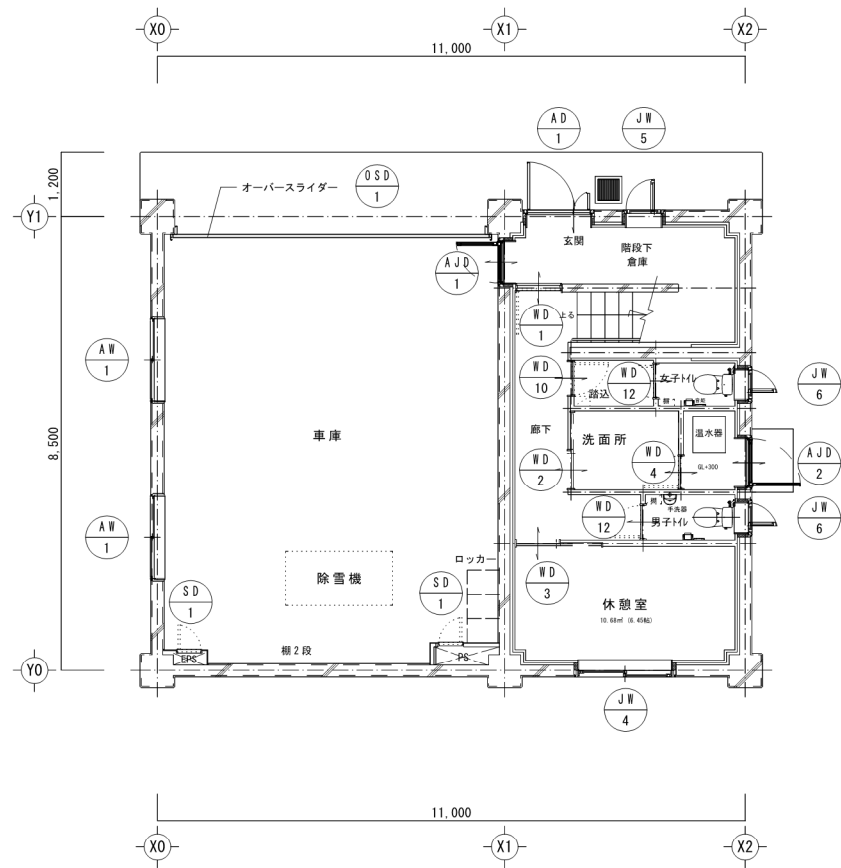


西立面図 S=1/50

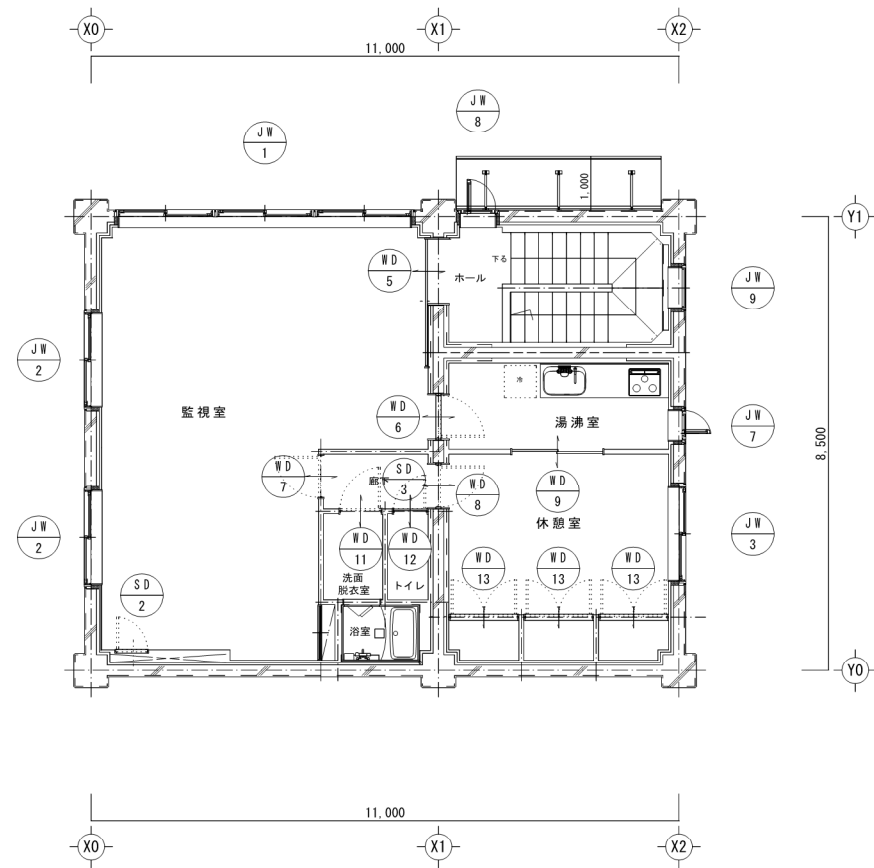
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.	.			製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
								図面名称	図面番号
								北立面図・西立面図	A新築 13



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	.								
					製図	担当	受領年月日 .	図面名称 A ~ A 断面図・B ~ B 断面図	図面番号 A新築 — 14
								縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



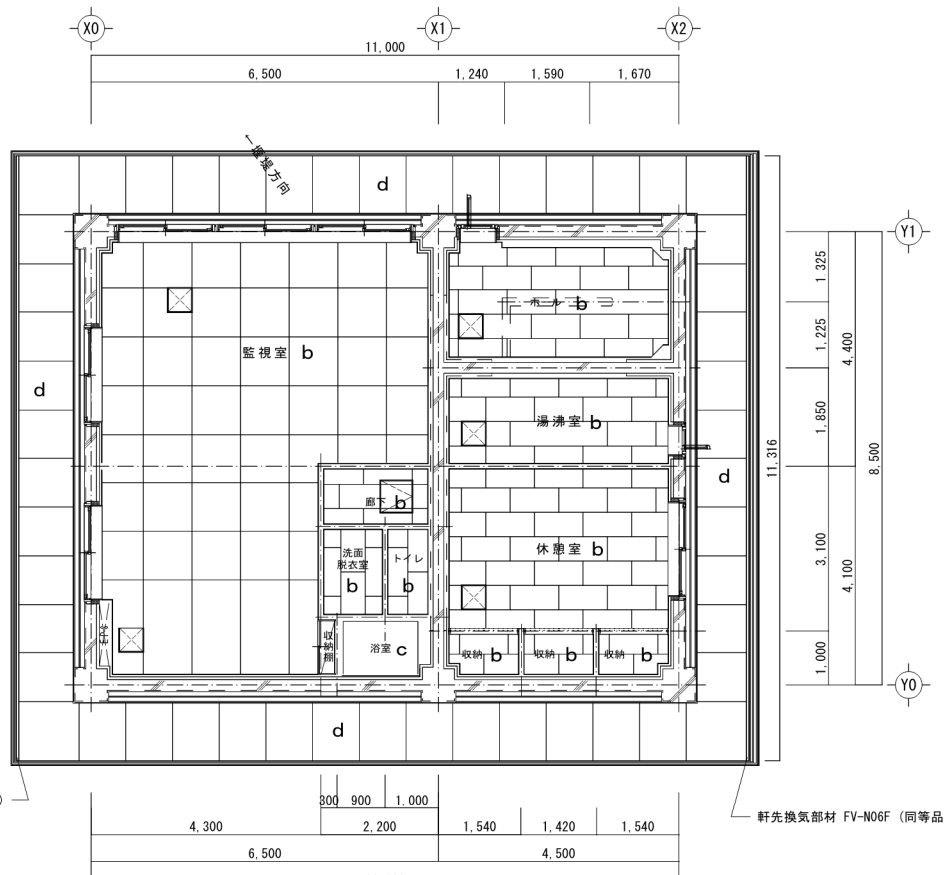
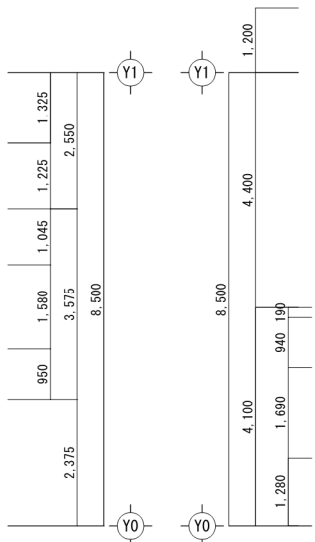
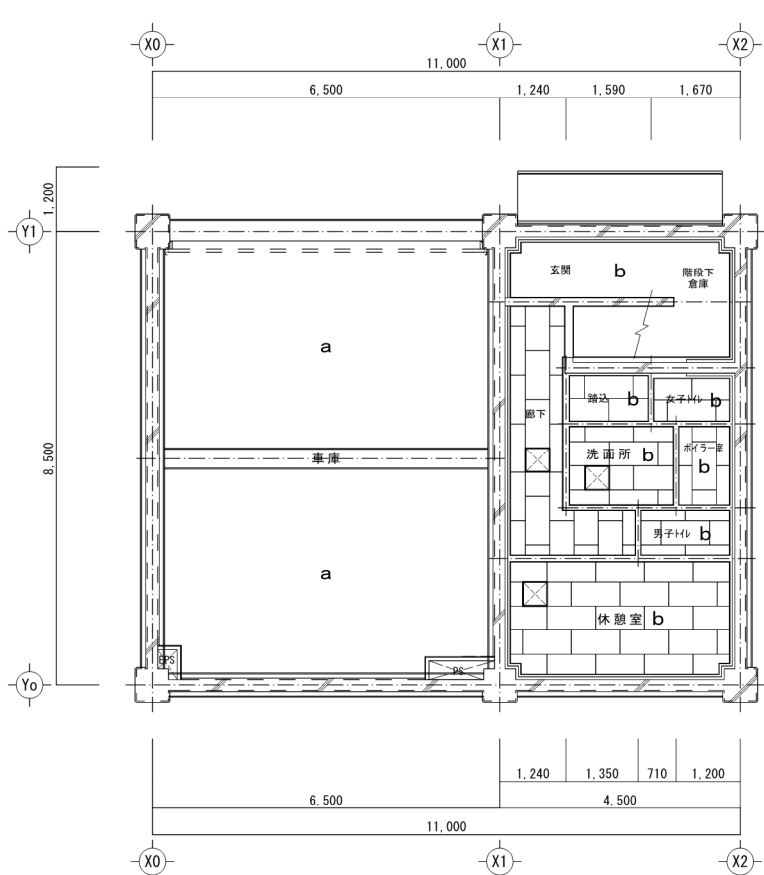
1階建具キープラン S=1/50



2階建具キープラン S=1/50

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
								図面名称	図面番号
								1階・2階建具 キープラン	A新築 15

符号・数量	A D-1 1台		A J D-1 1台		A J D-2 1台		J W-1 1台		J W-2 2台		J W-3 1台		J W-4 1台		J W-5 1台		J W-6 2台		J W-7 1台		J W-8 1台																					
室名・防火仕様	玄関	非防火	玄関	非防火	温水器室	非防火	監視室	非防火	監視室	非防火	2階休憩室	非防火	1階休憩室	非防火	階段下倉庫	非防火	1階男女トイレ	非防火	湯沸室	非防火	2階ホール	非防火																				
姿 図																																										
	1.235		720		850		1.700		1.700		1.700		1.700		600		500		500		600																					
型 式	断熱玄関ドア（親子開戸）D30 ヴェナートD30 C10N（同等品）		ビル用ウインド 片開き戸 EXIMA 55（同等品）		同 左		ビル用ウインド・ドア 引違窓 EXIMA 77（同等品）		同 左		同 左		同 左		ビル用ウインド・ドア 縦引出窓 EXIMA 37（同等品）		同 左		同 左		同 左																					
材 種			アルミ樹脂複合サッシ		同 左		樹脂サッシ		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																					
仕 上 げ			カラー		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																					
ガラス			Low-E 防犯合わせ複層ガラス H-5 6+A12+5		断熱パネル		Low-E 複層ガラス アルゴンガス入り H-5 4+A12+6		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																					
金 物	外シリンダー内サムターン錠（733）ステレイトンドル・ドアクローザー・ステンレス下枠 付属金物一式		同 左		同 左		ロック付きクレセント・一般引手 縦線用アングル・結露受 連結部分 室内側アルミカバー・蓋ぎ 網戸・付属金物一式		同 左		同 左		同 左		グレモンハンドル セーフティストッパー 縦線用アングル・結露受 排水弁・付属金物一式 横引き網戸		同 左		同 左		同 左																					
備 考	D2仕様		つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2				つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																					
符号・数量	J W-9 1台		A W-1 2台		O S D 1台		S D-1 2台		S D-2 1台		S D-3 1台		W D-1 1台		W D-2 1台		W D-3 1台		W D-4 1台		W D-5 1台																					
室名・防火仕様	階段室	非防火	車庫		車庫		車庫		監視室		2階廊下小屋裏		廊下		洗面所		1階休憩室		温水器室		監視室																					
姿 図																																										
	700		1,500		5,760		450		600		600		800		720 720		800 795		650		1,200 1,195																					
型 式	ビル用ウインド・ドア FIX窓 EXIMA 37（同等品）		アルミ 引違サッシ EXIMA 31（同等品）		オーバースライダー バランス（手動）式								木製片開き戸		木製片引き戸		木製片引き戸		木製片開き戸		木製片引き戸 吊り建具半自動																					
材 種	同 左		アルミ		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製								建具内断熱材挿入 t30		同 左																					
仕 上 げ	同 左		カラー		カラー		OP		OP		錆止め		両面ポリ合板貼り		同 左		同 左		同 左		同 左																					
ガラス	Low-E 複層ガラス アルゴンガス入り H-5 4+A12+6		単板ガラス FW 6.8										FL 3		F 4		同 左				同 左																					
金 物	縦線用アングル・結露受 排水弁・付属金物一式		ロック付きクレセント・一般引手 室内側 アルミ縦線 網戸 付属金物一式		ウオーターキー 付属金物一式		蝶番・鍵付平面ハンドル		蝶番・鍵付平面ハンドル		蝶番・底錠用フック 閉止めチェーン		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠（733） 蝶番・DC・戸当り 付属金物一式		引手 アルミ製ガラリ SUS製一本引きレール 付属金物一式		引手 SUS製一本引きレール 付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 蝶番・DC・気密パッキン 戸当り・付属金物一式		大型引手・ハンガーレール・下ガイド 上ローラー・クローザー付 シリンダー・サムターン錠（733） SUS錠付・付属金物一式																					
備 考	つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2		同 左																																							
符号・数量	W D-6 1台		W D-7 1台		W D-8 1台		W D-9 1台		W D-10 1台		W D-11 1台		W D-12 3台		W D-13 3台																											
室名・防火仕様	湯沸室		2階廊下		2階休憩室		2階休憩室		踏込		洗面脱衣室		男女トイレ		2階休憩室																											
姿 図																																										
	800		800		800		1,700		624		775		624		1,262.5																											
型 式	木製片開き戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製引違い戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製両開き戸																											
材 種																																										
仕 上 げ	両面ポリ合板貼り		両面ポリ合板貼り		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																											
ガラス	FL 3		FL 3								F 4																															
金 物	レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 蝶番・DC・戸当り SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠（733） 蝶番・DC SUS錠付・付属金物一式		引手 SUS製引違いレール 蝶錠（733） 付属金物一式		レバーハンドル 蝶番・DC・戸当り SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル SUS製一本引きレール 蝶番・DC・戸当り 表示錠・アルミ製ガラリ SUS錠付・付属金物一式		蝶番・引手 フランス落し 鍵付 付属金物一式																													
備 考																																										
訂 正	月	日																																								
																							設計年月日							工事名称		設計番号										
																							製図		担当		受領年月日		図面名称		縮尺		図面番号									
																															岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)		A新築—16							
																															建具欄											

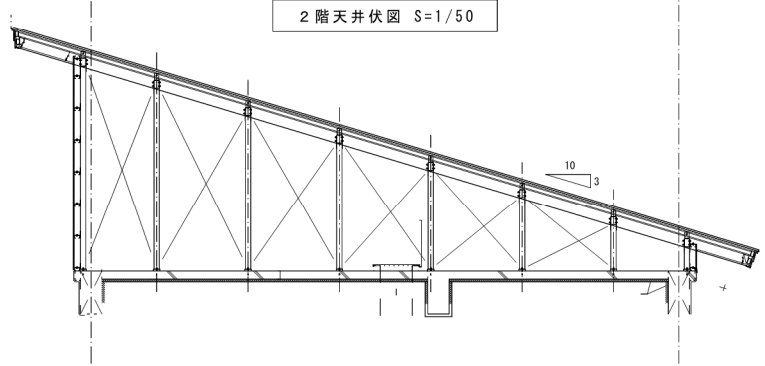


軒先換気部材 FV-N06F (同等品)

軒先換気部材 FV-N06F (同等品)

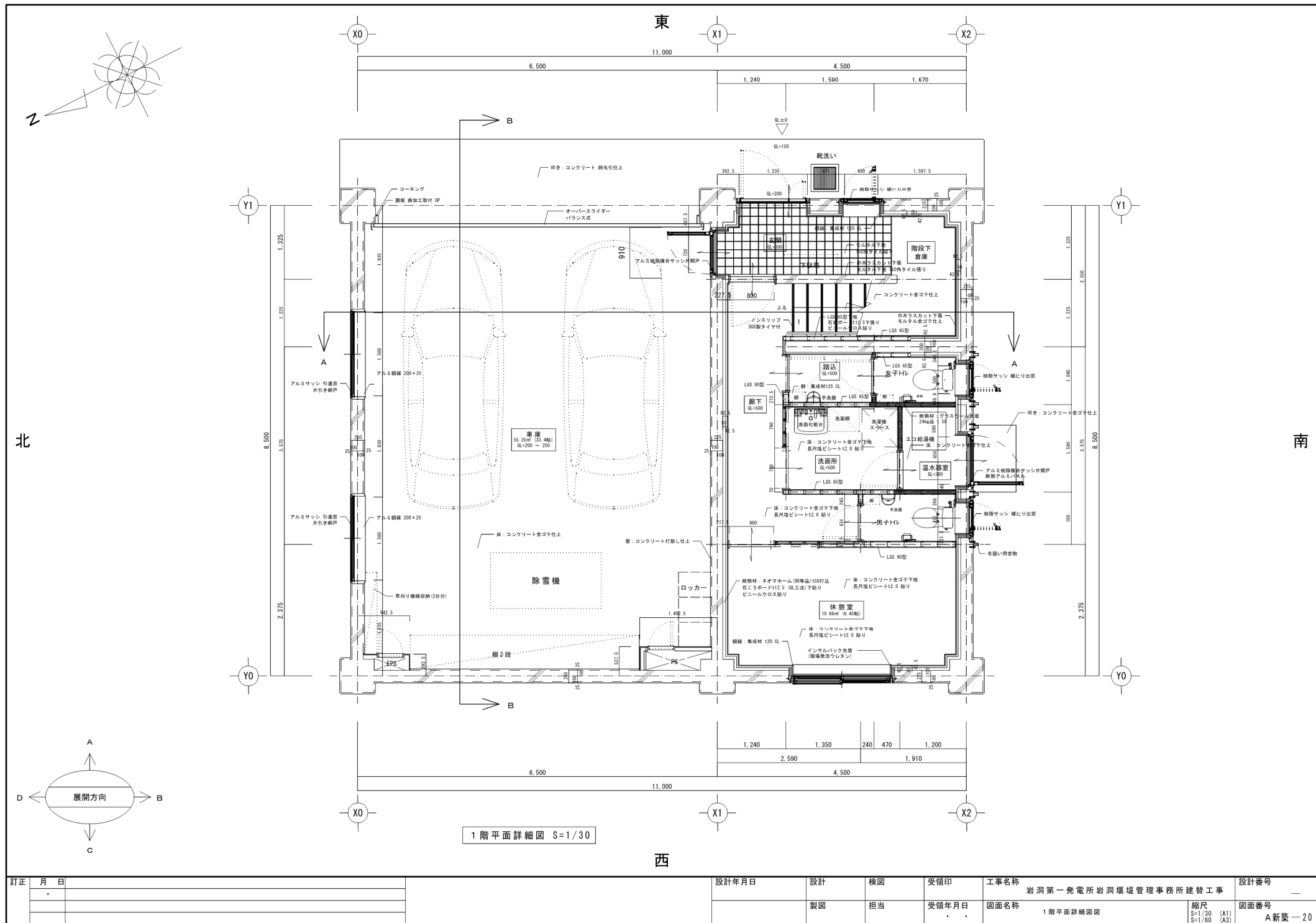
1 階天井伏図 S=1/50

2 階天井伏図 S=1/50

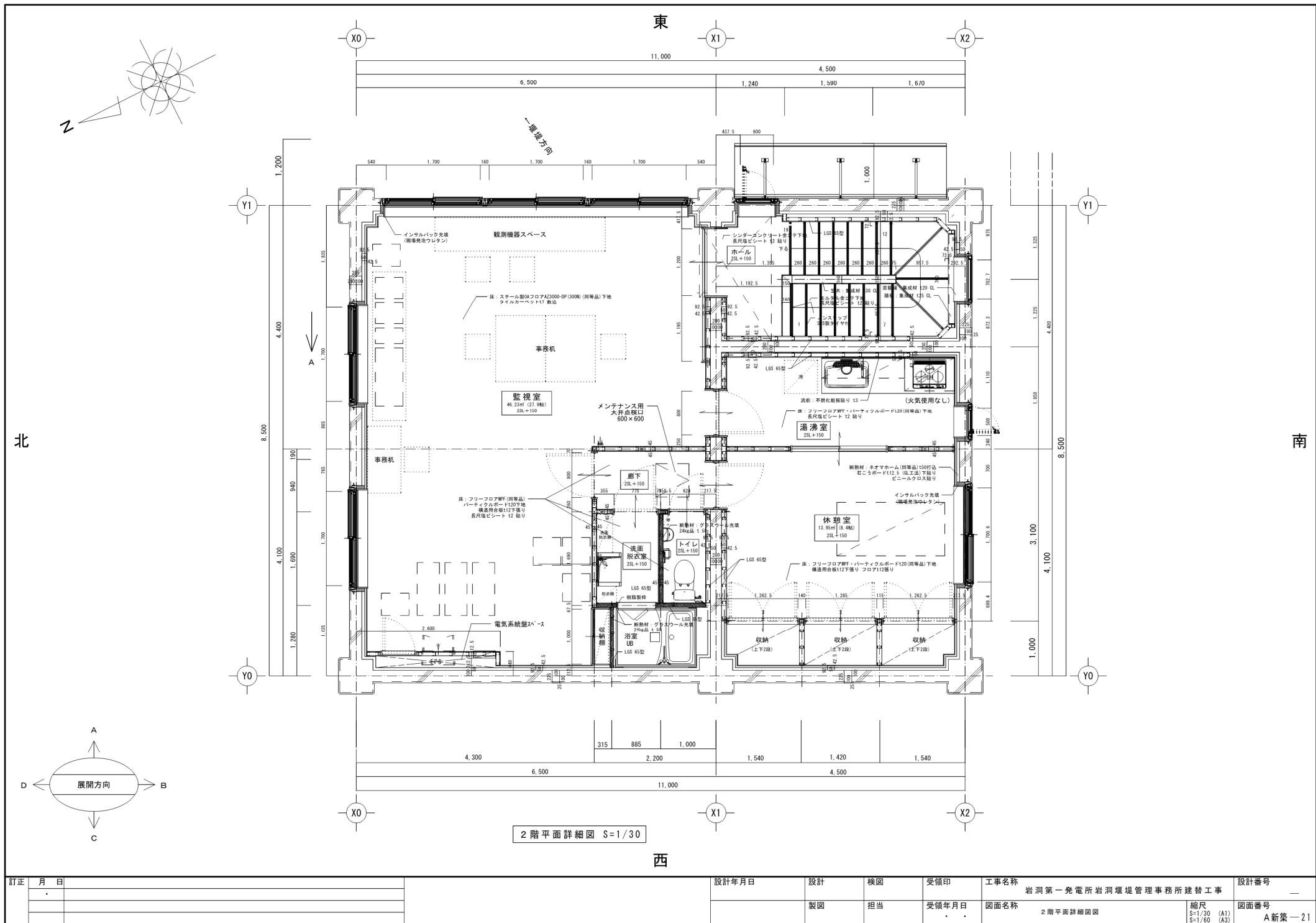


記号	天井仕上
a	断熱材：ネオマフォーム t80(同等品) 打込 EP塗り
b	化粧石膏ボード t 9.5 張り
c	ユニットバス 天井 FRP
d	ケイ酸カルシウム板 t 6 張り EP塗り

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.			製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							1 階・2 階天井伏図	A 新築 — 19
							縮尺	
							S=1/50 (A1)	
							S=1/100 (A3)	

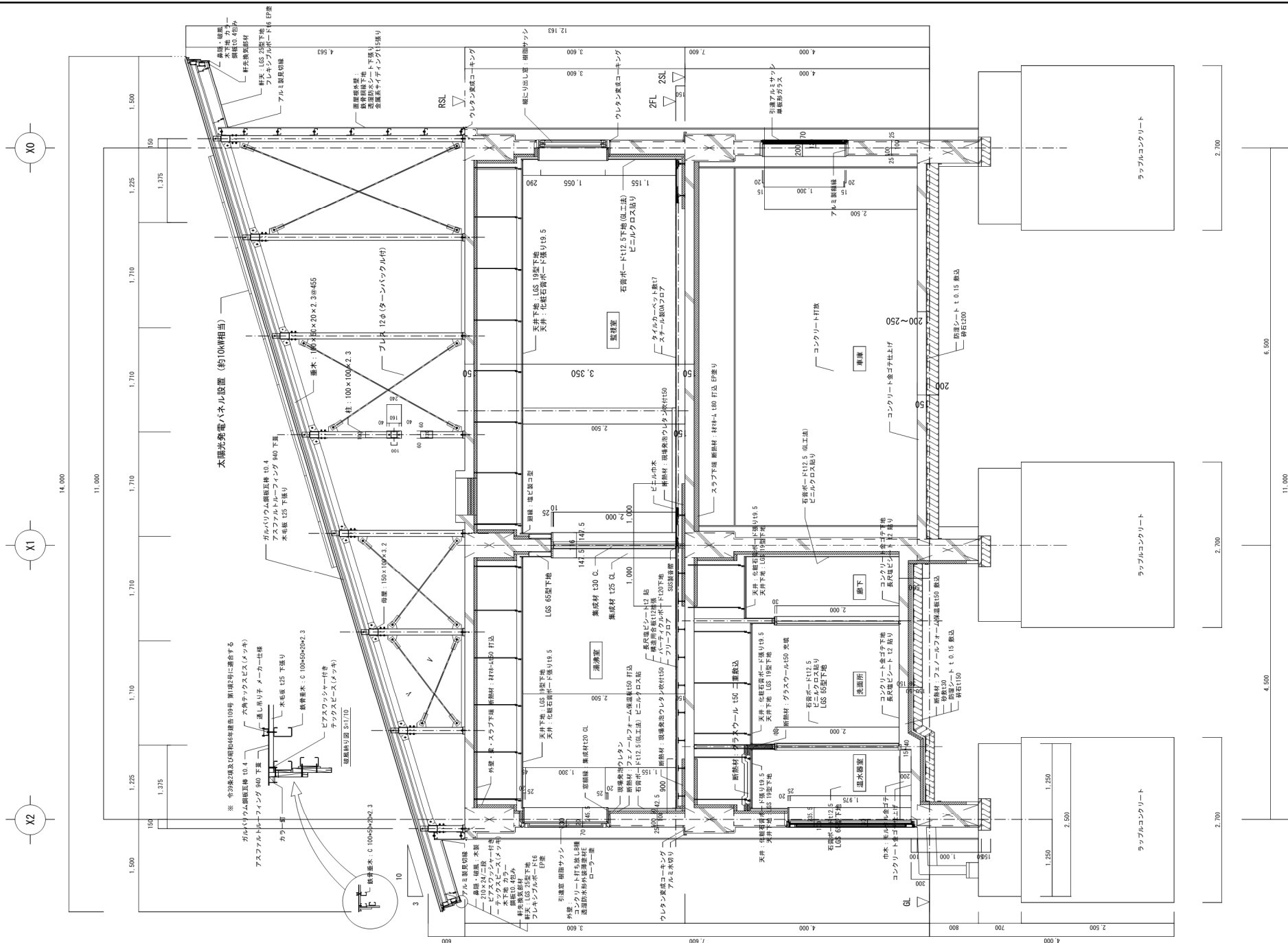


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								1階平面詳細図	A新築—20
								縮尺	(A1)
								S=1/30	(A3)
								S=1/60	

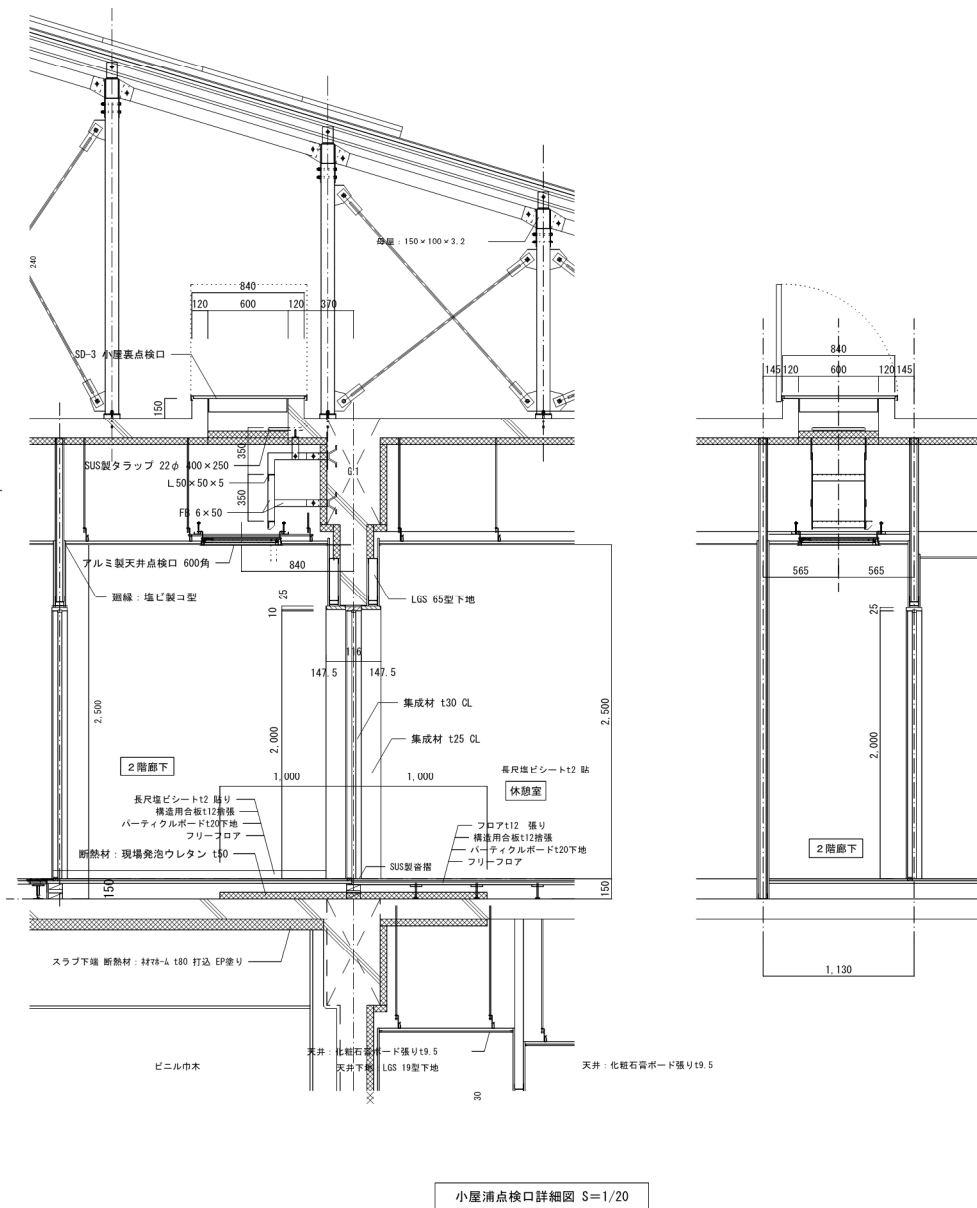
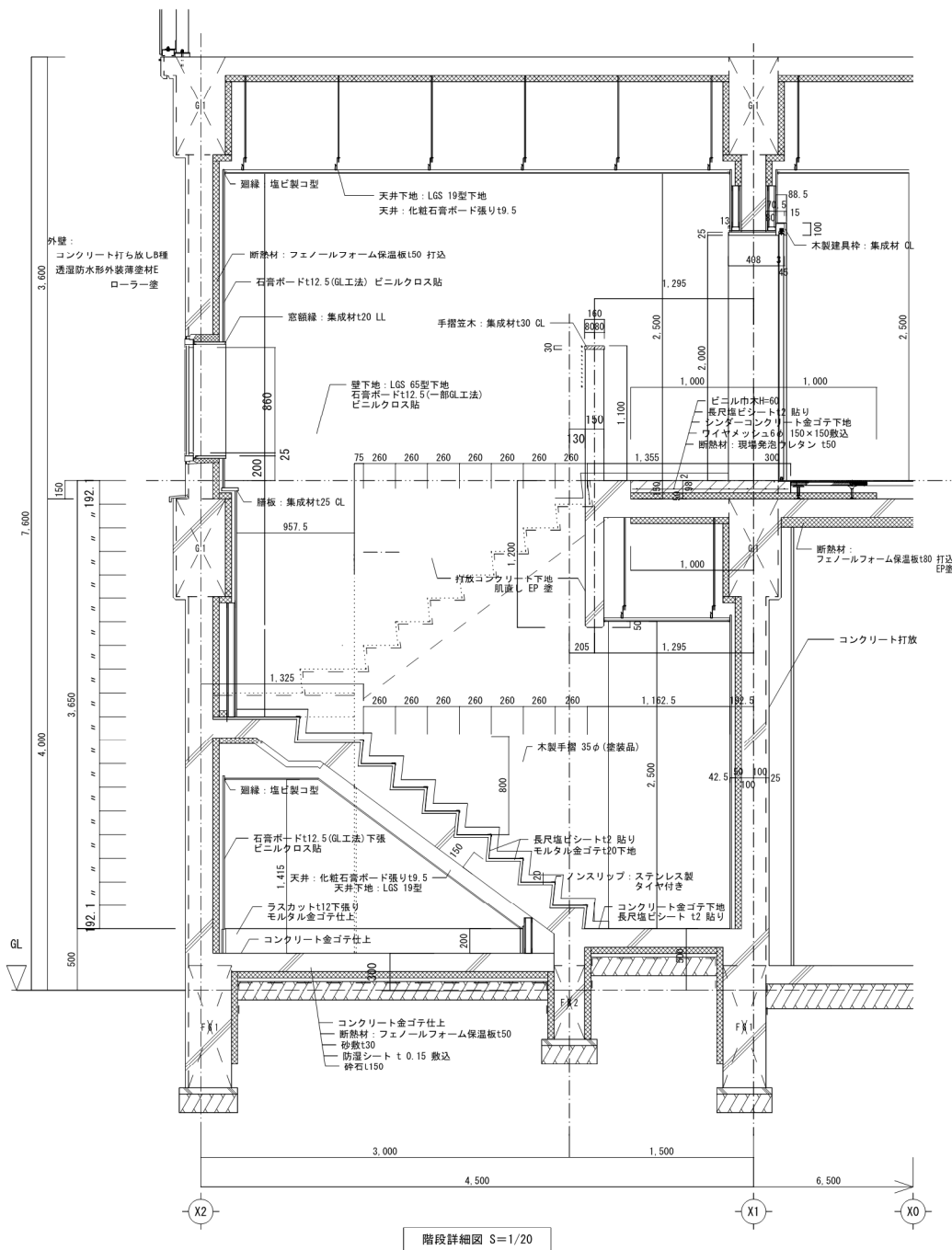


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
					製図	担当	受領年月日	図面名称	
								岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								2階平面詳細図	図面番号
									A新築 — 21

設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		設計番号 —
	製図	担当	受領年月日 .	図面名称 矩計図	縮尺 S=1/30 (A1) S=1/60 (A2)	図面番号 A新築—22

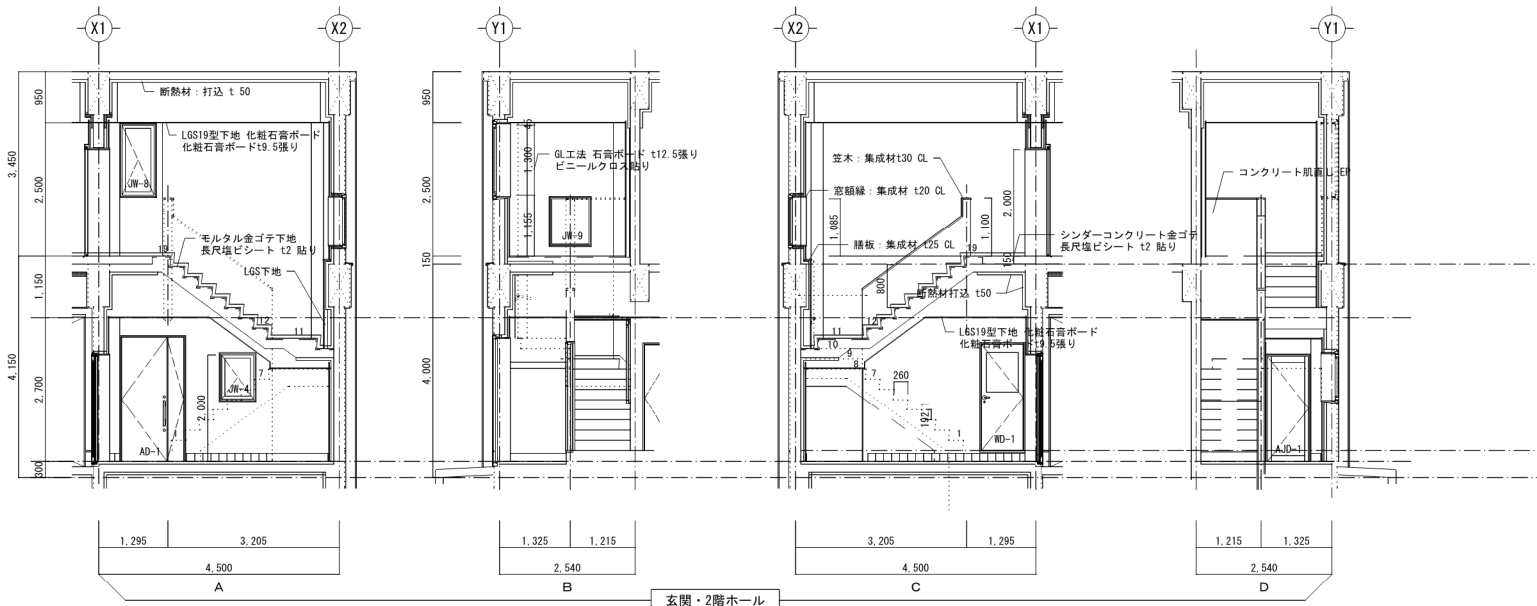
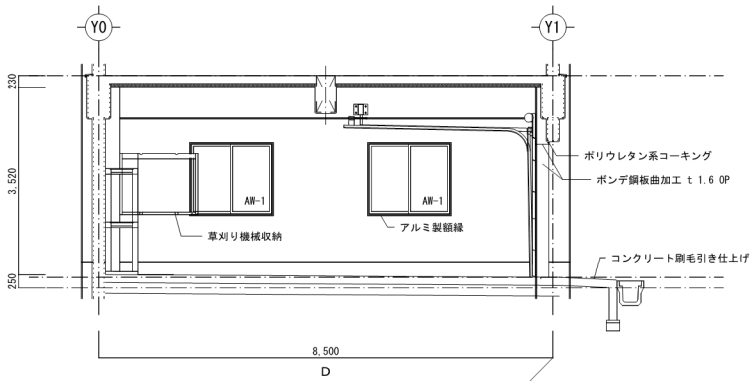
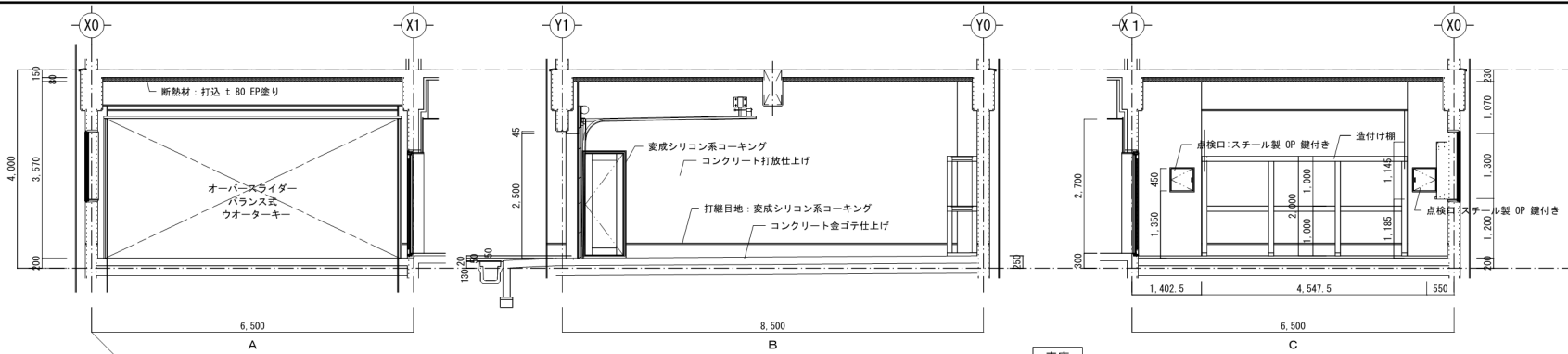


矩計図 S=1/30

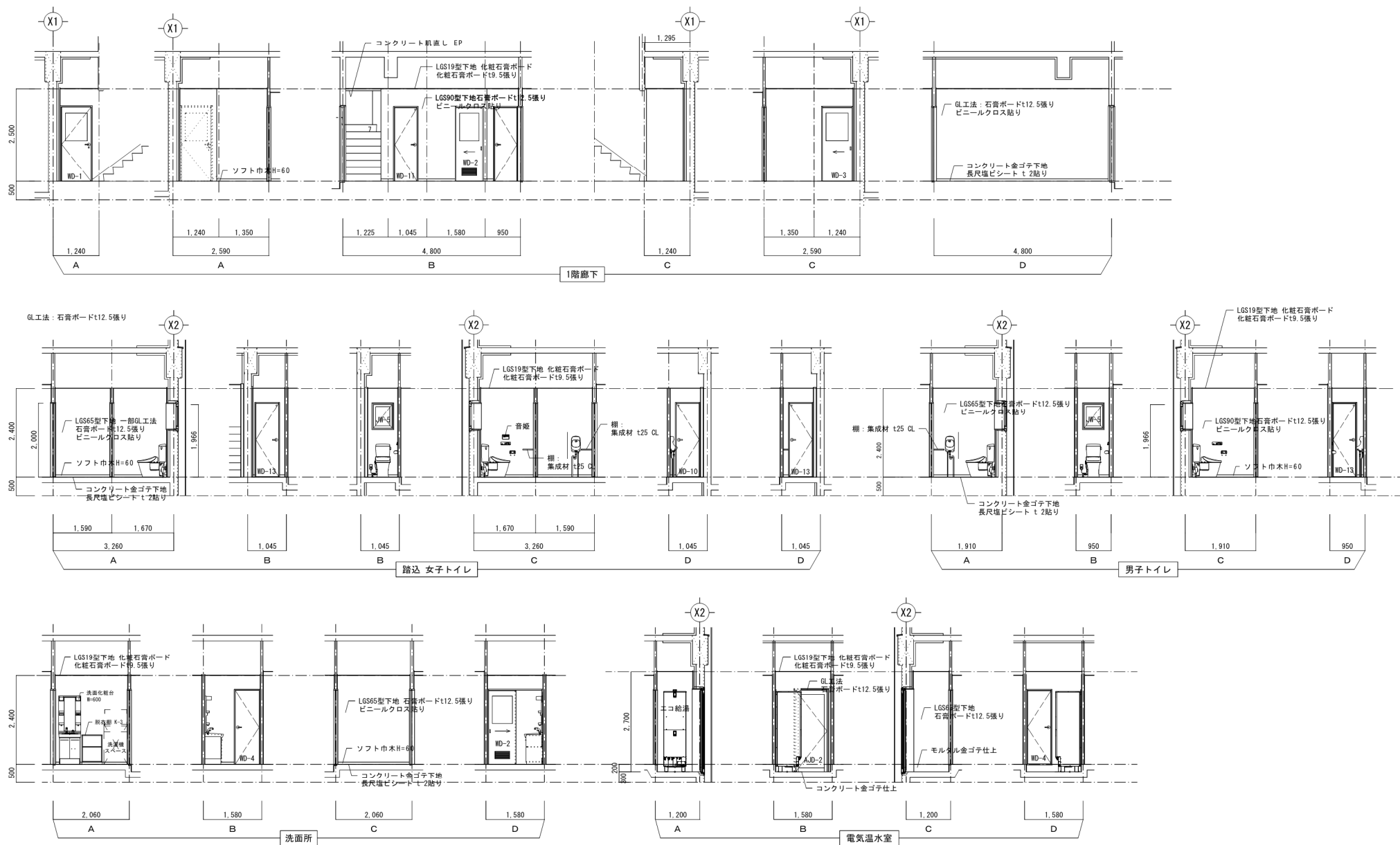


訂正	月	日

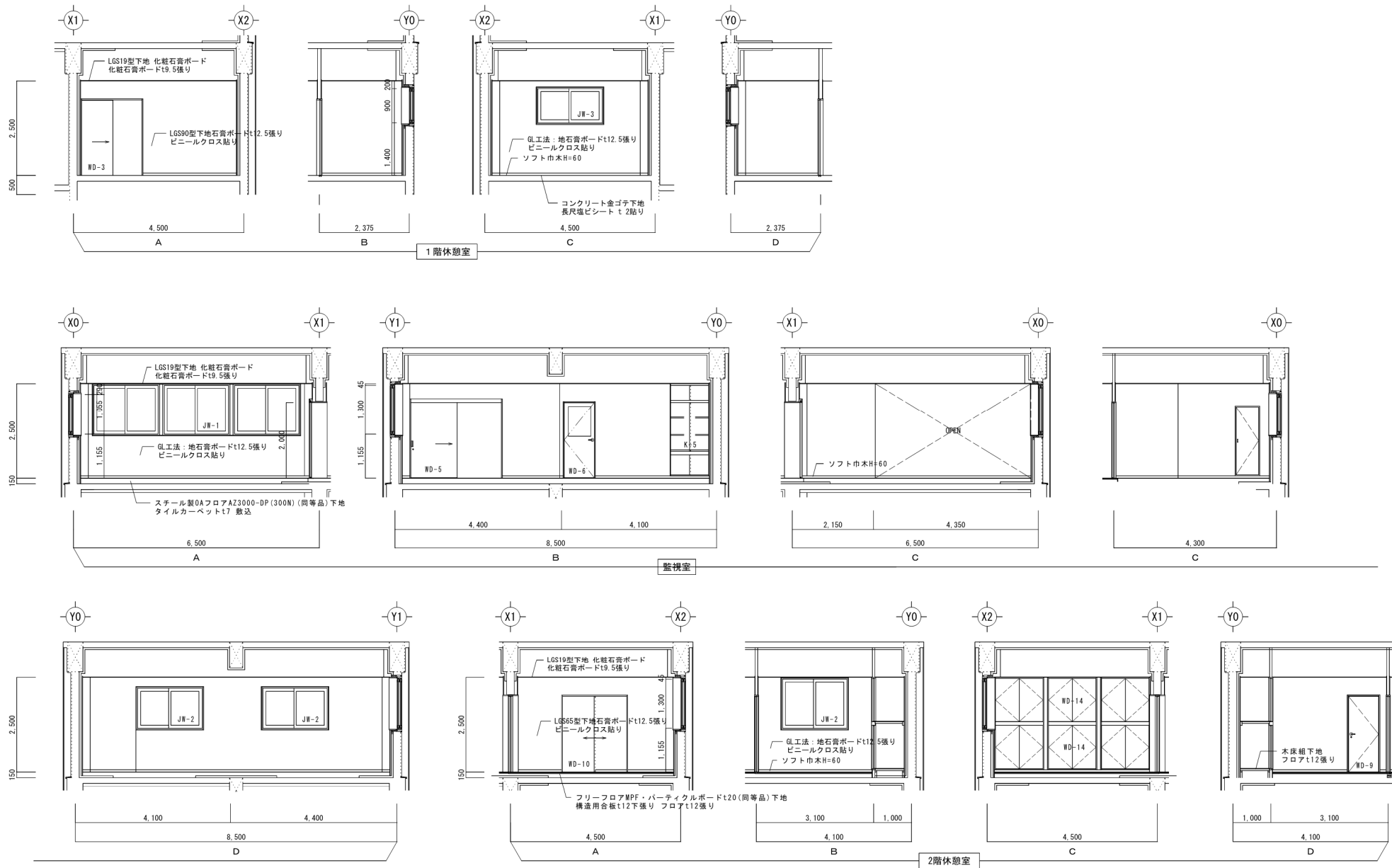
設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
				岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号
			階段詳細図・小屋浦点検口詳細図	S=1/20 (A1) S=1/40 (A3)	A新築—23



訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							展開図 車庫・玄関 階段下倉庫	A新築—24
							縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
								岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
								1階廊下・踏込・1階女子トイレ・1階男子トイレ・電気温水室	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									A新築—25



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	展開図
								1階休憩室・2階監視室・2階休憩室	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									図面番号 A新築—26



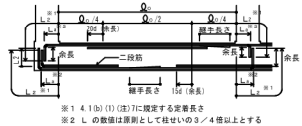
訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.	.		製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	展開図
							2階湯沸室・2階廊下・2階トイレ・2階洗面脱衣室・2階浴室	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
							図面番号	A新築—27

$$A = (d/h) \times \alpha - \beta$$

室名		室面積	1 階 休 憩 室	10.68 m ²	監 視 室	46.23 m ²	湯 沸 室	8.37 m ²	2 階 休 憩 室	13.95 m ²	1 階 廊 下 階 段 室	17.64 m ²	
開口符号		JW-4	JW-1		JW-2		JW-7		JW-3		JW-8		
開口幅		(1.700/2-30)-60=760	(1.700/2-30)-60=760		(1.700/2-30)-60=760		(500-167.2)=332.8		(1.700/2-30)-60=760		(600-167.2)=432.8		
※ 図													
採光補正係数 (1.000 / 6.789 × 10 ⁻¹)=0.47 ∴ 1		採光補正係数 3		採光補正係数 3									
採光	必要面積	10.68 / 10 = 1.068	判定		46.23 / 7 = 6.6042	判定		8.37 / 7 = 1.1957	判定		13.95 / 7 = 1.992	判定	
	有効面積	0.740 × 0.740 × 2 枚 × 1 = 1.0952	OK		(0.74 × 1.14 × 6 枚 × 3 = 15.1848) + (0.740 × 0.895 × 4 枚 × 3 = 7.9476) 合計 = 23.1324	OK		0.380 × 1.180 × 1 枚 × 3 = 1.3452	OK		0.740 × 1.140 × 2 枚 × 3 = 5.0616	OK	
排煙	必要面積	10.68 / 50 = 0.2136	判定		46.23 / 50 = 0.924	判定		8.37 / 50 = 0.1674	判定		13.95 / 50 = 0.279	判定	
	有効面積	0.760 × 0.600 × 1 台 = 0.456	OK		0.760 × 0.755 × 3 台 = 1.7214 + (0.76 × 0.51 × 2 台 = 0.7752) 合計 = 2.4966	OK		(0.097 + 0.332) × 0.755 × 1 台 = 0.323895	OK		0.500 × 0.755 × 1 台 = 0.3775	OK	
換気	必要面積	10.68 / 20 = 0.534	判定		46.23 / 20 = 2.311	判定		8.37 / 20 = 0.4185	判定		13.95 / 20 = 0.6975	判定	
	有効面積	0.760 × 0.900 × 1 台 = 0.684	OK		(0.760 × 1.300 × 3 台 = 2.964) + (0.76 × 1.055 × 2 台 = 1.6036) 合計 = 4.5676	OK		0.332 × 1.300 × 1 台 = 0.4316	OK		0.760 × 1.300 × 1 台 = 0.988	OK	
室名		車 庫		55.25 m ²									
開口符号		AW-1		OSD-1									
開口幅		(1.500/2)-48.5=701.5											
※ 図													
採光	必要面積												
	有効面積												
排煙	必要面積	55.25 / 50 = 1.105		判定									
	有効面積	0.701 × 0.400 × 2 台 = 0.5608 + (5.76 × 0.400 × 1 台 = 2.304) 合計 = 2.8648		OK									
換気	必要面積	55.25 / 20 = 2.7625		判定									
	有効面積	0.701 × 1.300 × 2 台 = 1.8226 + (5.76 × 2.500 × 1 台 = 14.4) 合計 = 16.2226		OK									
小屋 裏 計 算 換 気		2階天井面積 93.5 m ²		換気部材の換気面積 150.5 cm ²		判定							
	必要面積	93.5 × 10000 × 1 / 166 = 584.375 cm ²		OK									
	有効面積	11.316 × 150.5 cm ² = 1703.058 cm ²											
訂正	月 日						設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号	
	.							製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—	
											図面名称	採光・排煙・換気計算	
											縮尺	図面番号	
												A新築-28	

— 01

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図6.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、8.1による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 端部は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

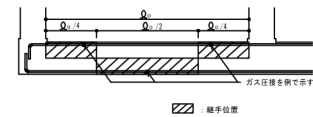


図6.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

6.2 基礎梁のあばら筋等

- (a) 一般事項
(1) あばら筋の形および間隔は、構造図による。
(2) あばら筋の形及びフックの位置は、8.2(b)による。
ただし、梁の上端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいり1.5m以上の場合は、図6.5によることができる。

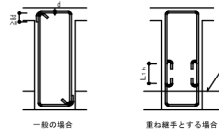


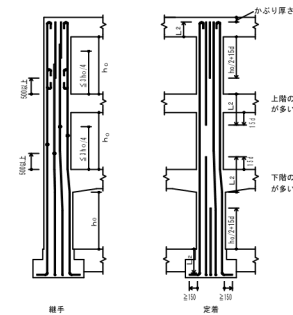
図6.5 あばら筋の形及びフックの位置

(b) 端部及び幅止め筋は、8.2による。ただし、梁せいり1.5m以上の場合は構造図による。

(c) あばら筋の割付けは、8.2(a)による。

7.1 柱

- (a) 一般事項
(1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、かつ、3h₀/4 (h₀は柱の内径高さ) 以下とする。
(2) 継手、定着及び余長は、図7.1による。
ただし、柱脚定着長さ1/2が確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の両端にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 張り合う継手の位置は、表4.2 [張り合う継手の位置] による。
3. 継手及び定着は、すべての筋に適用できる。

図7.1 柱主筋の継手、定着及び余長

7.2 帯筋

(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

(b) 帯筋組立の形は図7.2により、適用は構造図による。

- (1) H形の1/2 曲げたフックが図示の場合は、W-1形とする。
(2) 図示する場合の適用長さとしては、両面フランジ両端の場合は1/4以上、片面フランジ両端の場合は1/4以上とする。
(3) S Pにおいて、柱頭及び柱脚の端部は1.5倍以上の高さを引き、

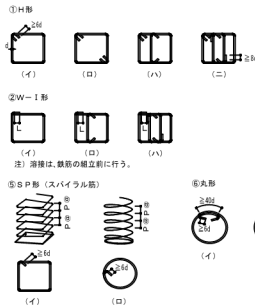
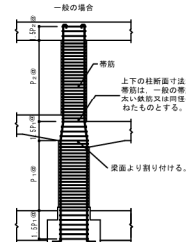


図7.2 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図7.3とし、それ以外の場合は構造図による。



- (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
2. 柱に張り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P ※または1.5P ※とする範囲は、その柱に張り付くすべての梁を考慮して適用する。
なお、P ※、P ※は、特記された帯筋の間隔を示す。

図7.3 帯筋の割付け

8.1 大梁

- (a) 一般事項
(1) 梁の上り下り筋は、FLを基準とした寸法とする。
(2) 地中梁下の砂利地層及び捨てコンクリート地層は構造図による。
(3) 打直し筋はスラブ、壁、梁等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打直し筋を含まない。

(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 継手中心位置は、次のとおり。
上端筋：中央 $L_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せいり (D) 以上とし、 $L_0/4$ を加えた範囲以内
(2) 継手中央梁の位置、定着長さ及び余長は図8.1及び図8.4による。
(3) 梁筋は、連続梁で柱に接する梁筋が両側の柱に接しない限り引き通すものとし、継手の本数が異なる場合には、図8.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部は、折り曲げて定着する。

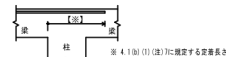
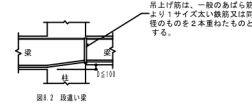


図8.1 梁主筋の梁内定着

- (4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次のとおり。
なお、定着方法は標準仕様書 3.4.5 (イ) による。
上端筋：曲げ上げる
下端筋 (一般)：原則、曲げ上げる。
下端筋 (ハンチ付き)：曲げ上げる。
(5) 梁にハンチをつける場合、その横筋は構造図による。

(b) 段違いは、図8.2による。



(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図8.3による。

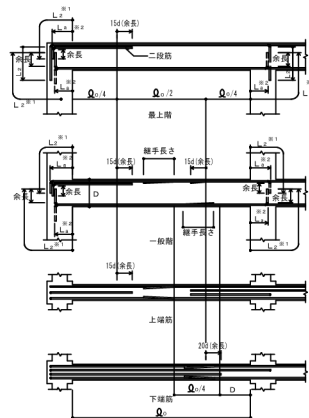


図8.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(d) ハンチのある場合の定着及び余長は、図8.4による。

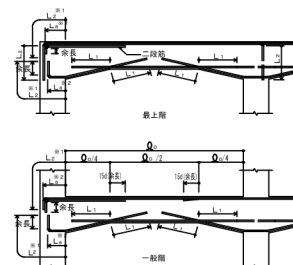


図8.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の隅端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
4. 端部は、柱内定着を要する。
5. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

図8.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

8.2 あばら筋等

(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

(1) あばら筋の種類、形及び間隔は、構造図による。

- (2) 端部に継手を打付ける場合の継手長さは、100mm程度とし、定着長さは図8.6による。
ただし、端部を計算上考慮している場合の継手長さは、定着長さは構造図による。
(3) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-600程度とする。

(b) あばら筋組立の形及びフックの位置

- (1) 標準組立は、図8.5 (イ) とする。
ただし、L形梁の場合は、(ロ) または (ハ)、T形梁の場合は (ロ) ~ (ニ) とすることができる。

- (2) フックの位置
1. (イ) の場合は柱面とする。
2. (ロ) の場合は、柱ではスラブの付く側、T形では交互とする。
3. (ハ) の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

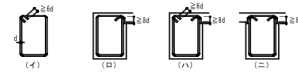
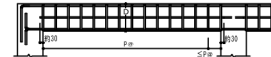


図8.5 あばら筋組立の形

(c) あばら筋の割付け

(1) 間隔が一律でハンチのない場合は、図8.6による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.6 あばら筋の割付け (その1)

(2) 間隔が一律でハンチのある場合は、図8.7による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※、P ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.7 あばら筋の割付け (その2)

(3) 梁の断面で間隔の異なる場合は、図8.8による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※、P ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.8 あばら筋の割付け (その3)

(d) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁は、図8.9による。

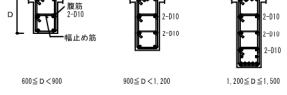


図8.9 腹筋および幅止め筋

8.3 小梁

(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長

(1) 連続小梁の場合は、図8.10による。



- (注) 1. L_0 を確保出来ない場合は、横柱 (5.3.4 (d) (3)) によることが出来る。
2. 図示のない事項は、8.1及び8.11に準ずる。
3. 印は、余長を示す。

(b) 単独小梁の場合は、図8.11による。

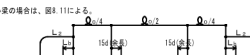


図8.11 単独小梁の継手、定着及び余長 (その1)

(c) あばら筋は、8.2による。

(d) あばら筋は、8.2による。

(e) あばら筋は、8.2による。

(f) あばら筋は、8.2による。

(g) あばら筋は、8.2による。

(h) あばら筋は、8.2による。

(i) あばら筋は、8.2による。

(j) あばら筋は、8.2による。

(k) あばら筋は、8.2による。

(l) あばら筋は、8.2による。

(m) あばら筋は、8.2による。

(n) あばら筋は、8.2による。

(o) あばら筋は、8.2による。

(p) あばら筋は、8.2による。

(q) あばら筋は、8.2による。

(r) あばら筋は、8.2による。

(s) あばら筋は、8.2による。

(t) あばら筋は、8.2による。

(u) あばら筋は、8.2による。

(v) あばら筋は、8.2による。

(w) あばら筋は、8.2による。

(x) あばら筋は、8.2による。

(y) あばら筋は、8.2による。

(z) あばら筋は、8.2による。

(aa) あばら筋は、8.2による。

(ab) あばら筋は、8.2による。

(ac) あばら筋は、8.2による。

(ad) あばら筋は、8.2による。

(ae) あばら筋は、8.2による。

(af) あばら筋は、8.2による。

(ag) あばら筋は、8.2による。

(ah) あばら筋は、8.2による。

(ai) あばら筋は、8.2による。

(aj) あばら筋は、8.2による。

(ak) あばら筋は、8.2による。

(al) あばら筋は、8.2による。

(am) あばら筋は、8.2による。

(an) あばら筋は、8.2による。

(ao) あばら筋は、8.2による。

(ap) あばら筋は、8.2による。

(aq) あばら筋は、8.2による。

(ar) あばら筋は、8.2による。

(as) あばら筋は、8.2による。

(at) あばら筋は、8.2による。

(au) あばら筋は、8.2による。

(av) あばら筋は、8.2による。

(aw) あばら筋は、8.2による。

(ax) あばら筋は、8.2による。

(ay) あばら筋は、8.2による。

(az) あばら筋は、8.2による。

(ba) あばら筋は、8.2による。

(bb) あばら筋は、8.2による。

(bc) あばら筋は、8.2による。

(bd) あばら筋は、8.2による。

(be) あばら筋は、8.2による。

(bf) あばら筋は、8.2による。

(bg) あばら筋は、8.2による。

(bh) あばら筋は、8.2による。

(bi) あばら筋は、8.2による。

(bj) あばら筋は、8.2による。

(bk) あばら筋は、8.2による。

(bl) あばら筋は、8.2による。

(bm) あばら筋は、8.2による。

(bn) あばら筋は、8.2による。

(bo) あばら筋は、8.2による。

(bp) あばら筋は、8.2による。

(bq) あばら筋は、8.2による。

(br) あばら筋は、8.2による。

(bs) あばら筋は、8.2による。

(bt) あばら筋は、8.2による。

(bu) あばら筋は、8.2による。

(bv) あばら筋は、8.2による。

(bw) あばら筋は、8.2による。

(bx) あばら筋は、8.2による。

(by) あばら筋は、8.2による。

(bz) あばら筋は、8.2による。

(ca) あばら筋は、8.2による。

(cb) あばら筋は、8.2による。

(cc) あばら筋は、8.2による。

(cd) あばら筋は、8.2による。

(ce) あばら筋は、8.2による。

(cf) あばら筋は、8.2による。

(cg) あばら筋は、8.2による。

(ch) あばら筋は、8.2による。

(ci) あばら筋は、8.2による。

(cj) あばら筋は、8.2による。

(ck) あばら筋は、8.2による。

(cl) あばら筋は、8.2による。

(cm) あばら筋は、8.2による。

(cn) あばら筋は、8.2による。

(co) あばら筋は、8.2による。

(cp) あばら筋は、8.2による。

(cq) あばら筋は、8.2による。

(cr) あばら筋は、8.2による。

(cs) あばら筋は、8.2による。

(ct) あばら筋は、8.2による。

(cu) あばら筋は、8.2による。

(cv) あばら筋は、8.2による。

(cw) あばら筋は、8.2による。

(cx) あばら筋は、8.2による。

(cy) あばら筋は、8.2による。

(cz) あばら筋は、8.2による。

(da) あばら筋は、8.2による。

(db) あばら筋は、8.2による。

(dc) あばら筋は、8.2による。

(dd) あばら筋は、8.2による。

(de) あばら筋は、8.2による。

(df) あばら筋は、8.2による。

(dg) あばら筋は、8.2による。

(dh) あばら筋は、8.2による。

(di) あばら筋は、8.2による。

(dj) あばら筋は、8.2による。

(dk) あばら筋は、8.2による。

(dl) あばら筋は、8.2による。

(dm) あばら筋は、8.2による。

(dn) あばら筋は、8.2による。

(do) あばら筋は、8.2による。

(dp) あばら筋は、8.2による。

(dq) あばら筋は、8.2による。

(dr) あばら筋は、8.2による。

(ds) あばら筋は、8.2による。

(dt) あばら筋は、8.2による。

(du) あばら筋は、8.2による。

(dv) あばら筋は、8.2による。

(dw) あばら筋は、8.2による。

(dx) あばら筋は、8.2による。

(dy) あばら筋は、8.2による。

(dz) あばら筋は、8.2による。

(ea) あばら筋は、8.2による。

(eb) あばら筋は、8.2による。

(ec) あばら筋は、8.2による。

(ed) あばら筋は、8.2による。

(ee) あばら筋は、8.2による。

(ef) あばら筋は、8.2による。

(eg) あばら筋は、8.2による。

(eh) あばら筋は、8.2による。

(ei) あばら筋は、8.2による。

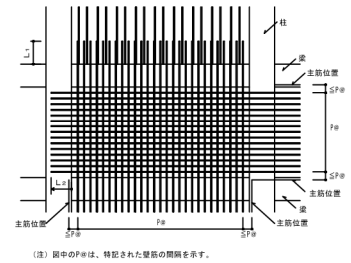
(ej) あばら筋は、8.2による。

(ek) あばら筋は、8.2による。

(el) あばら筋は、8.2による。

9.1 壁

- (a) 一般事項
- (1) 壁配筋の重ね継手及び定長の長さは、重ね継手長さをい、定長長さをいとする。鉄筋の継手位置は、柱、梁部以外とする。
- (2) 継手の間隔は、壁厚とも $\geq 1,000$ mm程度とする。
- (3) 打直し部分に定長 $\geq 3D$ 等が取得する場合、鉄筋の定長長さに打直し部分を含ませない。



(注) 図中のP等は、特記された壁筋の間隔を示す。

図9-1 壁の配筋

- (b) 壁の基準配筋は表9-1により、種別は構造図による。

表9-1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W1	D10-200シングル	150
W1A	D10-150シングル	150
W1B	D10-100シングル	150
W1C	D10-200ダブル	150
W1D	D10-150ダブル	150
W2A	D10-200ダブル	200
W2B	D10-150ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表9-2により、種別は構造図による。

表9-2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋 筋(筋1)
K1	縦筋 D10-200ダブル 横筋 D10-200ダブル	180	KA1 KA2
K2	縦筋 D10-150ダブル 横筋 D10-200ダブル	200	KA3 KA4

(注) 縦筋は、構造の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

- (e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図9-2による。

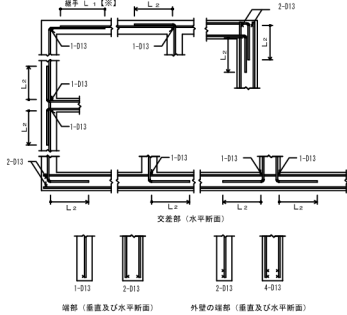


図9-2 壁の交差部及び端部の配筋

9.2 壁の補強

- (a) 壁開口部の補強

- (1) 扉窓等を設ける壁開口部の補強筋は、A形は表9-3、B形は表9-4とし、適用は13-3(b) (1)による。なお、射撃壁の補強筋は、構造図による。

壁の種類	縦筋	横筋
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

表9-4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	縦筋	横筋
W12、W15	2-D13	1-D13
W18、W20	4-D13	2-D13

- (2) 壁開口部補強の定長長さは、図9-3による。

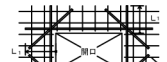


図9-3 壁開口部補強筋の定長長さ

- (b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、13-3(b) (2)による。

10.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、Lを基準とした寸法値とする。
- (2) 土間スラブ下の発熱地層厚及び地中コンクリート厚は13-1 (1)による。
- (3) 土間コンクリート補強筋 (D) の配筋及びコンクリート厚さは13-4 (1)による。
- (4) スラブの基準配筋 (S形基準配筋) は表10-1及び図10-1により、配筋種別及びスラブ厚は、構造図による。

表10-1 S形基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配筋筋)	配筋種別	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配筋筋)
S1	D13-1000	D13-1000	S4	D10、D13-1500	D10-1500
S2	同上	D13-1500	S5	同上	D10-2000
S3	同上	D10、D13-1500	S10	D10、D13-2000	D10、D13-2000
S4	D13-1500	D13-1500	S11	同上	D10-2000
S5	同上	D10、D13-1500	S12	同上	D10-2000
S6	同上	D10-1500	S13	D10-2000	D10-2000
S7	D10、D13-1500	D10、D13-1500	S14	同上	D10-2000

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

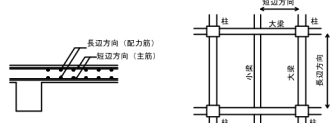


図10-1 スラブの配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- (6) 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
- (7) 定長長さ及び受け筋は、図10-2による。ただし、引き通すことができない場合は、図10-3により案内に定着する。

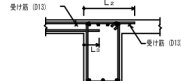


図10-2 スラブ筋の定長長さ及び受け筋 (その1)

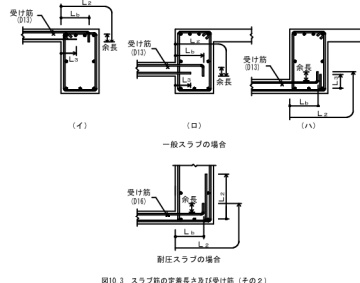


図10-3 スラブ筋の定長長さ及び受け筋 (その2)

10.2 片持スラブ

- 片持スラブの配筋は、次による。

- (1) 片持スラブの基準配筋 (C形基準配筋) は、表10-2及び図10-4及び図10-5により、配筋種別及びスラブ厚は、構造図による。

表10-2 C形基準配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
C1	上 D13-1000 下 D13-2000	C5	上 D10-2000 下 D10-4000
C2	上 D13-1500 下 D13-2000	C6	上 D10、D13-2000 下 —
C3	上 D10、D13-1500 下 D10、D13-2000	C7	上 D10-2000 下 —
C4	上 D10-2000 下 D10-2000		

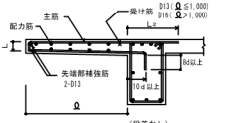


図10-4 片持スラブの配筋 (C1からC5)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚よりかぶり厚を離れた長さとする。

図10-5 片持スラブの配筋 (C6及びC7)

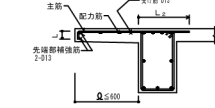


図10-6 片持スラブの配筋 (C6及びC7)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚よりかぶり厚を離れた長さとする。

図10-7 片持スラブの配筋 (C6及びC7)

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図10-6による。

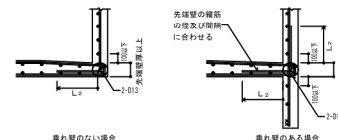


図10-6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部

- (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図10-7による。
- (ii) 出隅受け部分 (図10-7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

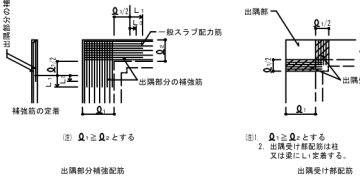


図10-7 片持スラブ出隅部の補強配筋

10.3 スラブ等の補強

- (a) スラブ開口部の補強

- スラブ開口部の補強は、特記による。
- (1) スラブ開口部の最大径が100mm以下の場合は、図10-8により開口部によって与えられる鉄筋と同等の鉄筋で断面を補強し、開口部に斜め方向に2-D13 (D13-2) シングルを上下部の内側に配筋する。

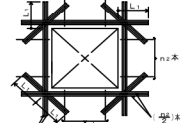


図10-8 スラブ開口部の補強配筋

- (ii) スラブ開口部の最大径が断面方向の配筋間隔以下で、鉄筋を斜めやに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 縦壁スラブの補強

- 縦壁スラブの出隅及び入隅部分には、図10-9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

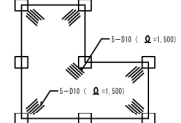


図10-9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブの打抜き補強

- 基礎梁とスラブを一体化しないと、打抜きを設ける場合の補強は図10-10による。ただし、土間スラブとは、土に埋まるスラブで8割の配筋によるものをいう。a>300mmの場合は特記による。

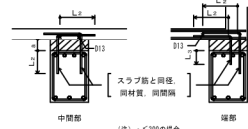


図10-10 打抜き補強配筋

- (d) 土間コンクリートの補強

- 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図10-11による。a>300mmの場合は特記による。

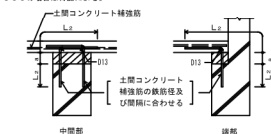


図10-11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

11.1 片持スラブ形階段

- 片持スラブ形階段の基準配筋は、表11-1及び図11-1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

配筋種別	表11-1 片持スラブ形階段の基準配筋	表11-1 片持スラブ形階段の基準配筋
配筋図	KA1 D10-300 D10-300 1 1	KA2 D13 D13 D10-300 D10-300 1 1
配筋図	KA3 D10-300 D13 1 1	KA4 D10-300 D13 1 1

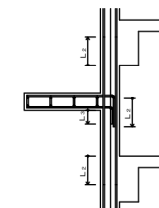


図11-1 片持スラブ形階段の定長

- (注) 1. 階段筋は、9-1 (e) による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから壁に下ろす。
3. スラブ配筋筋の継手及び定長の長さは、表4-3 (鉄筋の定長の長さ) のL1とする。

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							配筋標準図 No. 3	縮尺

11.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表11.2及び図11.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.2 二辺固定スラブ階段基準配筋

配筋種別	上階部、下階部とも（全域）
KB1	D13-200
KB2	D13-150
KB3	D13-100
KB4	D13.16-150
KB5	D16-150
KB6	D16-125
KB7	D16-100

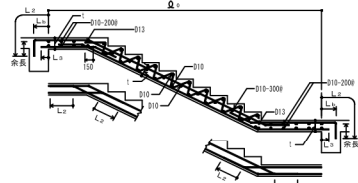


図11.2 二辺固定スラブ階段配筋（その1）

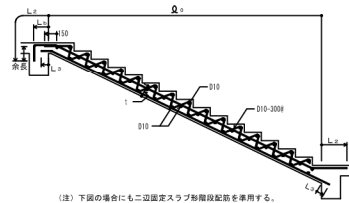


図11.3 二辺固定スラブ階段配筋（その2）

12.1 梁貫通孔

(a) 梁貫通孔は、次のとおり。

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図12.1による。
- 孔の径は、梁せいりの1/3以下とする。孔が円でない場合はこの外縁円とする。
- 孔の上下方向の位置は図12.3による。
- 孔は、柱間から原則として、1.5D（Dは梁せいり）以上とする。ただし、基礎梁及び管付帯梁は除くが、その場合の範囲は特記による。
- 孔が貫通する場合の中心位置は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 補強及び上下階部は、あばら筋の配筋とする。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長は、図12.3による。
- 孔の径が梁せいりの1/3以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を縦向きに敷けることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することがある。
- 階梁鉄筋の長さ1倍以上とし、突出しは100mm以上とする。
- 階梁鉄筋の貫通部分には、鉄筋 1-13.6のリング筋を取り付ける。
- 溶接金網の取り付け位置は、鉄筋ではあばら筋の下敷とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
- 貫通孔の位置は図12.4のように開孔をさきむき45度の斜線（ハッチ筋）には他の開孔を設けないこととする。

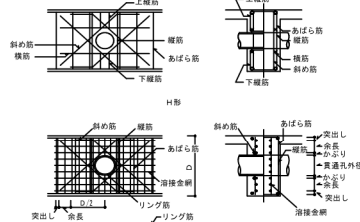
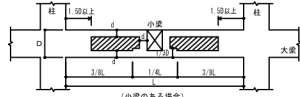
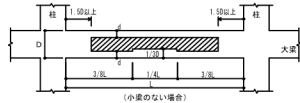


図12.1 梁貫通孔補強筋の名称等



- （注）1. 梁貫通孔のへりありきり法は下記による
- | | |
|---------------|--------|
| 500 ≤ D < 700 | 42.175 |
| 700 ≤ D < 900 | 42.200 |
| 900 ≤ D | 42.250 |

図12.2 梁貫通孔の位置範囲

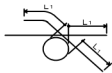


図12.3 補強筋の定着長さ

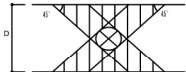


図12.4 他の開孔を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表12.1～表12.3により、配筋種別は構造図による。

表12.1 階配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下階筋	配筋図
H1	なし	なし	なし		
H2	2-2-D13	2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13		
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13		
H5	4-2-D16				
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H7	4-2-D22				

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.2 階配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
K1	2-2-D13	なし	
K2	4-2-D13		
K3	4-2-D13		
K4	6-2-D13	2-4.6-100	

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.3 階配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
KH1	2-2-D13	なし	なし	
KH2	2-2-D13	2-2-D13		
KH3	2-2-D13			
KH4	4-2-D13	2-2-D13	2-4.6-100	
KH5	4-2-D16			
KH6	4-2-D16	4-2-D13	2-4.6-100	
KH7	4-2-D19			

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

12.2 コンクリートブロック縦壁との取合い

(a) 縦壁は、次のとおり。

- 縦壁の配置は、構造図による。
- 配筋は、図12.5による。

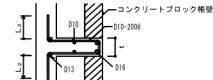


図12.5 縦壁の配筋（水平、垂直とも）

(b) 縦壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図12.6による。

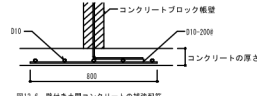


図12.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

12.3 バラベット

バラベットの先端補強筋は、図12.7による。尚、コンクリート厚さ及びバラベットの配筋は構造図による。

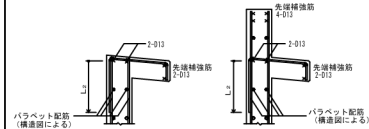
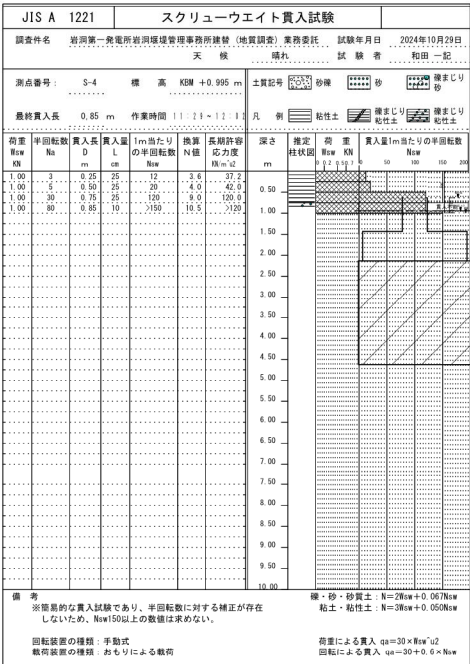
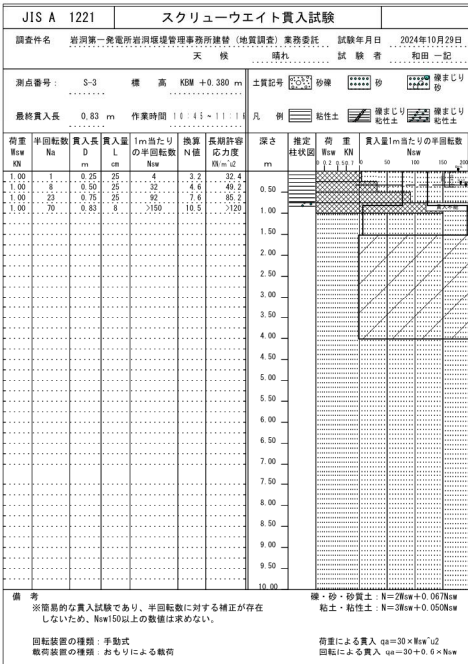
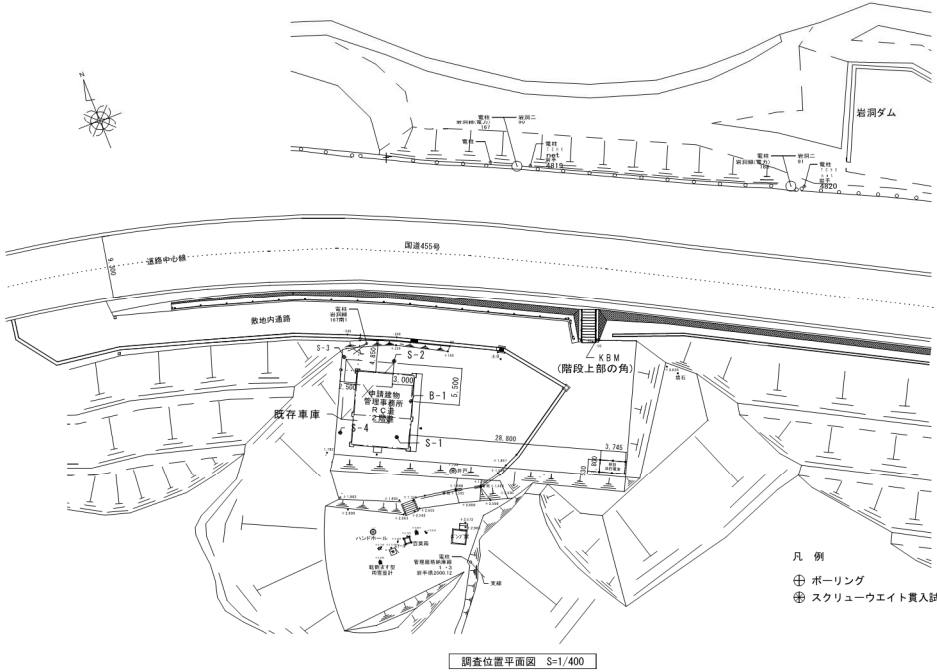
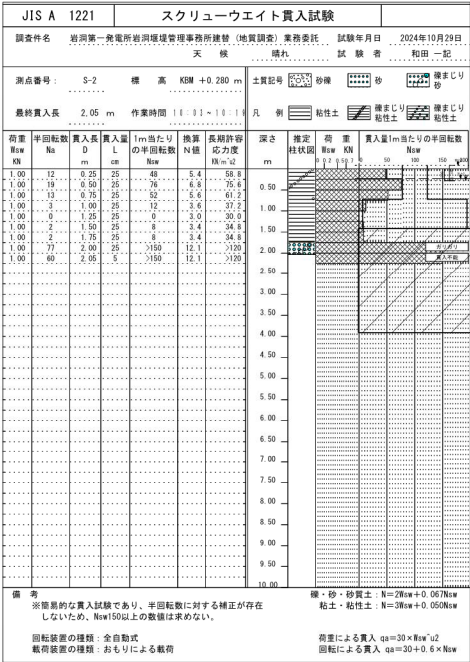
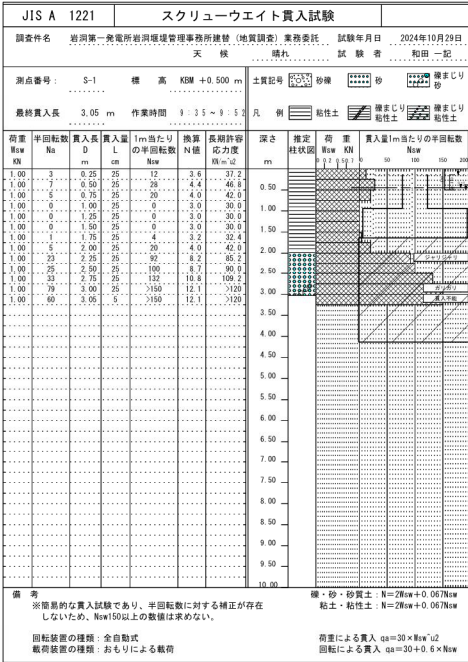
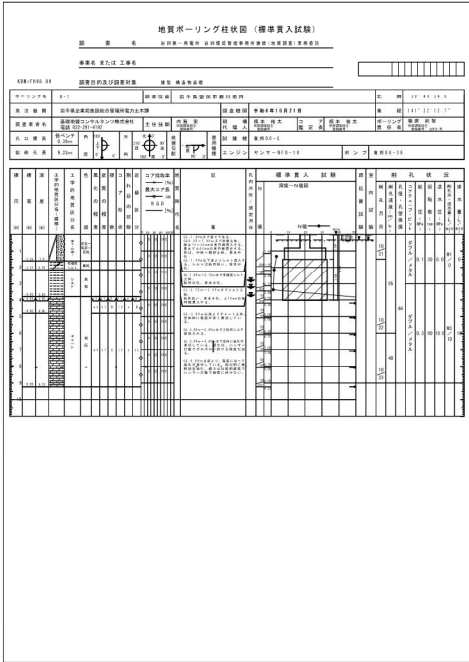
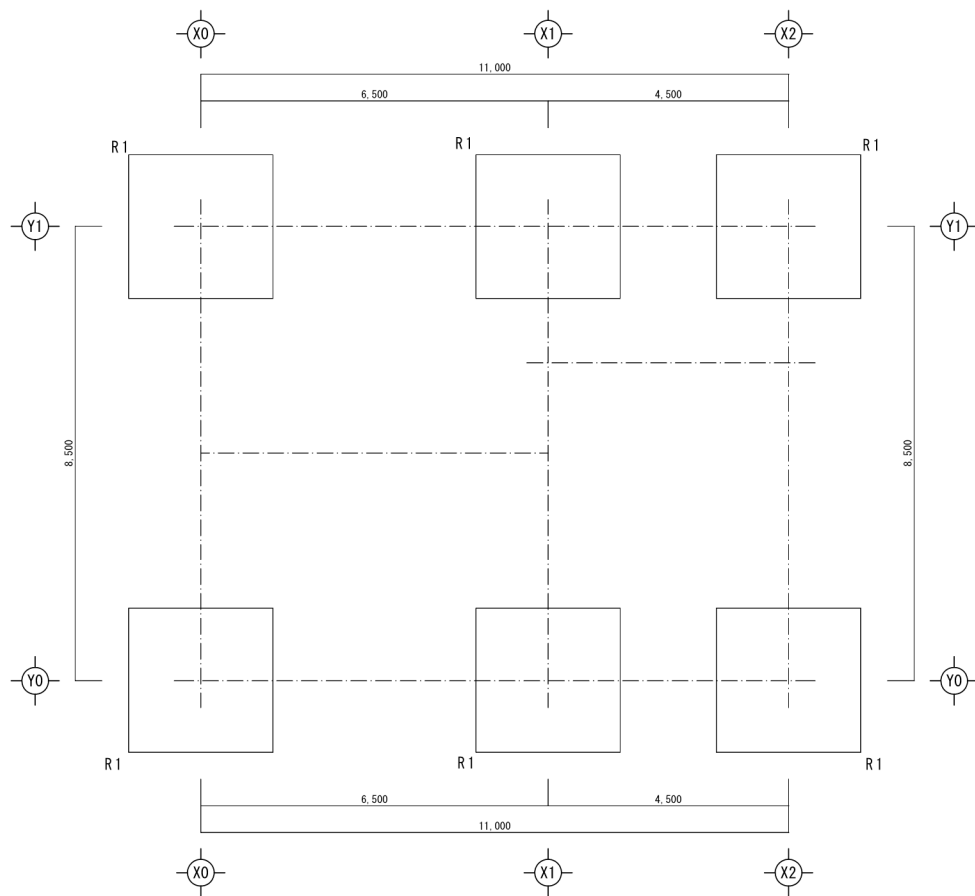
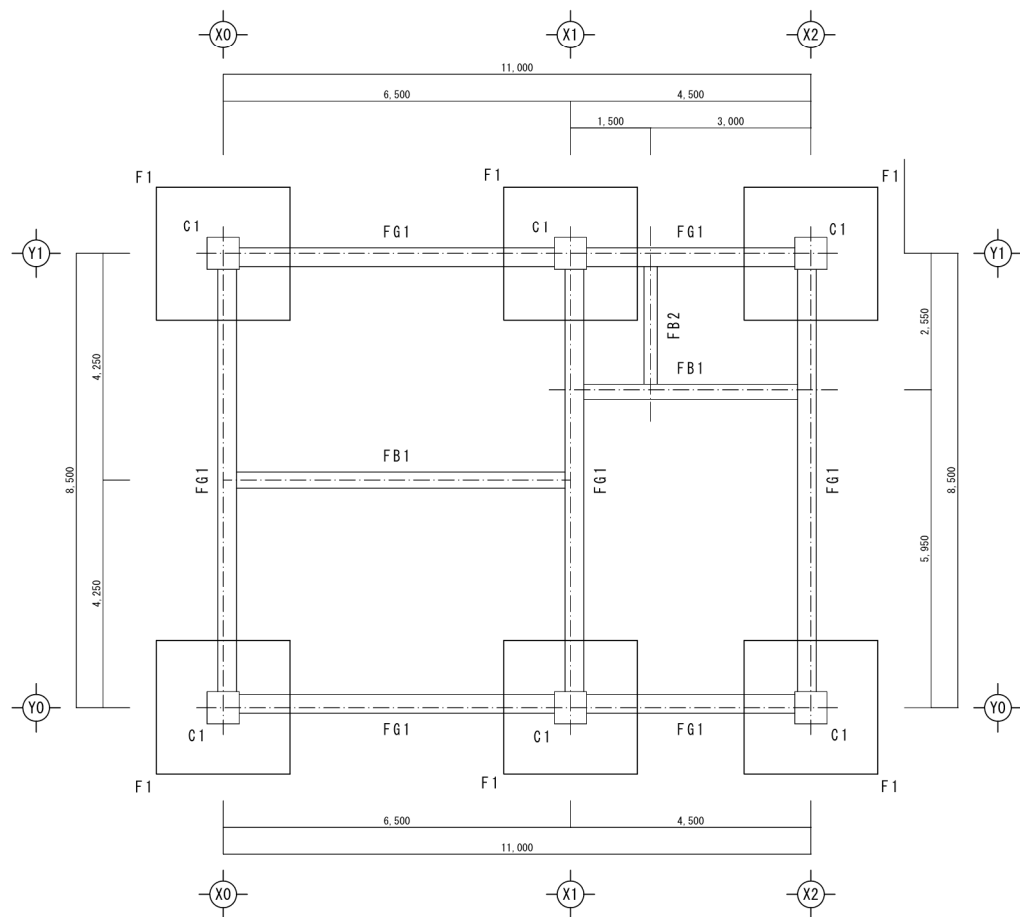


図12.7 バラベットの配筋



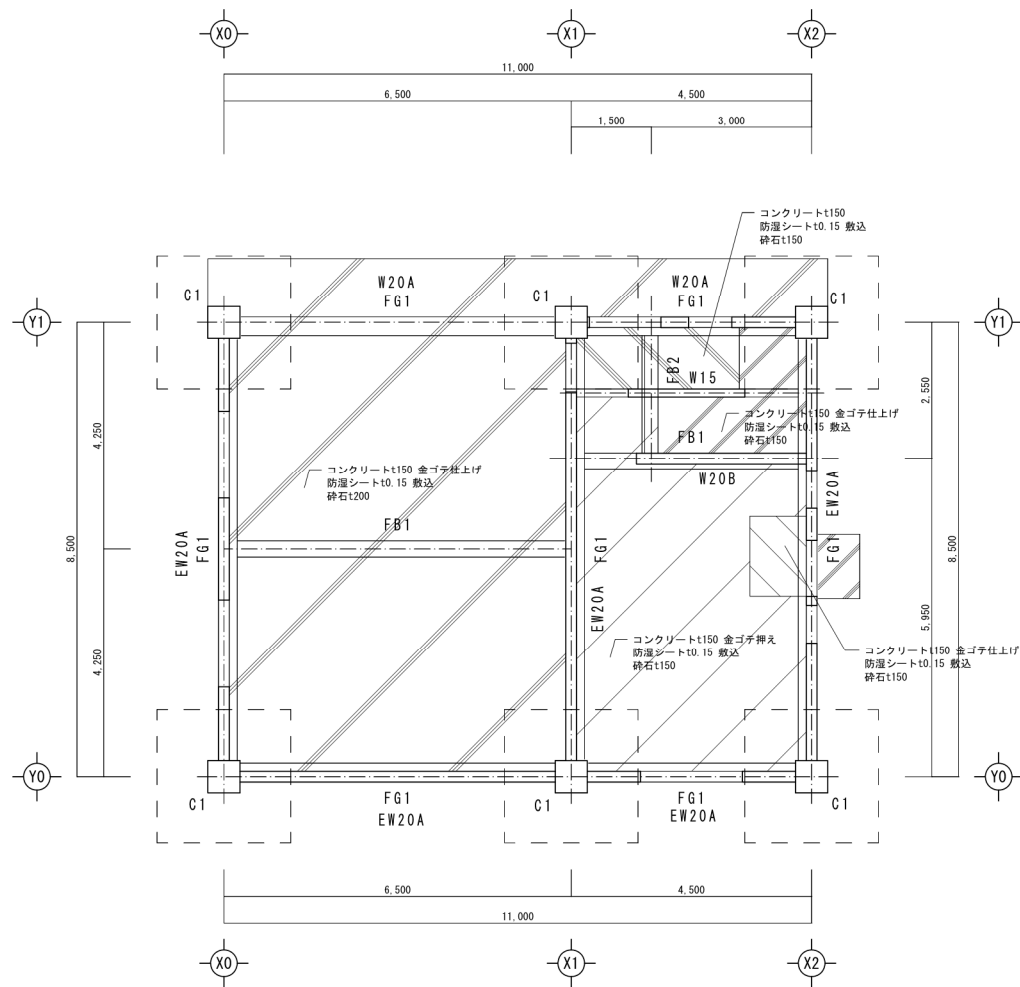


基礎(ラップコンクリート)伏図 S=1/50

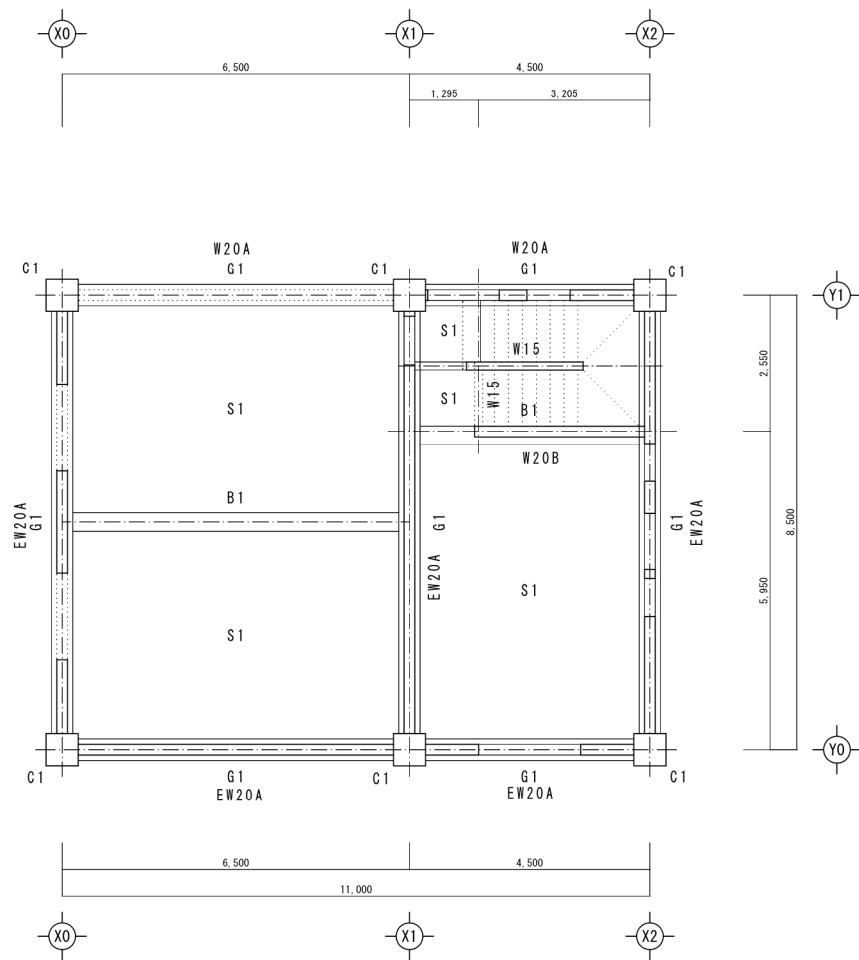


基礎伏図 S=1/50

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号	
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—	
					製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	図面番号
							.	基礎(ラップコンクリート)伏図・基礎伏図	S—09	

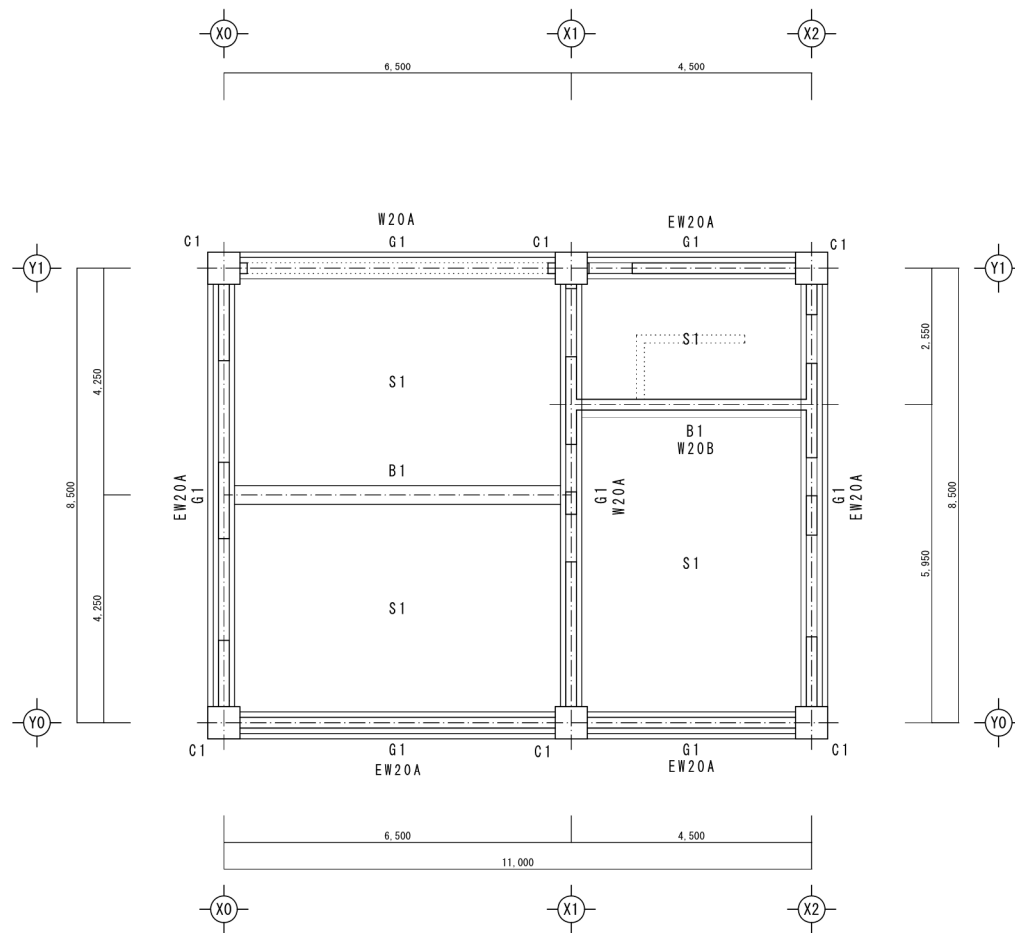


1 階床伏図 S=1/50



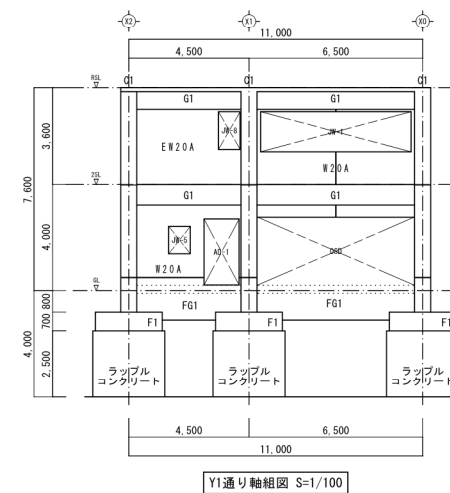
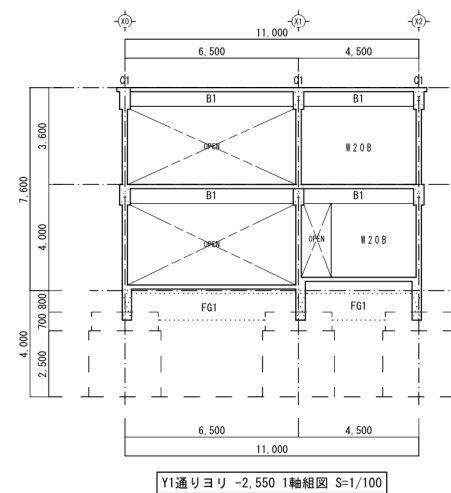
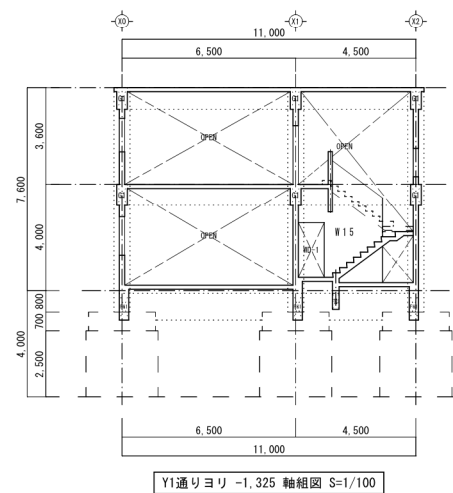
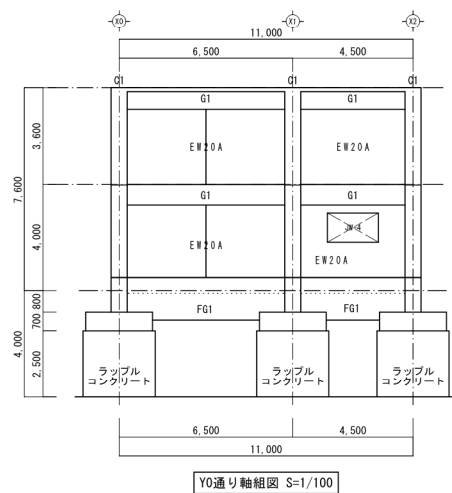
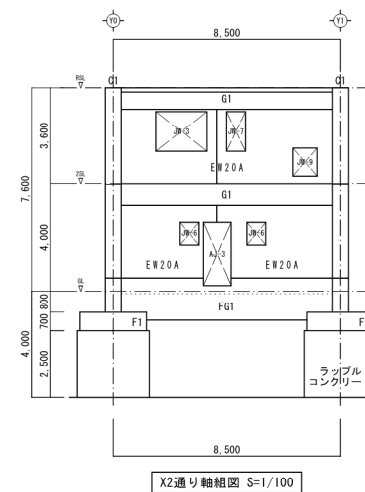
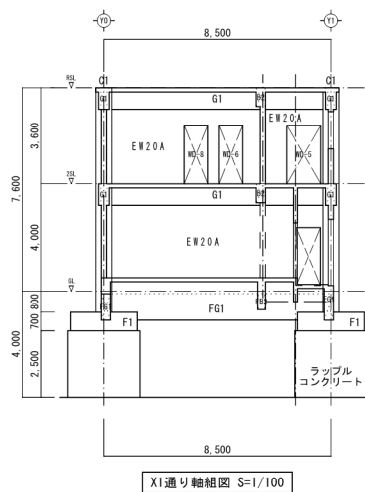
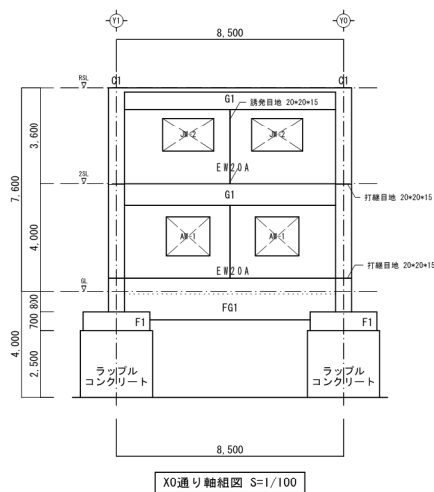
1 階柱、2階梁、床伏図 S=1/50

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	1階床伏図・1階柱、2階梁、床伏図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
								S — 10



2 階柱、壁、R 階梁・R 階床伏図 S=1/50

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	・				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								1階床伏図・1階柱、2階梁、床伏図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									S — 11



訂正	月			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	日								
					製図	担当	受領年月日	図面名称 軸組図	縮尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)
									図面番号 S — 13

3-6 スカップ

- 改良型スカップ
(1) スカップ半径5rは35mmとする。5rは10mmとする。
(2) スカップ内面の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、接合部は滑らかに仕上げる。

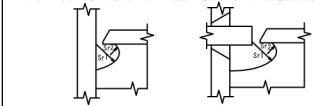


図 3.6 標準型スカップ

- (1) スカップ半径5rは35mmとする。



図 3.7 改良型スカップ

- (1) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

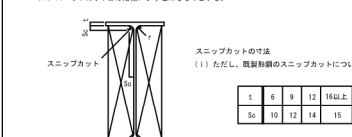


図 3.8 スニップカットの寸法

- (1) 溶接部分の段差
(1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

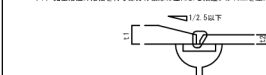


図 3.9 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

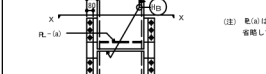


図 3.10 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

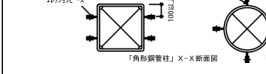


図 3.11 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

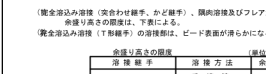


図 3.12 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

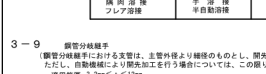


図 3.13 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

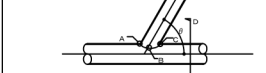


図 3.14 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は



図 3.15 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は



図 3.16 溶接部分の段差

- (1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚による段差が10mmを超える場合は

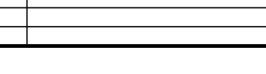


図 3.17 溶接部分の段差

3-10 スタッド溶接

- (1) スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。
(2) スタッド溶接材料は、JIS B 1105「溶接用棒状電極」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、15、16、19及び22の4種類とする。
(3) スタッド溶接は、デックプレート上から行わなければならない。ただし、デックプレート厚1.6mm以下、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。
(4) スタッドの間の間隔、ゲージ等の寸法は、表3.18及び図3.18による。

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

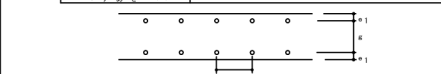


図 3.18 スタッドの配置

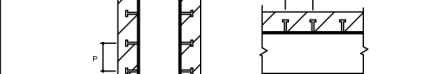


図 3.19 スタッドの配置

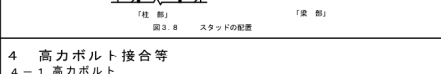


図 3.20 スタッドの配置

- (1) 高力ボルトの配置は、JIS B 1105「溶接用棒状電極」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、15、16、19及び22の4種類とする。
(2) スタッド溶接は、デックプレート上から行わなければならない。ただし、デックプレート厚1.6mm以下、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。
(3) フランジボルトの材料規格はS40Cとする。

図 3.21 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.22 フランジボルトの配置

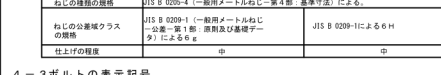


図 3.23 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.24 フランジボルトの配置

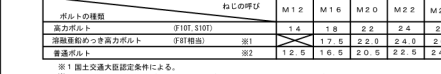


図 3.25 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.26 フランジボルトの配置



図 3.27 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.28 フランジボルトの配置

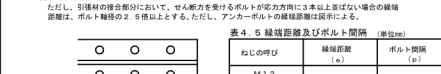


図 3.29 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.30 フランジボルトの配置



図 3.31 フランジボルトの配置

項目	寸法
間隔 (mm)	呼び名の7倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (mm)	呼び名の5倍以上
ヘリあき (mm)	4.0mm以下

図 3.32 フランジボルトの配置

4-7 千鳥打ちのゲージ及び間隔

ゲージ (mm)	千鳥打ちの間隔 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24
3.5	5.0
4.0	4.5
4.5	4.0
5.0	3.5
5.5	2.5
6.0	—

図 4.3 千鳥打ちのゲージ及び間隔

4-8 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.4 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.5 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.6 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.7 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.8 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.9 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.10 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.11 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.12 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.13 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.14 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼	ボルト	最大軸径 (mm)
M12 M16 M20 M22	M24	4.0
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	—	4.0

図 4.15 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

6-3 柱脚

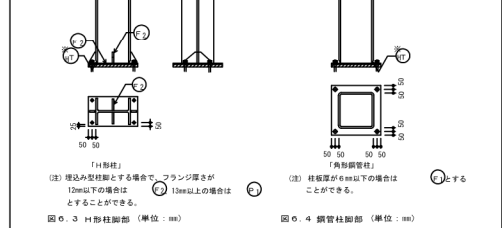


図 6.3 柱脚の寸法



図 6.4 柱脚の寸法



図 6.5 柱脚の寸法

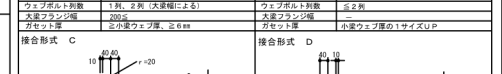


図 6.6 柱脚の寸法

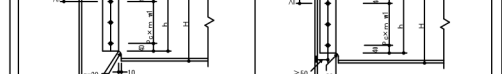


図 6.7 柱脚の寸法

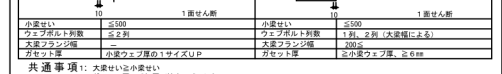


図 6.8 柱脚の寸法



図 6.9 柱脚の寸法



図 6.10 柱脚の寸法

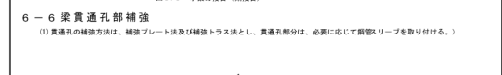


図 6.11 柱脚の寸法

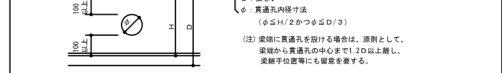


図 6.12 柱脚の寸法



図 6.13 柱脚の寸法

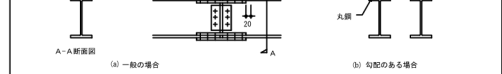


図 6.14 柱脚の寸法

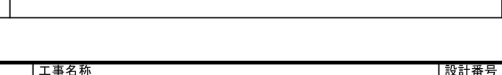


図 6.15 柱脚の寸法

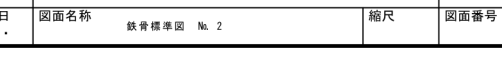
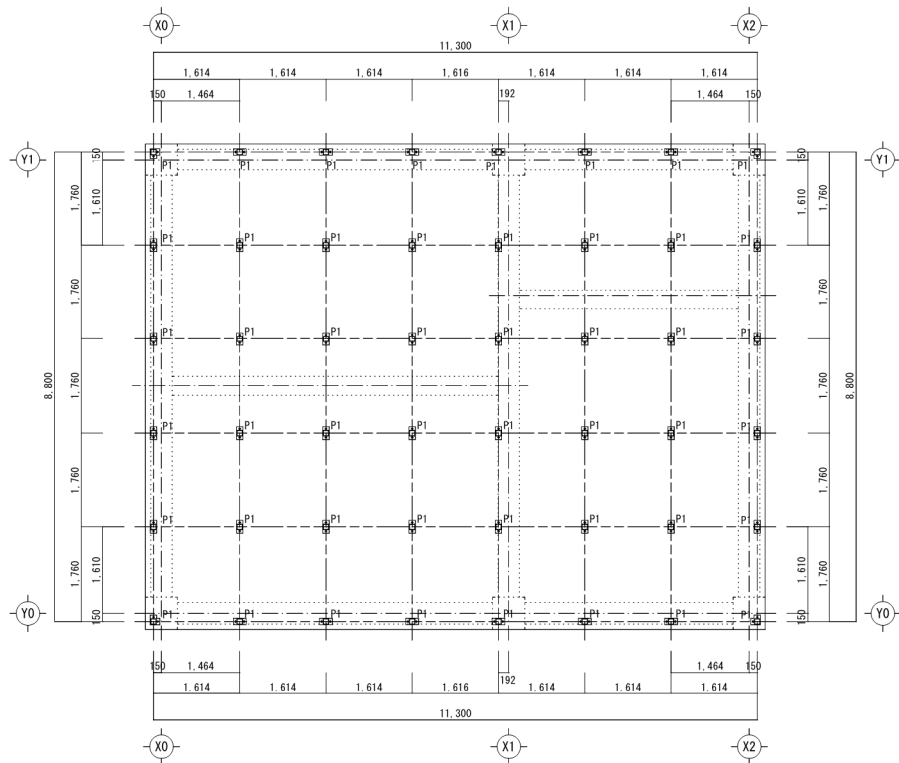
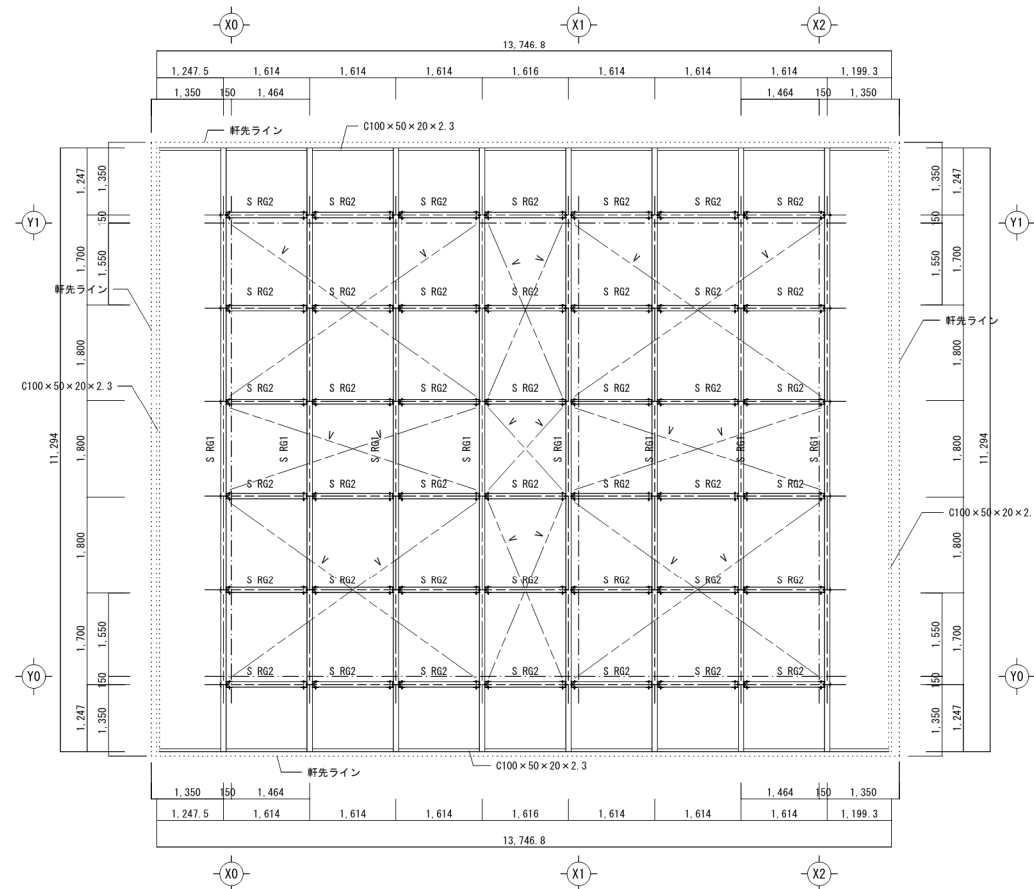


図 6.16 柱脚の寸法

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							鉄骨標準図 No. 2	縮尺

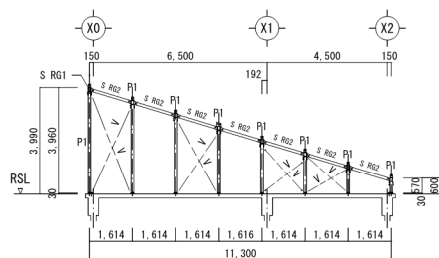


置屋根 柱伏図 S=1/50

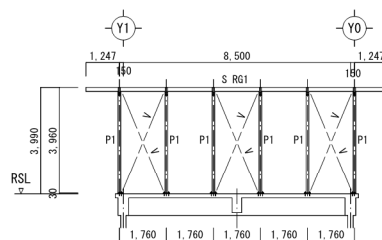


置屋根 母屋伏図 S=1/50

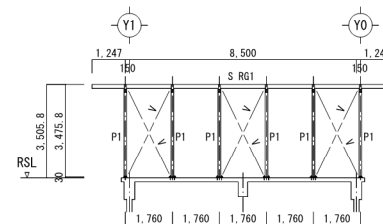
訂正	月		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	日							
				製図	担当	受領年月日	図面名称 置屋根 柱伏図・置屋根 母屋伏図	図面番号
							縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	S — 18



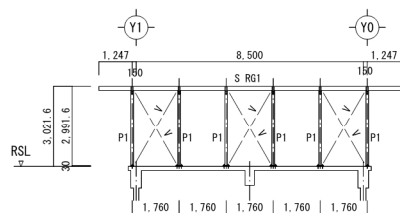
Y全通り 軸組図 S-1/100



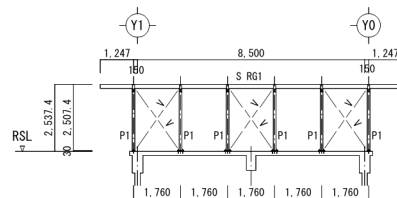
X0通りヨリ - 150 軸組図 S-1/100



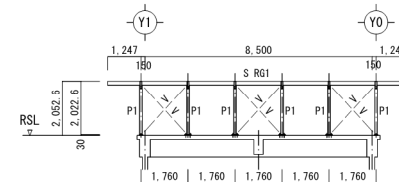
X0通りヨリ + 1,464 軸組図 S-1/100



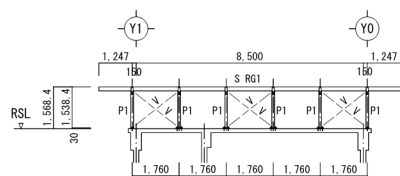
X0通りヨリ + 3,078 軸組図 S-1/100



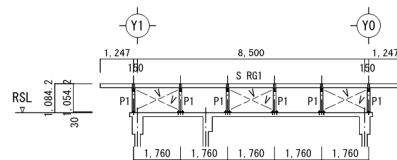
X0通りヨリ + 4,692 軸組図 S-1/100



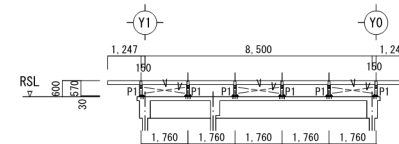
X1通りヨリ - 192 軸組図 S-1/100



X1通りヨリ + 1,422 軸組図 S-1/100



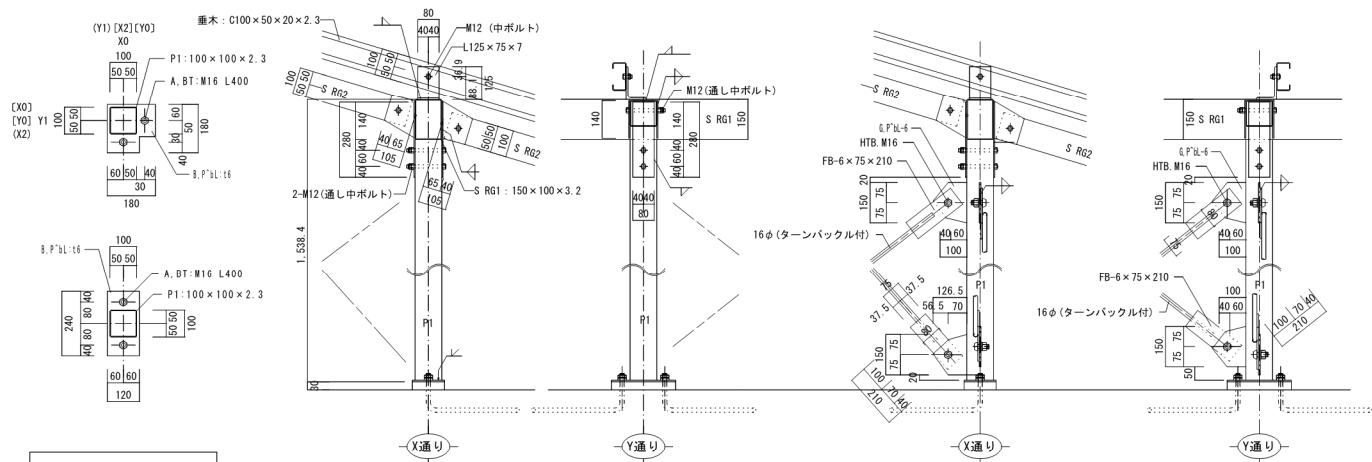
X1通りヨリ + 3,036 軸組図 S-1/100



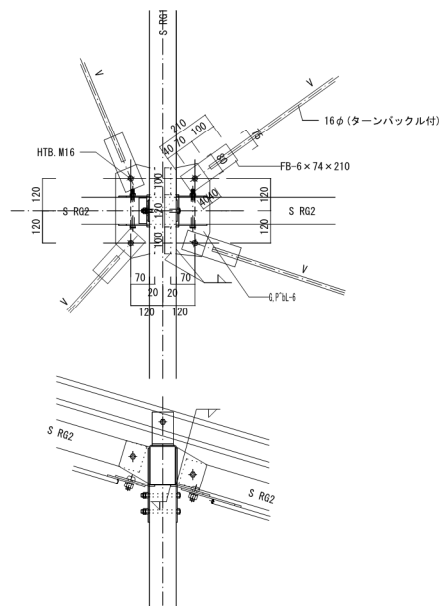
X2通りヨリ + 150 軸組図 S-1/100

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							.	置屋根 軸組図	S-1/100 (A1) S-1/200 (A3)

符 号	鉄骨部材リスト	備 考
P1	☐ 100×100×2.3	B.P ¹ tl-6×120×240 A.B 2-M16 L=400(Wナット) SS-41
S RG1	☐ 150×100×3.2	G.P ¹ tl-4.5 2-M12(中通しボルト)
S RG2	☐ 100×100×2.3	G.P ¹ tl-4.5 M12(中通しボルト)
V	16φ (JISターンバックル付)	丸鋼 SS-400 G.P ¹ tl-6 FB-6×75×210 HTB. M16
垂木	C 100×50×20×2.3	L 125×75×7 M12(中ボルト)
胴縁	C 100×50×20×2.3	L 90×75×6 M12(中ボルト)



壁ブレス納り図 S=1/10



Technical drawing of a building's roof structure, showing a cross-section and a plan view. The cross-section shows a roof with a slope of 10/3, supported by a wall and a column. The plan view shows the roof's layout with dimensions and structural details. A callout box indicates "軒先納り図 S=1/10".

Technical drawing of a window frame assembly, showing top and side views with dimensions and callouts.

Top View Dimensions:

- Overall width: 1.268
- Segment widths: 208, 455, 455, 150
- Callout: S RG1

Side View Dimensions:

- Vertical dimensions: 600, 600, 60
- Horizontal dimensions: 100, 100, 100
- Bottom right corner detail: 150
- Callout: Y0

Callouts:

- 4, 5, 3, 21 (bottom left)
- 100, 100, 100 (middle left)

訂正	月	日		設計年月日	設計	核図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —	
	.				製図	担当	受領年月日 . .	図面名称 建築物解体工事特記仕様書 (1)	縮尺	図面番号 A解体—01

6章
石綿含有建材の除去等

1. 石綿粉じん濃度測定

・石綿粉じん濃度測定

(6.1.3)

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点	
・測定2		調査対象室外部の付近	・計	点	
・測定3		処理作業室内	・計	点	
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計	点	
・測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	・計	点
・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計	点	
・測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計	点	
・測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計	点	
・測定9		調査対象室外部の付近	・計	点	

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）
・測定5	パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4	25	5	30
・測定5	25	10	120
・測定	47	10	240

2. 石綿含有建材の除去

・石綿含有吹付け材の除去

(6.3.2～3)

除去対象範囲

・図示による

除去工法

※6.3.2(1)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化

固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

○埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去

(6.4.1)

除去対象範囲

・図示による

除去工法

・切断又は破砕して除去

○手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

○埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板等の除去

(6.5.1) (6.5.3)

飛散防止の養生

・行う（・養生シート

）

○行わない

除去対象範囲

・図示による

除去した石綿含有成形板等の処分

○石綿含有せっこうボード

※埋立処分（管理型最終処分場）

○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等

○埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

7章
特殊な建設副産物の処理

1. 施工計画調査

特殊な建設副産物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。

特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等	使用箇所
・フロン、ハロン		
・六ふっ化硫黄ガス		
○PFOS		
・特定化学物質		

・分析調査

・行う

○行わない

処理等	(7.3.1)
特殊な建設副産物	処理及び回収等
○冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託
・建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設
・ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託
・イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託
・六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託
○PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託
・特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託

2. 特殊な建設副産物の処理等

電気設備

1. 撤去

※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。

1. 一般事項

撤去前に内容物（発電設備燃料等）の回収を要する機器、配管等の処置

○事前に回収し、洗浄等の処置を行う

2. 撤去

※ 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。

(地下埋設物、埋設配管を含む)

※ 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し回収する。

これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1) 廃棄物等

再資源化を図るもの

・ 小型二次電池

・ 蛍光灯ランプ及びHIDランプ（水銀リサイクル共）

・

特別管理産業廃棄物

・ アスベスト含有材（

・ PCB含有機器（・蛍光灯安定器

・変圧器

）

・ 廃油（

・ 廃アルカリ（・アルカリ蓄電池

）

特殊な建設副産物

・ イオン化式感知器

・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス（・ガス絶縁開閉器

）

2) 機器類

・ 受変電盤

・ 直流電源装置

・ 発電装置

・

ダクトフランジ部撤去参考詳細図

1. ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。

2. フランジ部高側約100mmの箇所において慎重に切断する。

3. ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外周同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。

4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処置とする。

設計年月日

設計

検図

受領印

工事名称

岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事

設計番号

製図

担当

受領年月日

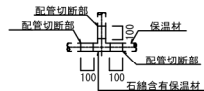
図面名称

建築物解体工事特記仕様書（2）

縮尺

図面番号

A解体—02



- 石綿含有設備資材撤去リスト

[illegible]

配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	・ 冷温水、冷却水	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ ドレン管	・ 硬質塩化ビニル管（V P） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 油	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	・ 蒸気	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	・ 冷媒管	・ 冷媒用被覆銅管
給水	・ 屋内給水管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 ・ 塩化ライニング鋼管 ・ ポリエチレン粉末ライニング鋼管
	・ 屋外給水管	・ 水道用硬質塩化ビニル管（VW） ・ ポリエチレン管 ・ 塩化ライニング鋼管（V D）
給湯	・ 給湯管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 鋼管
	・ 汚水管	・ 排水用鋳鉄管 ・ 塩化ライニング鋼管 ・ 鉛管
排水	・ 雑排水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 屋外排水管	・ コンクリート管 ・ ビニル管（V P）
	・ 屋内ガス管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
ガス	・ 屋外ガス管	・ ガス用ポリエチレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

- 撤去内容

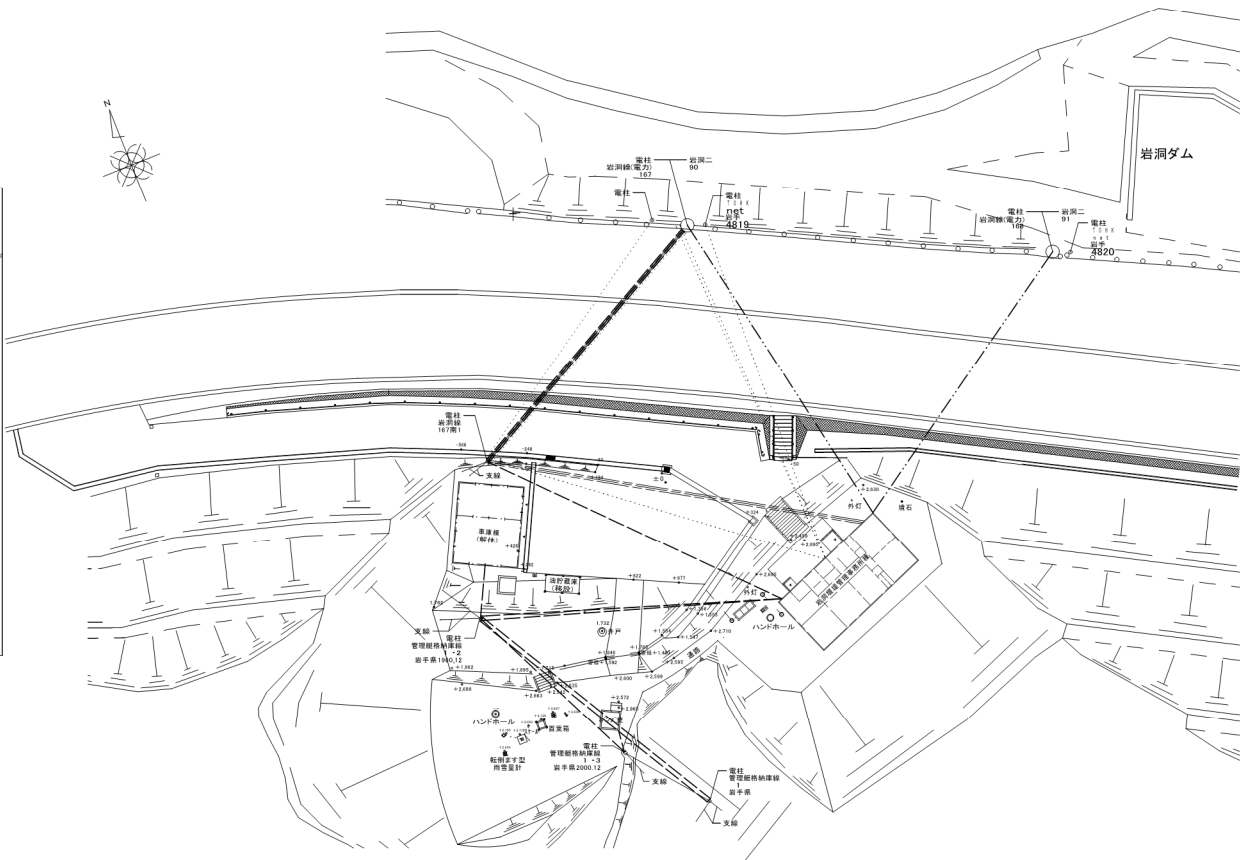
- ### 撤去する機器表

[illegible]

訂正	月	日		設計年月日	設計	校閲	受領印	工事名称	設計番号	
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—	
					製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号
							.	建築物解体工事特記仕様書 (3)		A 解体—03



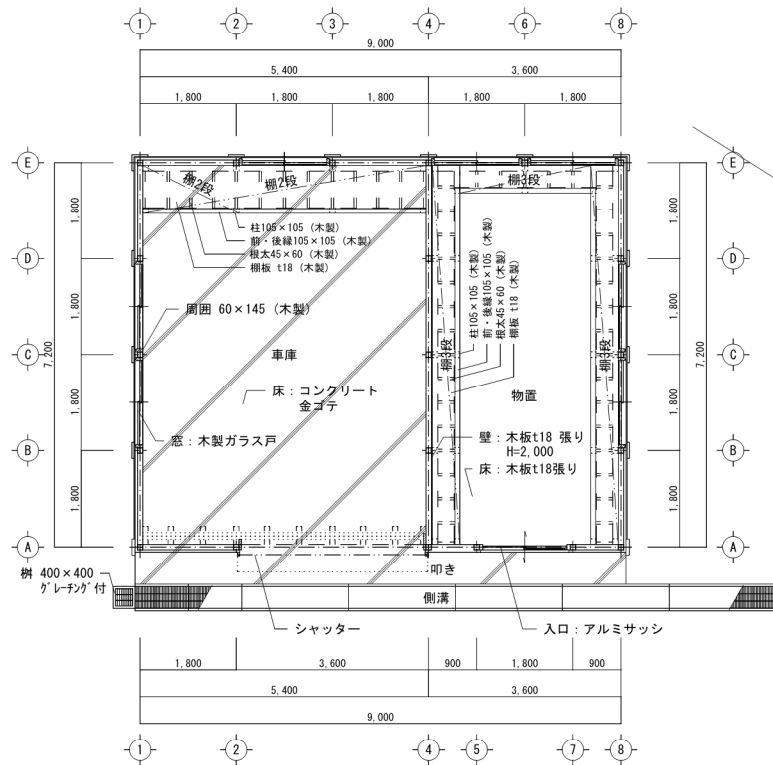
既存建物配置図 S=1/300



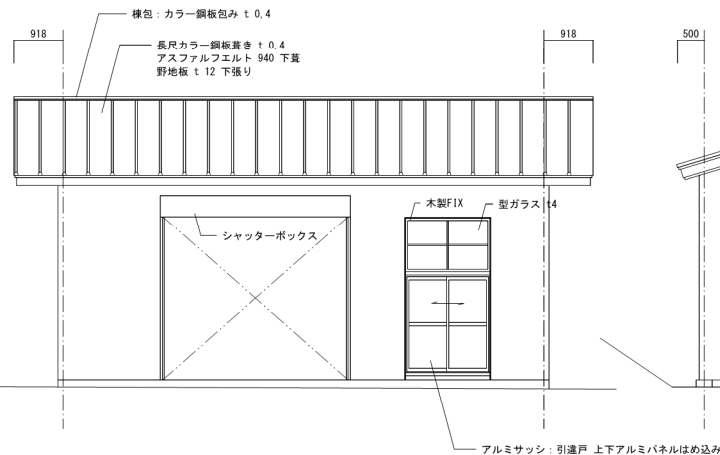
既存建物配置図 S=1/300

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
								図面名称	図面番号
								案内図・既存建物配置図	S=1/300 (A1) S=1/600 (A3)
									A解体 04

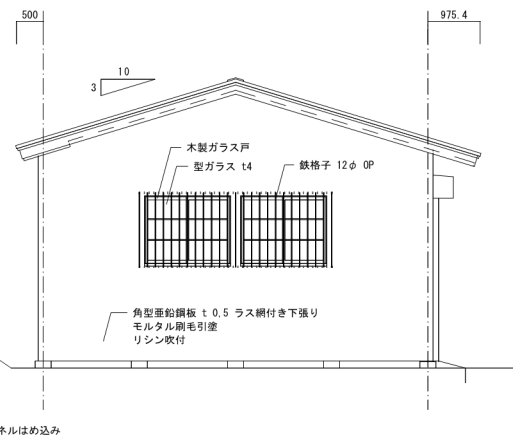
53



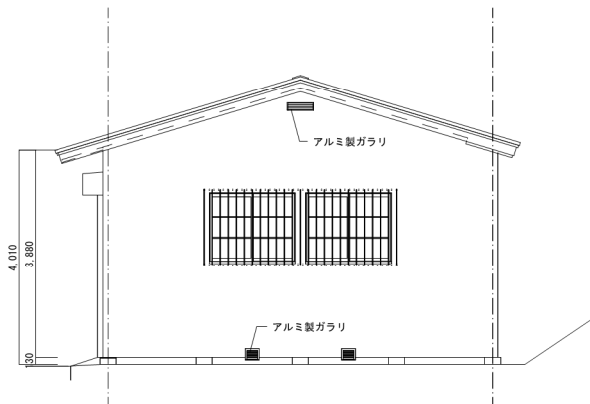
車庫 平面図 S=1/50



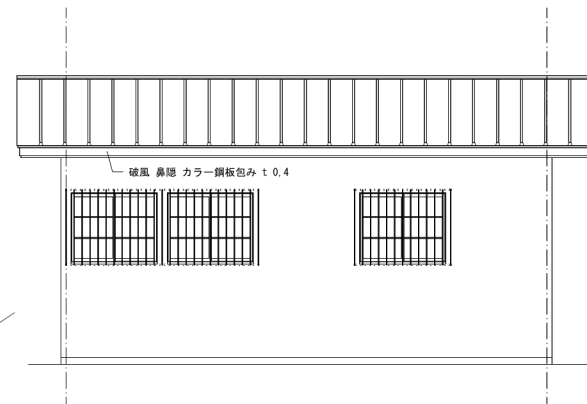
東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

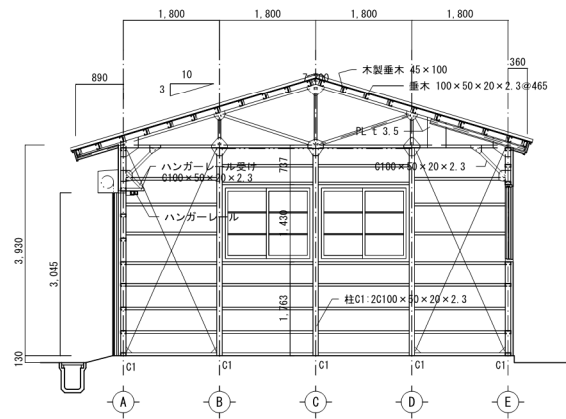


南立面図 S=1/50

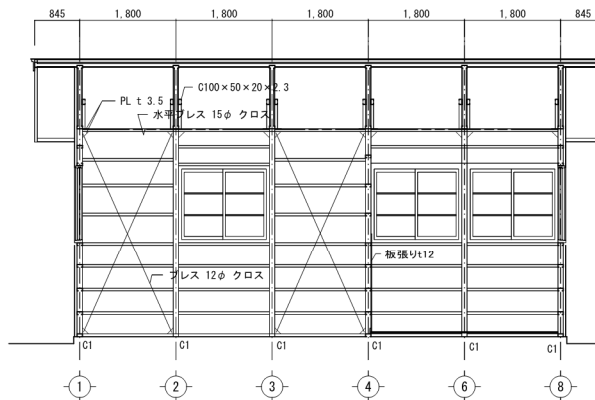


西立面図 S=1/50

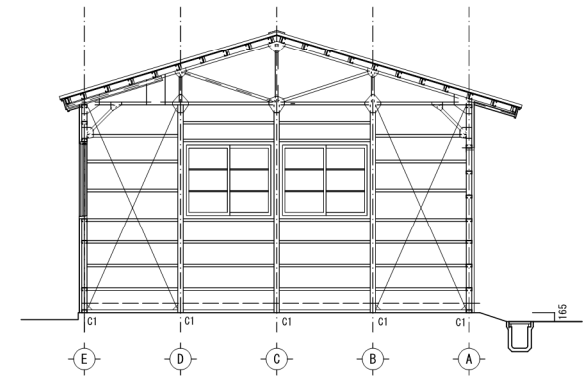
訂正	月 日		設計年月日	設計	検閲	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							既存車庫 平面図・立面図	A 解体 06
							縮尺	
							S=1/50 (A1)	
							S=1/100 (A3)	



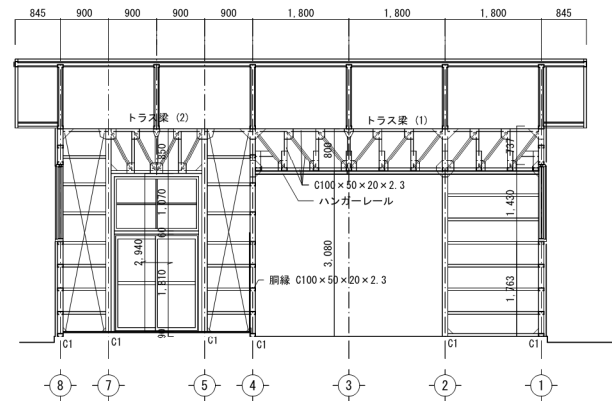
1 通り断面図 S=1/50



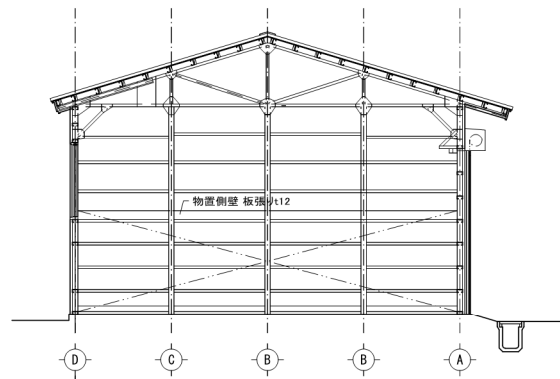
E 通り断面図 S=1/50



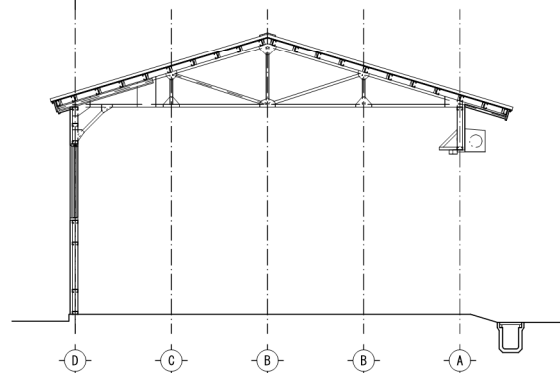
8 通り断面図 S=1/50



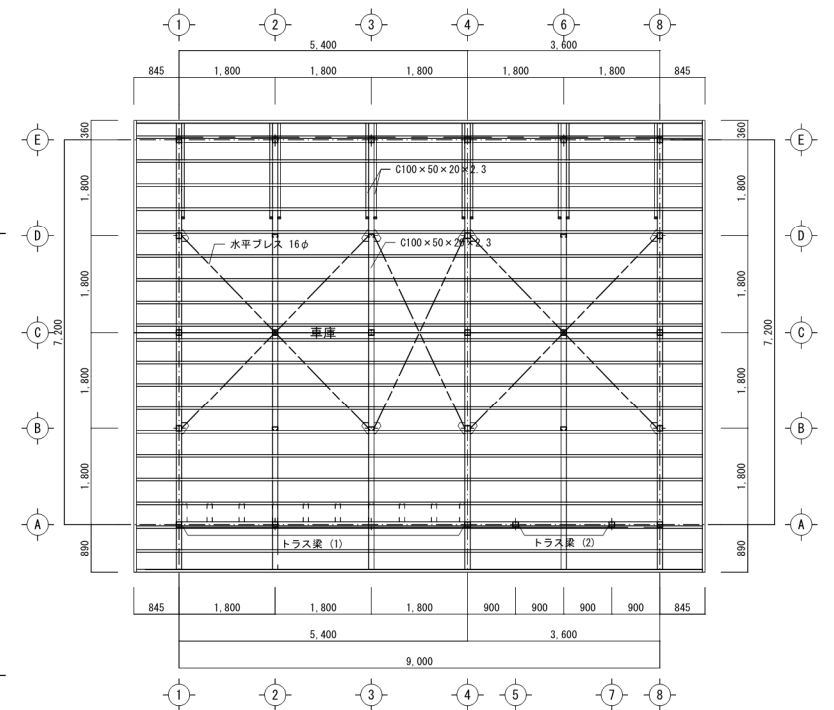
A 通り断面図 S=1/50



4 通り断面図 S=1/50



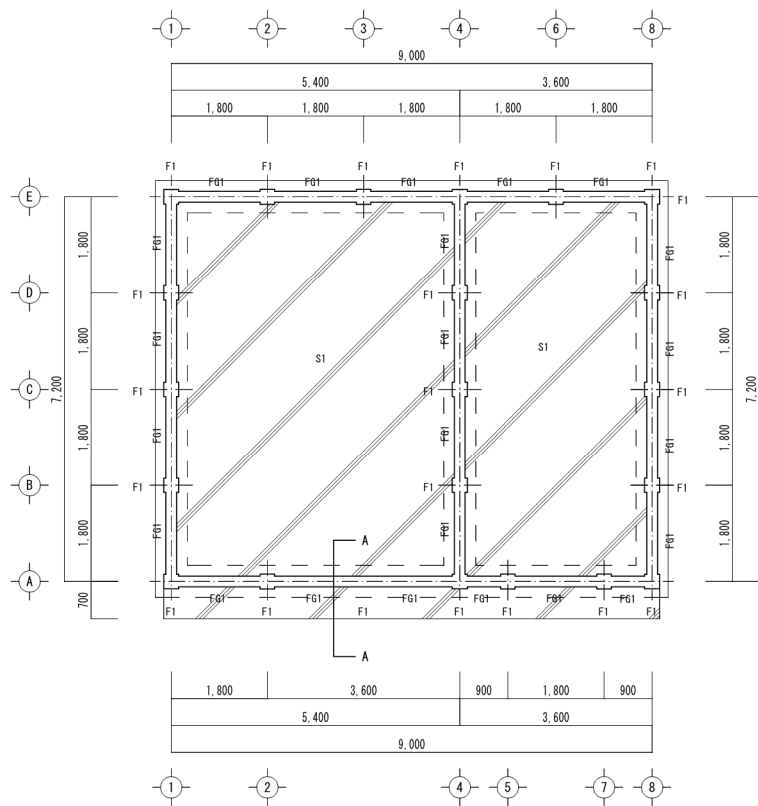
3 通り断面図 S=1/50



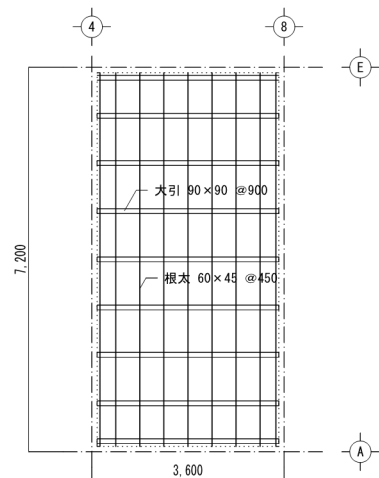
小屋伏図 S=1/50

鉄骨部材リスト		
符 号	部 材	備 考
C1	2C 100×50×20 t 2.3	B: PL 250×200 t 15 (想定) A: BT 16φ L= 600 (想定)
鋼 線	100×50×20 t 2.3	現場溶接
トラス梁 (1)	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
トラス梁 (2)	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
縦 杖	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
母 屋	100×50×20 t 2.3	現場溶接
壁平ブレス	12φ	PL 3.5 ナット留め 現場溶接
水平ブレス	15φ	PL 3.5 ナット留め 現場溶接
ハガーレール受け	100×50×20 t 2.3	現場溶接

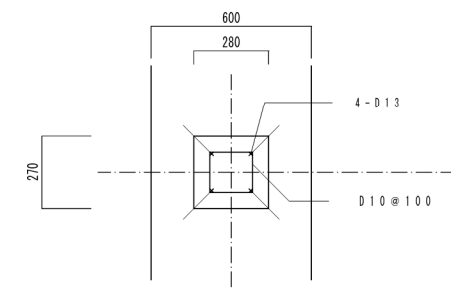
訂正	月 日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
			製図	担当	受領年月日	図面名称 既存車庫棟	図面番号
						1・E・8・A・4・3 通り断面図・小屋伏図・鉄骨部材リスト	A 解体—07
						縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



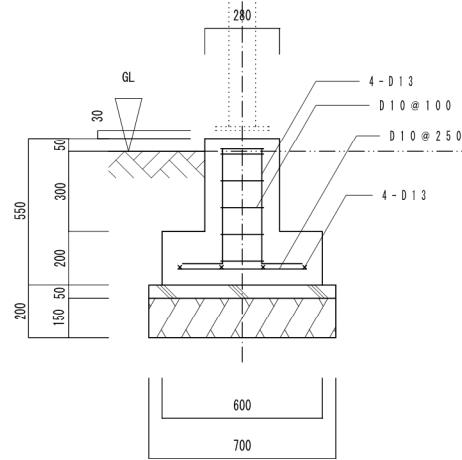
車庫棟基礎伏図 S=1/50



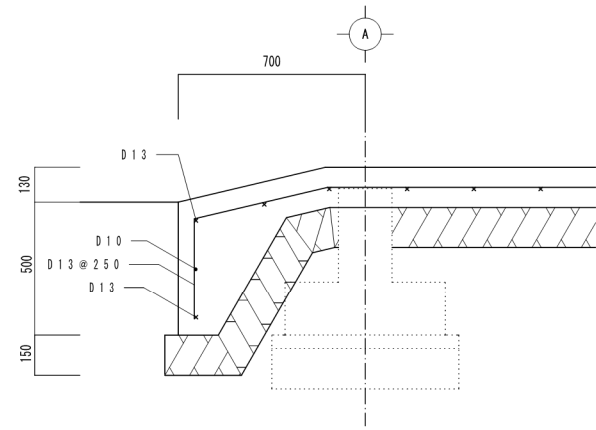
車庫棟・物置床伏図 S=1/50



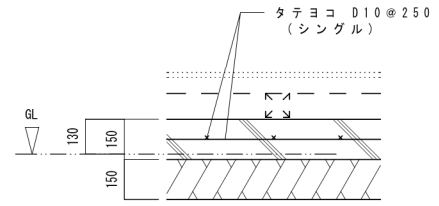
F1 断面図 S=1/10



F01 断面図 S=1/10



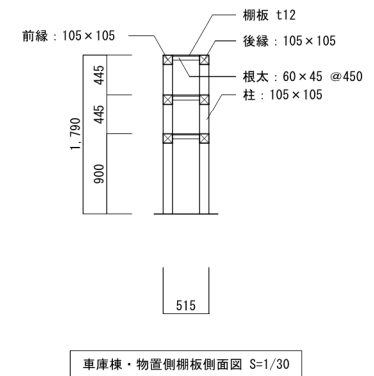
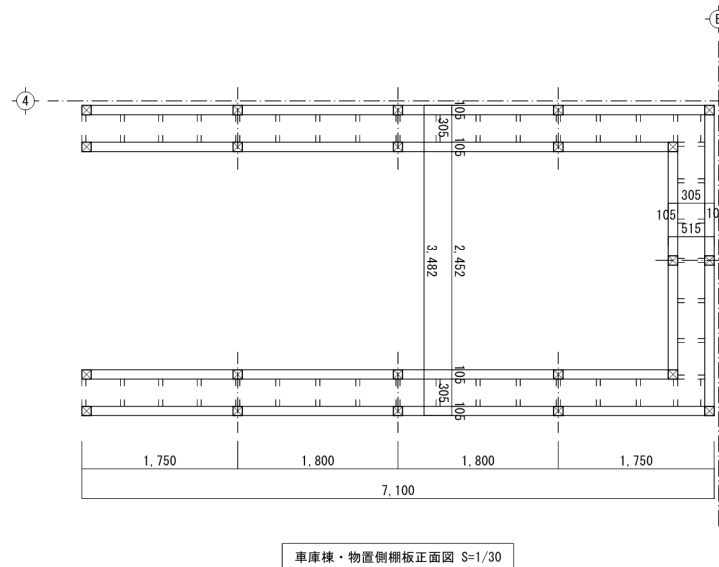
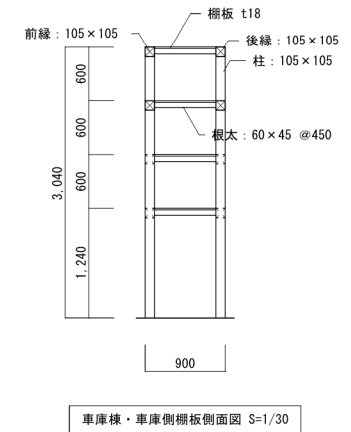
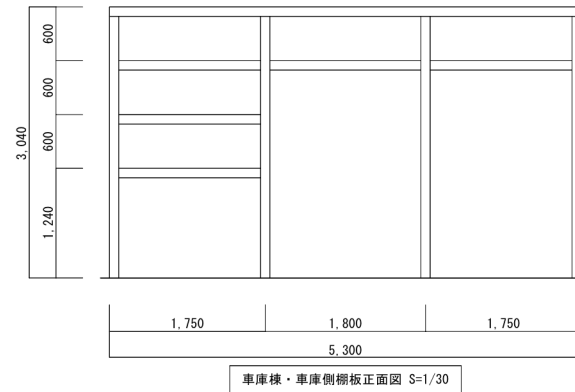
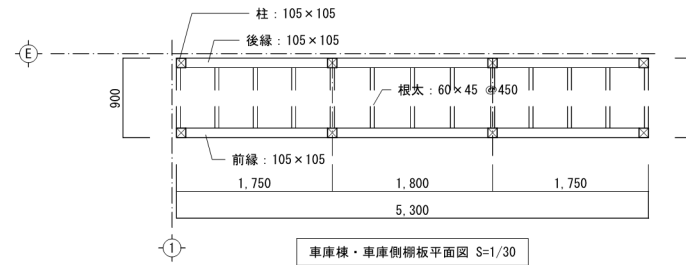
A~A 断面図 S=1/10



S1 断面図 S=1/10

想定図

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
								岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
								車庫棟基礎伏図・F1, F01, S1・A~A断面図 車庫棟・物置床伏図	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/10 (A2) S=1/10 (A3) S=1/10 (A4) A解体—08



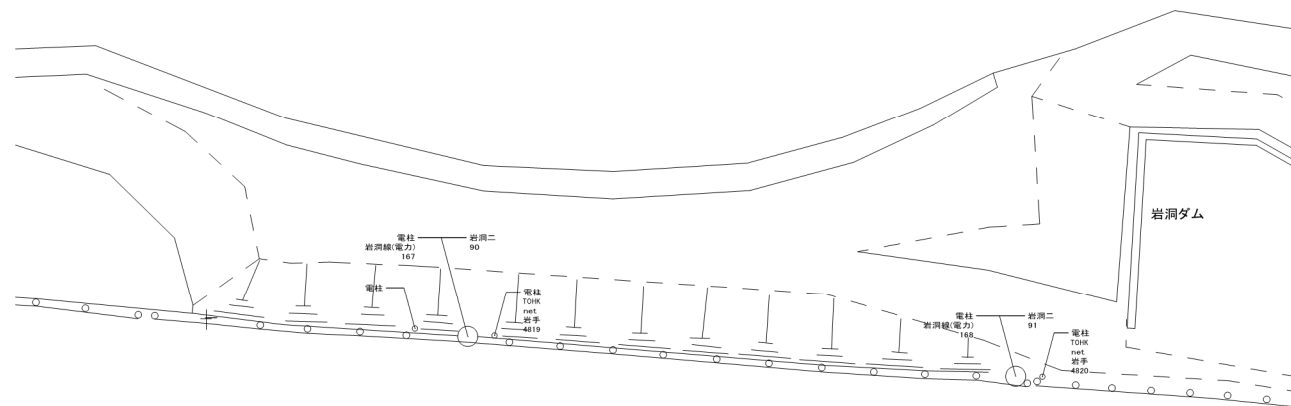
訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	車庫棟 車庫側棚平面図・断面図・側面図 車庫棟 物置側棚平面図・側面図	縮尺 (A1) S=1/30 (A2) S=1/60 (A3) S=1/90
A 解体 — 09								

電気設備工事 特記仕様書									
I. 工 事 概 要									
1. 工 事 名 称		近所間一発電所内環境改善事務用建設工事							
2. 工 事 場 所		福岡市藤川字山24-75							
3. 建 物 概 要									
建物名称	構造	階数	延床積（㎡）	消防法施行令 第1条	耐火性能	窓・開口	備 考		
事務所	RC造	2	120.74	15項	耐火	有窓			
4. 工 事 種 目 （○印のついたものを選択する。）									
工事項目	施作及び 撤去	事務所	工 事 種 別					備 考	
○ 電 灯 設 置	○	●	*	*	*	*			
○ 動 力	○	○	*	*	*	*			
* 電気自動車充電	*	*	*	*	*	*			
* 電 熱	*	*	*	*	*	*			
* 通 風	*	*	*	*	*	*			
* 空 調	*	*	*	*	*	*			
* 電力貯蔵	*	*	*	*	*	*			
○ 売 電	*	○	*	*	*	*			
* 構内配線ケーブル	*	*	*	*	*	*			
○ 構内交換機	○	*	*	*	*	*			
* 環 境 走 行	*	*	*	*	*	*			
* 観 音 ・ 音 響	*	*	*	*	*	*			
* 拡 声	*	*	*	*	*	*			
* 誘導支援	*	*	*	*	*	*			
○ テレビ共同受信	○	*	*	*	*	*			
* 監視カメラ	*	*	*	*	*	*			
* 駐車場管理	*	*	*	*	*	*			
* 防犯・人感警報等	*	*	*	*	*	*			
○ 水 災 知 報	○	*	*	*	*	*			
* 中央空調制御	*	*	*	*	*	*			
○ 構内配電盤	*	○	*	*	*	*			
○ 構造躯体部	*	○	*	*	*	*			
* 電気機器設置	*	*	*	*	*	*			
II. 工 事 仕 様									
1. 共通仕様									
図説及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官署官庁建築部監修（以下「国交官建築部」といふ。）の下記仕様書等のうち〇印が付いたものを使用する。									
① 公共建築物標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版（以下「標準仕様書」といふ。）									
② 公共施設改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版 （以下「改修標準仕様書」といふ。）									
③ 公共施設工事標準設計（電気設備工事編） 令和4年版 （以下「標準設計」といふ。）									
④ 電気設備工事監理指針 令和4年版（以下「監理指針」といふ。）									
2. 特記仕様									
1）項目	事例に ○ 印の付いたものを使用する。								
2）特記事項	事例に ○ 印の付いたものを使用する。 ○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを使用する。 ◎ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に使用する。								
要 項	選 用 品 目	特 記 の 事 項							
一 般	① 適用基準等	＊ 標準値：(JIS E 131) ◎ メーカーの標準値 ＊ 指定色 ○ 建築工事実務監理要綱（令和5年版）国交官建築部 ○ 建築工事実務監理要綱（令和5年版）による工事実施細則ガイドブック（電気設備工事編）（国交官建築部）令和5年版（以下「細則ガイドブック」といふ。） ○ 公共施設改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版 （以下「改修標準仕様書」といふ。） ○ 公共施設工事標準設計（電気設備工事編） 令和4年版 （以下「標準設計」といふ。） ○ 電気設備工事監理指針 令和4年版（以下「監理指針」といふ。）							
	② 構材等	使用する構材が、国土交通大臣官署官庁建築部の「建設材料・設備材料等品質試験報告書承認候補品目表（令和3年版）」にある場合は、評価等の受託も不要で、標準仕様書（編）第1章第4節 4. 2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される断片図、試験結果等は無く。							
	③ 構材の品質保証説明	使用する構材が、国土交通大臣官署官庁建築部の「建設材料・設備材料等品質試験報告書承認候補品目表（令和3年版）」にある場合は、評価等の受託も不要で、標準仕様書（編）第1章第4節 4. 2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される断片図、試験結果等は無く。							
	④ 工事実施経緯の登録（工事入力簿）	適用する。							
	⑤ 電気安全技術者	工事現場における電気安全技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する電気主任技術者を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の実務を行うものとする。							
共 同	⑥ 安全衛生管理	工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり建築基準法、労働安全衛生法等の関係法令等に反つてこれを行う。							
	⑦ 工事用の電力・水の供給	工事用電力・水の供給は、官公署等からの手続を経て供給し、及び本電源受領後引込又は、使用開始までの電気料金は、関係各受注者において負担の上供するものとする。							
	⑧ 足場その他	別契約の関係受注者の足場、さんぽの扉は、無償で使用できる。ただし、別契約の関係受注者の足場は、提供しないしるべしある場合は、その限りでない。							
通 信	⑨ 建造物等の破壊、修復（事故調査等）	施工により、既存建造物等を損壊した場合は、直ちに監督職員へ報告し、発生状況を記録して史料（施工前後状況写真、図面等）を速やかに監督職員へ提出し、修復方法の本工事での実施を要する場合は、関係方々より適切に処理する。							
	⑩ 発生生材の処理	また、発生地において、障害物及び負荷物を発見した場合、食品品目及び可燃物と判断されかねない発生品を発見した場合は、監督職員に事前に報告しその指示を受けること。							
		(1) 引渡しを要するもの ※ 無 ・ 有 () (2) 特別管理産業廃棄物 ※ 無 ・ 有 (・ PCB使用機器 ・ 電池電解液) 関係法令等により適切に処理する。 また、特殊な建設副産物であるPFAS含有物(SF6)ガス、イオン化センサーなどに放射物質を含むものは、関係方々より適切に処理する。							
		(3) 上記(1)～(2)以外の発生生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものと、処理方法は監督職員と協議する。 再利用・減量化を含めた発生生材の処理方法は別添。							
		(4) 産業廃棄物については、本業で発生する建設副産物のうち、最終利用の最終処分場（中間処理施設の本工事を含む）に搬入される産業廃棄物については、発生源企業産業廃棄物が課税されるもので適切に処理すること。							
項	⑪ 建設発生土の処理	建設副産物発生処理指導基準に従い処理する。 構外搬出距離 kmを超え km以内（D/D区 ・ 有 ・ 無） （この区分費用のみ決定する。）							
		○ 構内 ・ 構外 指示の場所に（ ・ 搬出 ・ 敷出し 〇埋め）する ため別途報告 ・ 住所 (km)							
訂正	月 日								

[illegible]

電 灯 設 備	① 電 気 方 式	幹線 単相 3 線式 200V/100V 50Hz 分岐 単相 2 線式 100V ※ 単相 2 線式 200V	・ 公共施設用照明器具 ・ 市販品 ・ 別図による ※ JIS、JIL適合	一般照明の照度決定は、明るさをセンサが設置される部屋がセンサ1個につき1ヶ所以上（明るさをセンサの設定倍値）設置されない部屋は1ヶ所以上の設定を行う。
	② LED 照明器具		・ 公共施設用照明器具 ・ 市販品 ・ 別図による ※ JIS、JIL適合	
	③ 照度測定試験			
	④ 非常用照明器具		※ 電池内蔵型 ・ 電源別型 ※ 飛び出し型 ・ 外部固定型 ※ 組合型 ・ アルミ製	
	⑤ ハイテンション アウトレット			
動 力 設 備	① 電 気 方 式	幹線 三相3線式 200V 50Hz 分岐 三相3線式 200V	※ 警報機（警報装置） ※ 内蔵 ・ 別置 ※ 遠隔送受信型警報機	増設部分電圧からの立上り予配管は、予備の配線用遮断器4倍以下の場合（25）を1本、5倍以上の場合（25）を2本、天井まで立てる。
	② 警 報 機			
	③ 電圧降下抑制装置 （電力操作用）			
	④ 機器への接続			
	⑤ 電動機等の接地			
電 動 設 備	① 電 気 方 式	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相線 2線式 200V	・ 家庭用・一般用 約 ㎡ ・ トイレ（電気暖房機） 約 ㎡	
	② 施工場所及び量積			
	③ 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	④ 配 電 盤			
	⑤ 主 送 断 装 置			
受 電 電 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			
	③ 主 送 断 装 置			
	④ 設 備 容 量			
	⑤ 遮断用コンデンサ			
電 力 貯 蔵 設 備	① 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 三相3線式 100V/200V		
	② 配 電 盤			

[illegible]



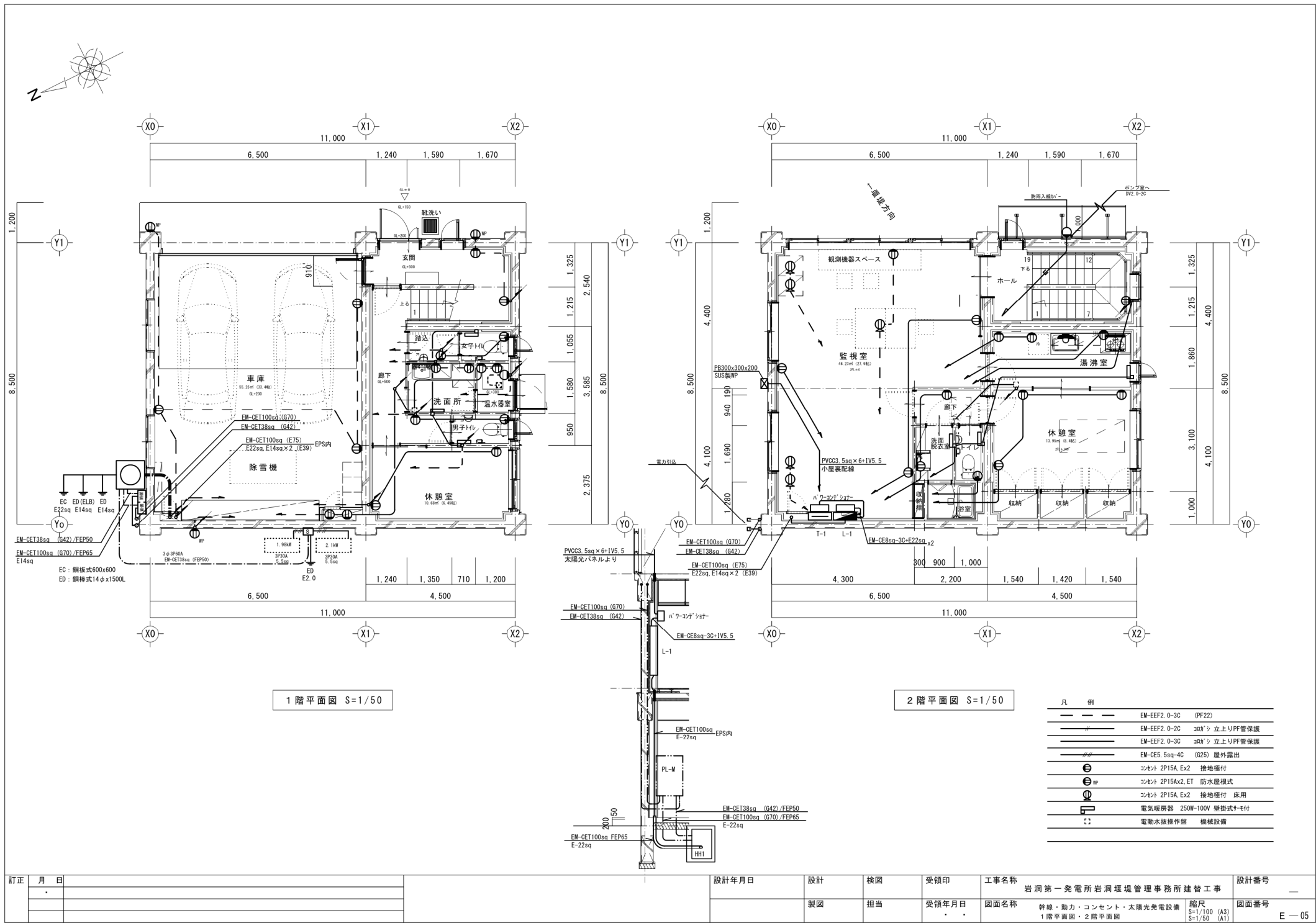
記号	配管 配線
㊶	EM-CET100sqx2 FEP100 EM-CET60sqx2 FEP100 EM-CEES2sq-6Cx2 FEP50 EM-CE5.5sqx2 FEP50
㊷	EM-CET60sqx1 FEP50
㊸	ヨビ管 FEP50
㊹	EM-CE5.5sq-2Cx2 FEP50
㊺	EM-CE5.5sq-2Cx1 FEP30

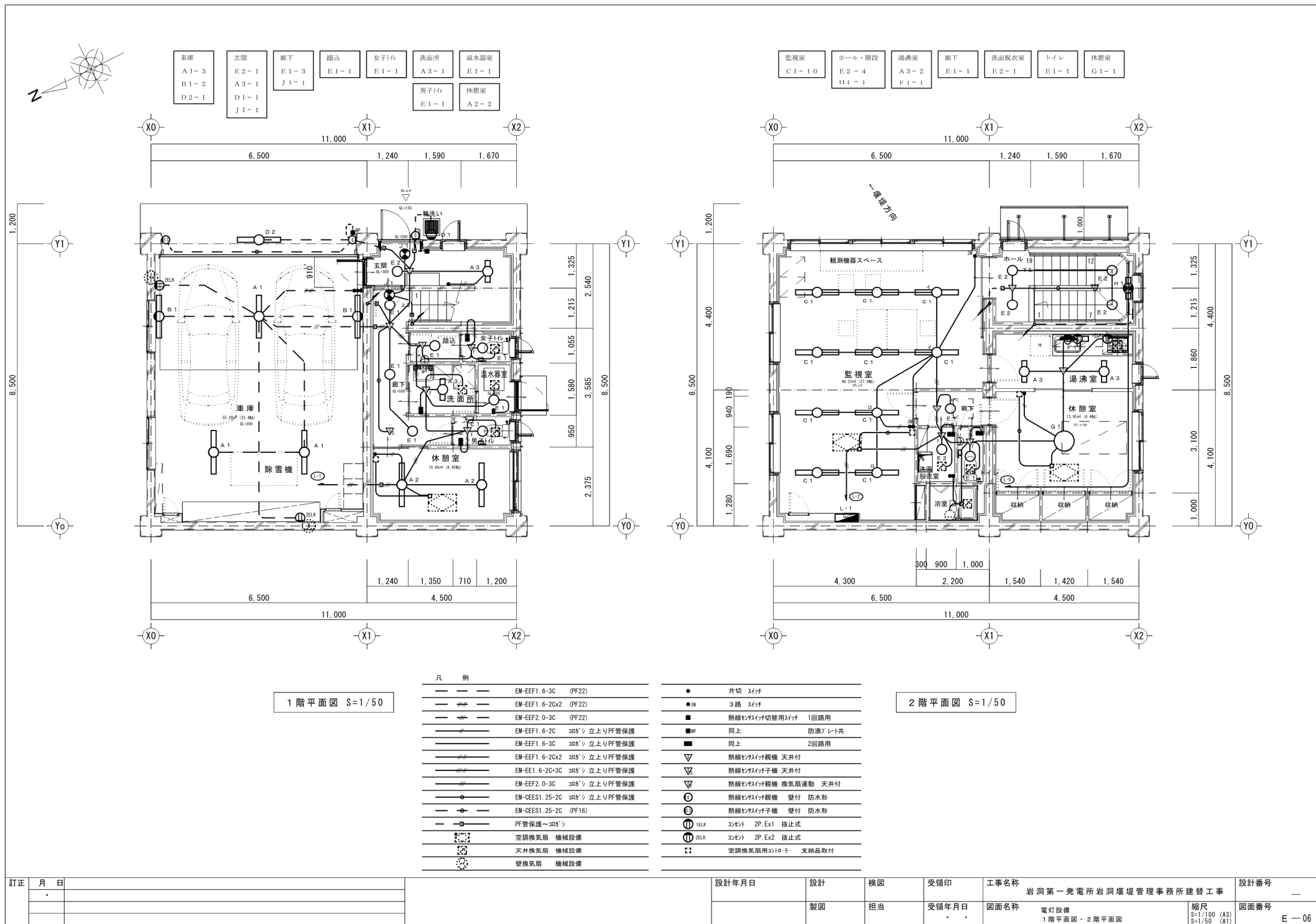
——	ケーブル埋設標識シート
——	ケーブル埋設標識シート
●	ケーブル埋設標識紙
■	ケーブル埋設標識杭

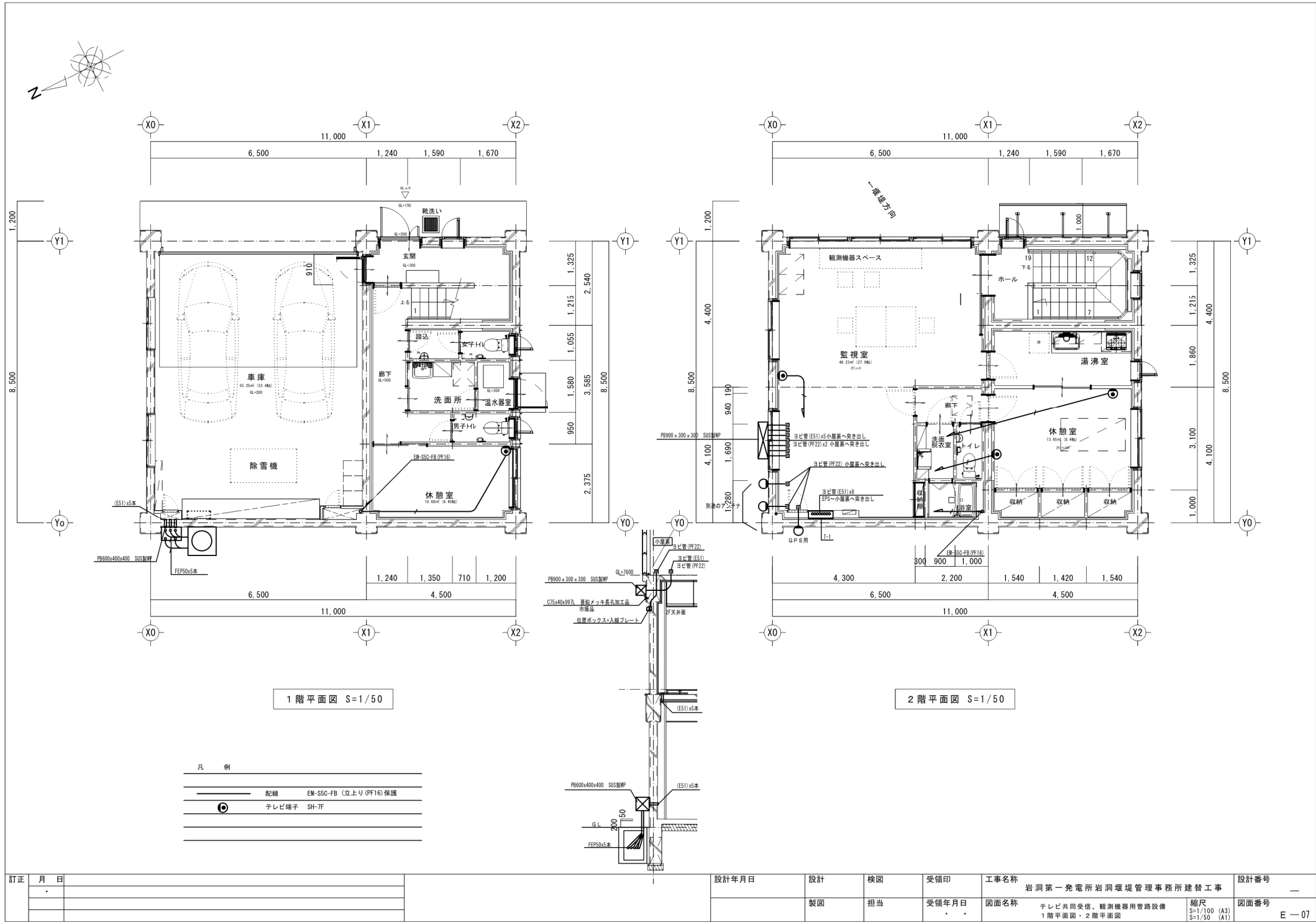
訂正	月	日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
						製図	担当	受領年月日 .	図面名称 案内図、配置図	縮尺 S=1/400 (A3) S=1/200 (A1) 図面番号 E—02

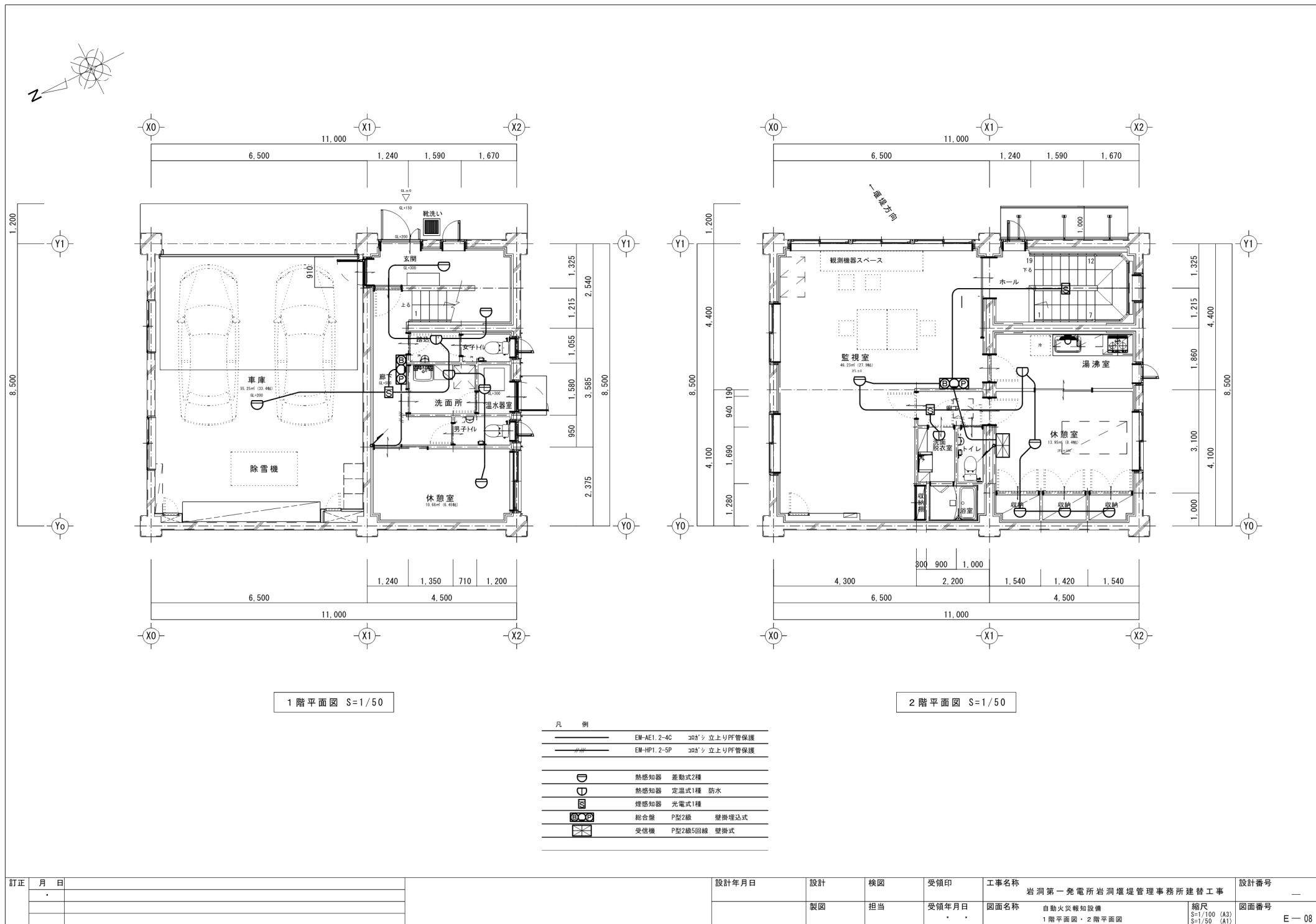
盤 名 称	結 線	回 路 番 号	電 圧 (V)	分岐種別・極数・トリップ容量 (100A以下は、協約形ブレーカとする)					負 荷 容 量 (VA)	負 荷 名 称	備 考	盤 名 称	機 器 類		
				M C B	E L C B	遮断器									
						協約形 2 P A T	2 P A T	3 P A T							
Ｌー１ 屋内・壁掛 架台200H付 2階 E P S AC 1φ3W 100/200V EM-CET100sq		L-0	100	○		20A				18	誘導灯		Ｔー１ 端子盤 2階 E P S 600x1200x2200	コンセント	E付2 P 15 A x 2ヶロ 機器用
		L-1	100		○	20A				698	1階一般照明	E付2 P 15 A x 2ヶロ 予備			
		L-2	100		○	20A				894	2階一般照明				
		L-3	100		○	20A				198	外灯				
		C1-1	100		○	20A				1100	洗浄便座他	UHF 35 d b x 1			
		C1-2	100		○	20A				200	一般コンセント	4分配器 x 1			
		C1-3	200		○	30A				4400	電気温水器	ルーター x 1 (スペース)			
		C1-4	100		○	20A				1100	洗浄便座他	2 O P (スペース) 保安器 5 P (スペース)			
		C1-5	100		○	20A				750	電気暖房機				
		C1-6	100		○	20A				200	一般コンセント				
		C1-7	100		○	20A				400	一般コンセント				
		C1-8	100		○	20A				100	浄化槽ブロワ				
		C1-9	100		○	20A				400	配管凍結防止ヒーター				
		C1-10	100		○	20A				400	給水ポンプユニット				
		C2-1	100		○	20A				200	一般コンセント				
		C2-2	200		○	30A				5800	1 Hコンロ				
		C2-3	100		○	20A				300	一般コンセント				
		C2-4	100		○	20A				750	電気暖房機				
		C2-5	100		○	20A				1000	洗浄便座				
		C2-6	100		○	20A				300	一般コンセント				
		C2-7	100		○	20A				200	一般コンセント				
		C2-8	100		○	20A				200	一般コンセント				
		C2-9	100		○	20A				400	観測機器用コンセント				
		C2-10	100		○	20A				400	観測機器用コンセント				
		C2-11	100		○	20A				200	観測機器用コンセント				
		C2-12	100		○	20A				400	観測機器用コンセント				
		C2-13	100		○	20A				200	Tー１				
		C2-14	100		○	20A				500	観測機器用ヨビ回路				
		C2-15	100		○	20A				500	観測機器用ヨビ回路				
		C2-16	100		○	20A				500	観測機器用ヨビ回路				
		C2-17	100		○	20A					ヨビ				
		C2-18	100		○	20A					ヨビ				
		C2-18	100		○	20A					ヨビ				
		C2-18	100		○	20A					ヨビ				

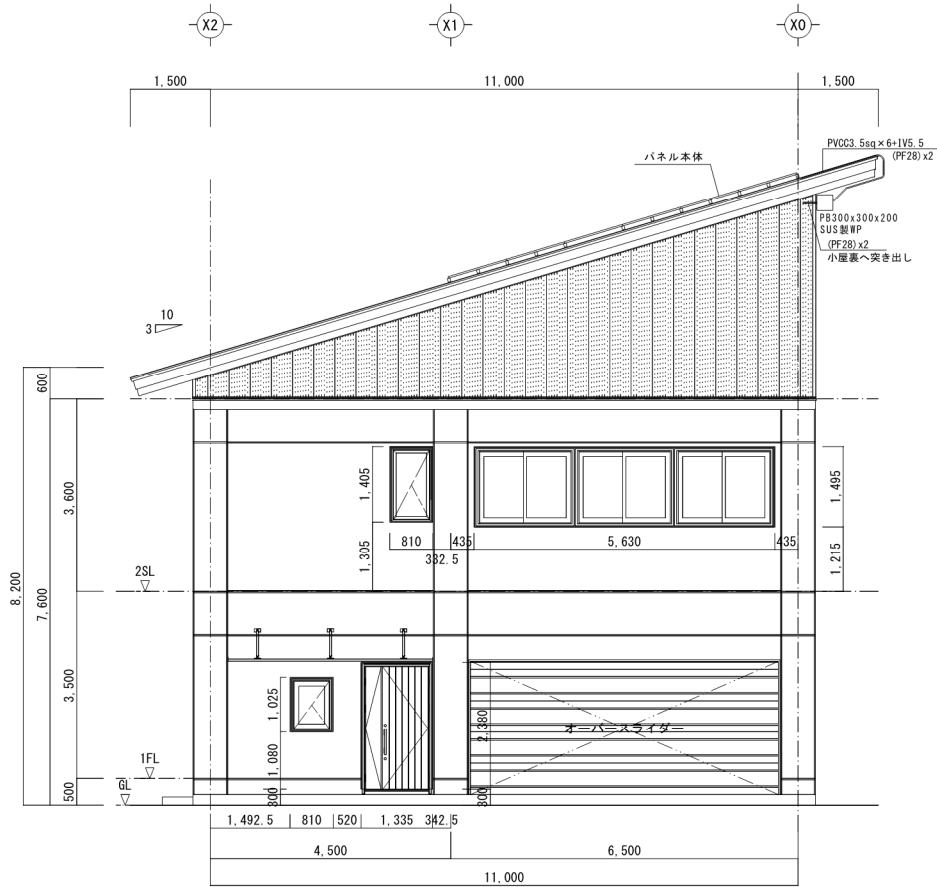
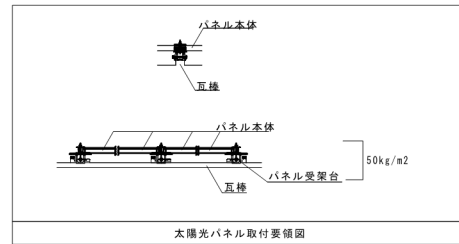
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —	
	.									
					製図	担当	受領年月日 .	図面名称 電灯盤・端子盤結線図	縮尺 S=No (A3) S=No (A1)	図面番号 E — 03



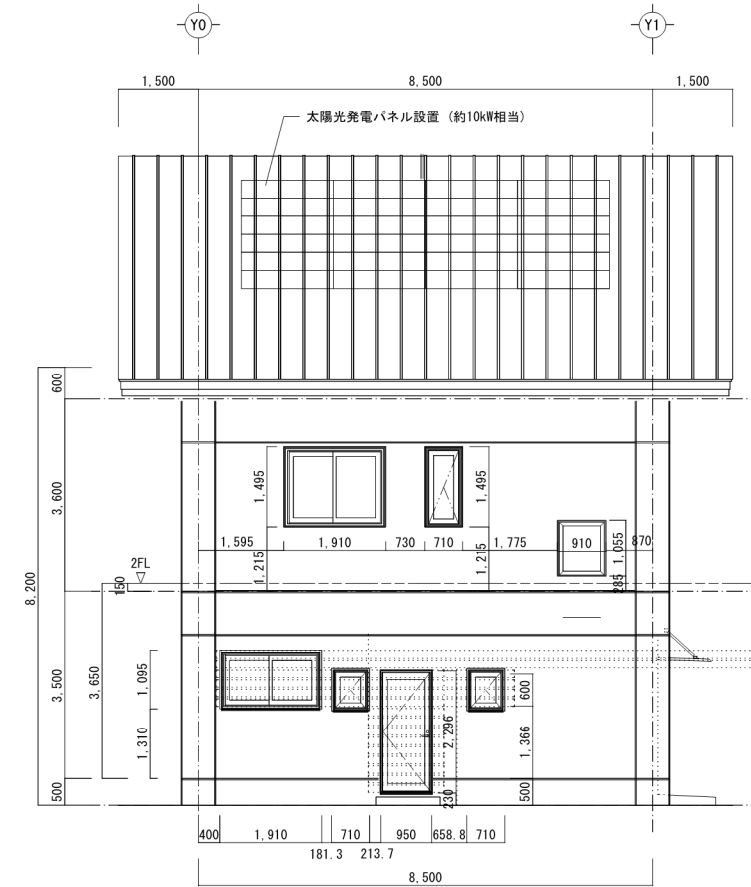






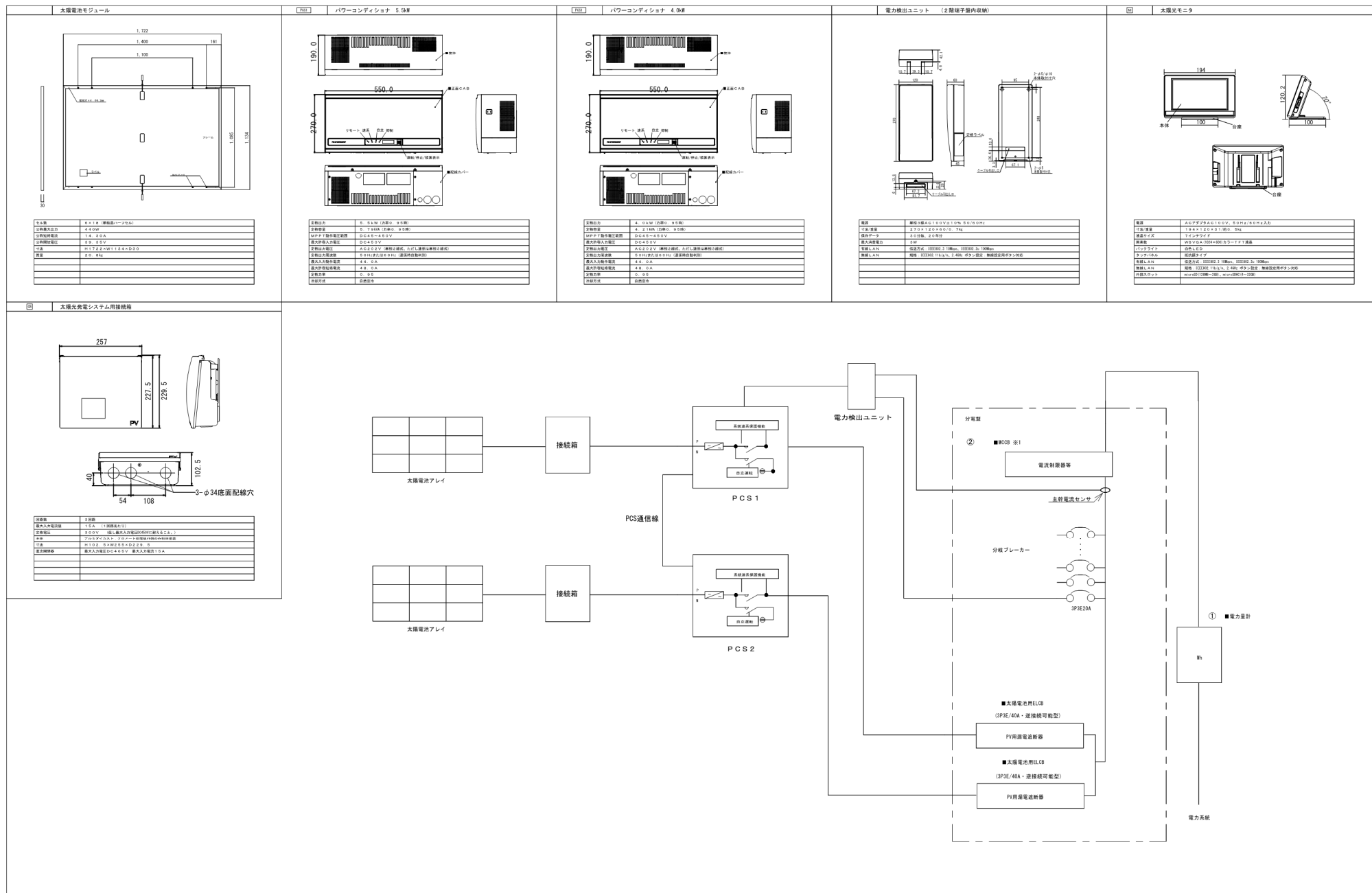


東立面図 S=1/50

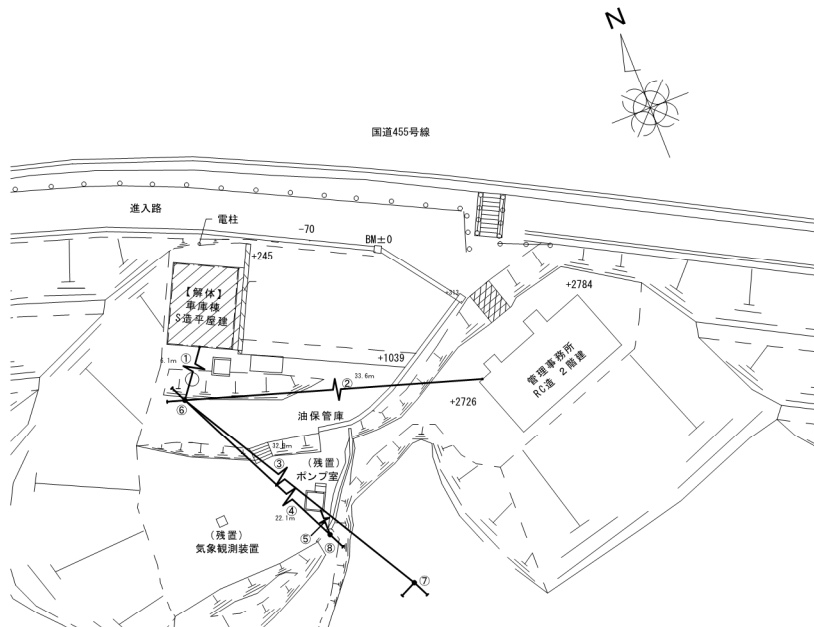


南立面図 S=1/50

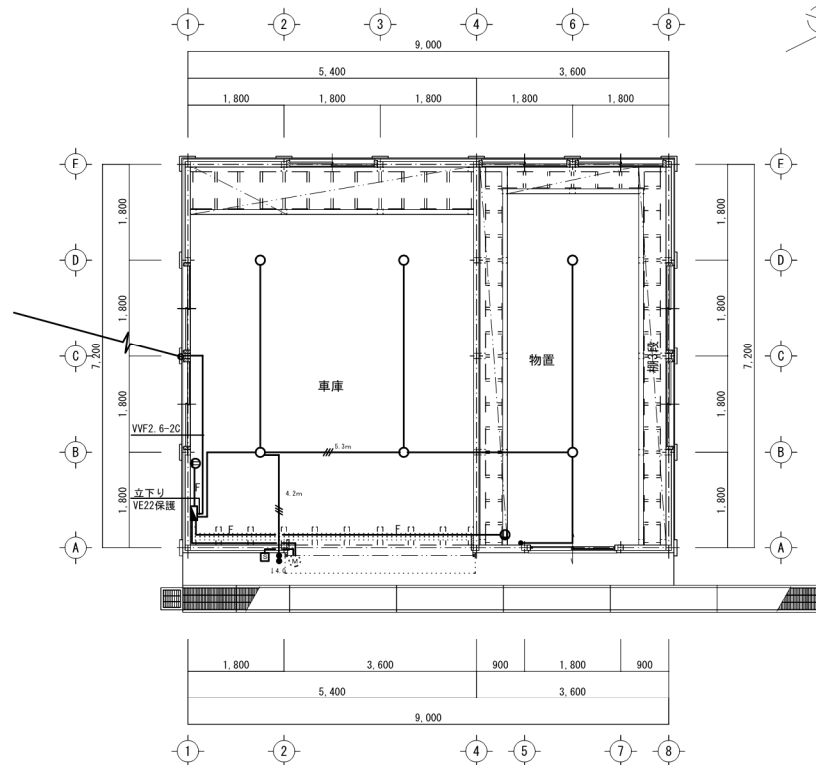
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								太陽光パネル設置位置図・取付要領図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									E — 09



訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							太陽光発電設備 システム系統図・機器参考図	E—10



配置図 S=1/300



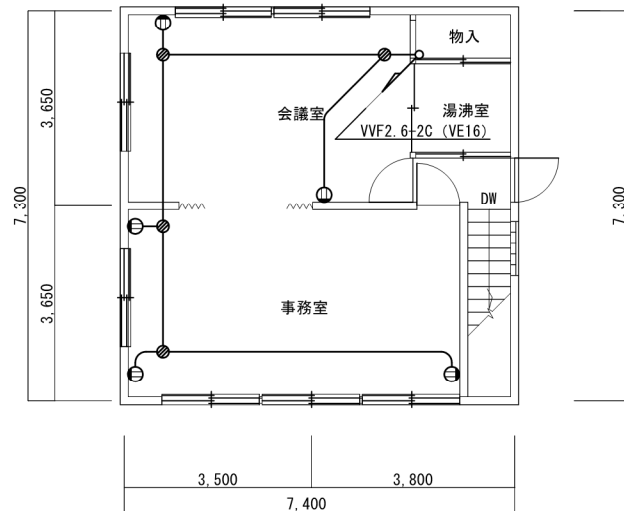
車庫棟平面図 S=1/50

記号	名称	規格等	備 考
①	電線	DV2. 0-2C	
②	電線	DV3. 2-2C	
③	電線	OW3. 2×2	
④	電線	OW2. 0×2	
⑤	電線	DV2. 0-2C	残置・再利用
⑥	パナソニック	R26型 全長8.9m	鋼金900Lx2 支線x2 共
⑦	パナソニック	R27型 全長10.5m	鋼金900Lx1 支線x1 共
⑧	パナソニック	R24型 全長5.5m	鋼金900Lx1 支線x1 共 残置・再利用

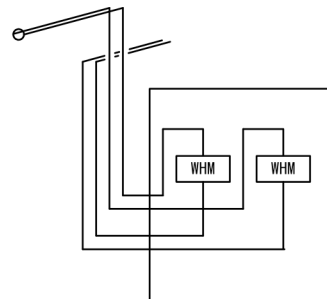
凡 例	
—	IV1. 6x2 (19) 露出
—	IV1. 6x3 (19) 露出
F	VVF1. 6x2C 露出
●	丸形露出ボックス
●	スリット 1Px1 露出ボックス共
●	スリット 1Px2 露出ボックス共
■	金属製閉鎖器箱
●	コンセント 2Px2 角型露出

分電盤結線図	木板に取付	照明器具姿図	ランプ電球形 LED60型

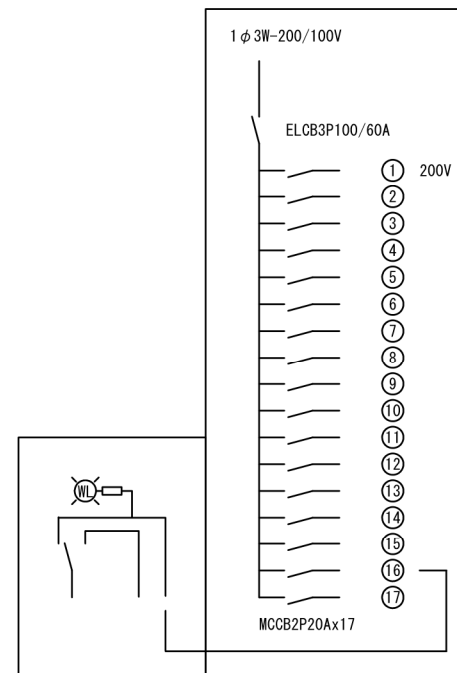
訂正	月 日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
			製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						撤去 配置図、車庫 電灯設備 平面図	縮尺 S=1/100・300 (A1) S=1/200・600 (A3)



2階平面図 1/100

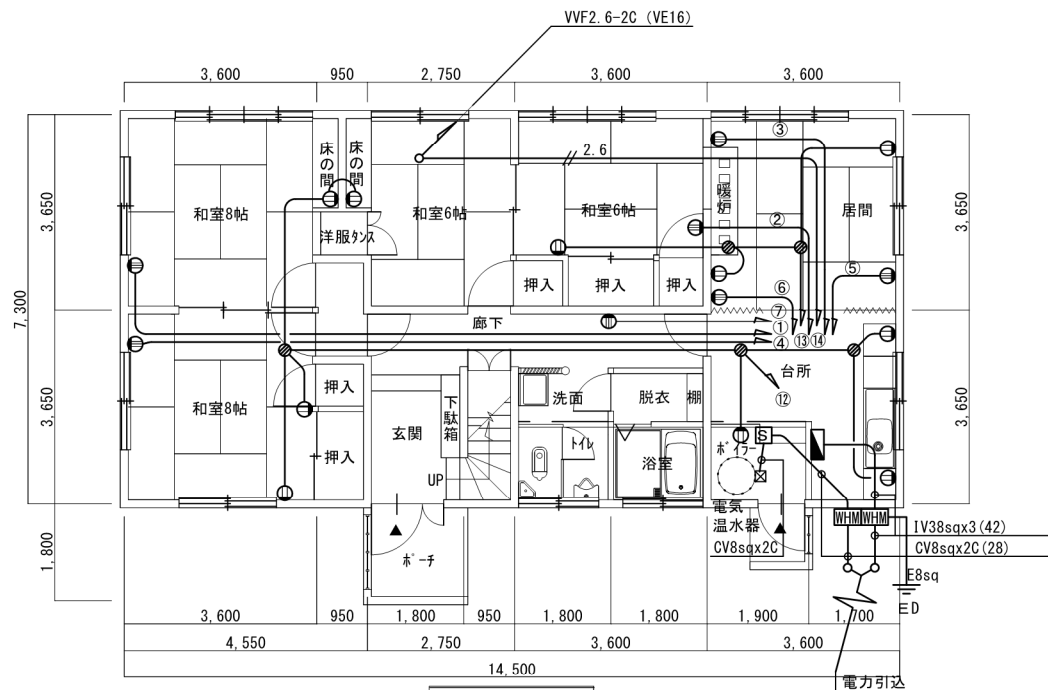


計器収納箱
参考寸法600x900x220D



電源切替盤
参考寸法450x450x220D

電灯分電盤
参考寸法600x1200x220D



平面図 1/100

凡 例			
	配線	VVF2. 6-2C	立上り露出部VE16保護
	配線	VVF2. 0-2C	立上り露出部VE16保護
	コンセント	2P15/20A 200V	露出VEホックス共
	コンセント	2P20A 100V	露出VEホックス共
	開閉器	2P30A 200V	ブラホックス共
	ジョイントホックス	VVFケーブル用	

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	管理事務所棟 撤去 幹線・コンセント設備	E-12
							縮尺	
							S=1/100	

[illegible][illegible]

要 項	目	特 記 事 項
①	適用規格等	①工事写真撮影ガイブック(平成4年度(平成30年度)国土交通省大蔵省写真撮影要綱) ②建設工事写真要領(令和4年度)国土交通省大蔵省写真撮影要綱 ③本工事に適用し、競争による発注物件等の調達の選定に関する方針(平成31年度)に基づき「建設物件等の発注方針」の考え方(令和4年度)が適用される。競争による発注物件の利権確保は、本建設物件には適用されない。
②	関係への配慮	
③	技術者	①管理技術士 ②熟練技術士 ③労働技術士 ④建設工事監理技術士 ⑤建設工事技術士 ⑥建設工事主任技術士 本工事に使用する職種及び人材は前述とし、設計内容に定める品質及び価格の確保のため、関係業者は、関係品目として、設計内容に定める品質及び価格の確保に努める。
④	機 材	

16.

はつり

17.

工事と
取合い

18.

手 続 き
予備品等

19.

配管の建物内取
入の取付位置
取付位置の保
持及び確認要
求

20.

地中配設機
地中配設表示用
テープ

21.

接続機器
工事のサイズ
試験

22.

保 護

23.

完成時提出書類

24.

工事実績情報
の登録
施工ルート
その他

25.

温 度
調整目標値

26.

ばい煙濃度計
ばいじん量
測定

27.

燃 費
燃 費

28.

ダ ク ト

29.

風量測定口
防炎ダクト

30.

防火ダンパー

31.

配管材料

32.

井 戸
掘削機
伸縮管
使用
延長計

①既存のコンクリート部の既、梁の配筋位置等との穴明けは、原則としてデザインモールドカッターによる。

②穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属屑により電源供給が停止できる断線装置を用いて施工する。

①継手については、特に電気設備工事と準組合せを行う。 ※ 本工事 ※ 別途

②継手部分の割削及び継手養生での二次的電気工事は全て ※ 本工事 ※ 別途

③継手部分の割削及び継手養生での二次的電気工事は全て ※ 本工事 ※ 別途

④全てのスリーブ及び埋入孔は ※ 本工事 ※ 別途

※ スリーブと取入れの寸法は標準仕様

⑤天井、壁の水下処理(経年経耗も含む)の現場点検及び関係調整は ※ 本工事 ※ 別途

官公署への勝手手続き等は適宜なく監督員と協議のうえ、該業者が代行処理する。

①一式(通信一式も含む)及び赤漆印は予備品として、20%納入する。
(加納にも適用)

建築物内取入の取付位置は標準図(図工4及び5)による。

①管用部品の保護 ○山砂 ※真鍮美生土

②地中配設機

③地中配設表示用テープ

④ガス配地中配設機(※薬・不薬) 埋設表示用テープ(※薬・不薬)

⑤ガス地中配設機(※薬・不薬) 埋設表示用テープ(※薬・不薬)

⑥水圧中配設機(※薬・不薬) 埋設表示用テープ(※薬・不薬)

標準仕様による。

特に明記のない工事のサイズは、接続配管サイズに同じ。

清浄の熱気のある水道管、冷温水等の一部の施工時空否試験については、水压試験を空気に代換したうえで実施する。合格後改めて水压試験を実施すること。

本工事の熱気のある、低温期間中工事目的物及び工事実行に対して、下記より組立保護に加入し、その保護状態の写りを監督員に提示する。

加工時間及び保証率

加工時間前記入完成後30日以内

積全金額の100%

電子データより提出の対象とする書類には、電子物品特定番号及びこれに係る協約によるものとする。

①提出書類

「電子データ」 ※ 読込み専用データ

②提出書類

以下の表によるが、「電子納品対象とするものはこの限りではない。」

書類名	電子仕様書	図説	備考
①完成図書	※ 竣工大目録 ※ 市販ファイル	A 4判	2作成図(確定設計図)、施工図、納入仕様書、検査取扱説明書、試験結果書、出荷証明書、産案書、管理台帳等諸資料、産業実務者理解促進書(若狭労務会、許可証、マニュアル等)の写し、照像・写真・録音光一覽表等を一括バッキング一部本と同等。なお、一部厚さは10mm程度とする。
②完成図	○二つ折り製本	○ A 4判	2 A1 縦二つ折り
③修正設計図	○市販ファイル	○ A 2判	2 A2 横
④施工図	○二つ折り製本	○ A 4判	2 A1 縦二つ折り
⑤竣工写真	○市販ファイル	○ A 2判	2 A3 横二つ折り
⑥工事写真	○市販ファイル	○ A 4判	1 建築工事写真集管理表(国土交通大臣大臣認定)等(※別添)による。
⑦保守管理書	○市販ファイル	○ A 4判	2 安全管理管理表(使用者が管理に際して使用するもの)
⑧工事関係書類	○市販ファイル	○ A 4判	1 施工体制書、体系図、材料検査(監督員または補助監督員が署名したもの)等
⑨電子納品	○ CD-R	2	2 相手先電子納品ガイドラインによる。

※ 適用する。

本工事は建設物を活用しながらの工事であること。

①電気設備工事及び電気工事等は、令和元年年度以降のものとする。

②本工事完成1年後に事後検査を行うこと。

外 気	室 内 (目 標 値)						備 考
	湿度	湿度	湿度	湿度	湿度	湿度	
夏季 -6℃	20%	19℃	-%	℃	%	℃	%
冬季 12℃	55%	℃	%	℃	%	℃	%

(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)

※ 取得する (測定口80 フランジ型) ※ 取得しない

※ 取得する (測定口80 フランジ型) ※ 取得しない

※ 別途 ※ 工事(断熱厚 mm、高さ m)による

※ 9100以下は消費電力3.2m、9100を超えれば別の消費電力5mとする。

※ 測定による(4100以上の場合は、燃費計に設置される) ※ 燃費、スライダ

※ 低減 ※ スパルラダクト

取得場所とは異なる。取得可能は監督員の指示による。

取得方式 ※ 簡易式(電動式(定格入力DC24V 0.5A以下)) ※ 磁石式

FVとは、防火ダンパーは風量調節機能のみ込んだもので、調湿機能は段階的調節機構とした。

①冷水水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ※ 圧力配管用炭素鋼管

※ 配管用ステンレス鋼管

②冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ※ 圧力配管用炭素鋼管

※ 塩化ビニレン鋼管 ※ 塩化ビニレン樹脂管

③空気管 ※ ステンレス鋼管

※ 配管用炭素鋼管(黒) ※ 圧力配管用炭素鋼管

※ 配管用炭素鋼管(黒) ※ 圧力配管用炭素鋼管

④排水管 ※ 配管用炭素鋼管(黒) ※ 圧力配管用炭素鋼管

※ 配管用ステンレス鋼管

⑤給湯管、油用送気管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ※ 圧力配管用炭素鋼管

※ 配管用ステンレス鋼管 ※ 配管用炭素鋼管(黒) ※ 圧力配管用炭素鋼管

⑥空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ※ 圧力配管用炭素鋼管(VP)

⑦冷暖房 ※ ペーパーコート ※ リーズコート

※ 銅製暖房管 ※ リーズコート

※ ペーパーコート ※ リーズコート

JISまたはJY ○ 5K ○ 10K

※ 掘削機は、ダクト用は丸形。

①空気乾燥機、温度風速計等の給電ダクト、電気ダクト及び外気ダクト

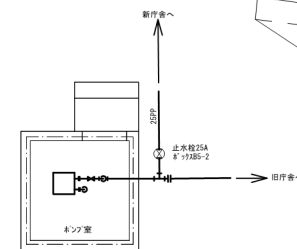
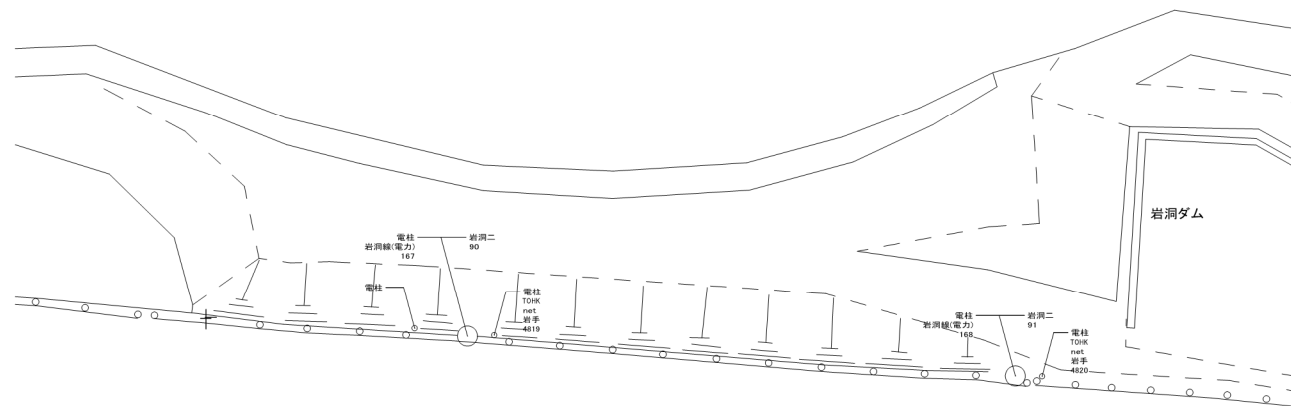
②冷水ヘッダー(型式)及び冷水ホウターからの各取付

③ハ バックリ形状空気乾燥機の冷水出入口

	設計年月日	設計	検図	受領印
		製図	担当	受領年月日

調査業務	1. 石綿の事前調査 本工事着手にあたっては、大気汚染防止法および石綿障害予防規則による、石綿の調査を行い、調査終了後、遅滞なく監督官へ報告すると共に、電子システムで報告を
------	---

訂正	月	日			設計年月日	設計	校図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	.									
					製図	担当	受領年月日 .	図面名称 機械設備工事 特記仕様書	縮尺 S=No	図面番号 M—01

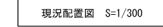


ポンプ室平面図 S=1/50

訂正	月	日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	.									
						製図	担当	受領年月日 .	図面名称 案内図、配置図 ポンプ室平面図	縮尺 S=1/400 (A3) S=1/200 (A1) 図面番号 M—02

名 称

洋風便器	CS597BCS 密結タンク式 掃除口付 TCF5871AC 自動開閉洗浄便座、据置装置付 YH651 二連紙巻器 その他付属品	1	1		1			3
手洗器	L723 ベッセル式 自動水栓 カウンター（ブレン）150W×600L ブラケット×2		1	1	1			3
混合水栓	洗濯機用 緊急止水付 TW21R			1				1
機水栓	T200SNR13C							2
給気弁	15A		1		1	1	1	5
水抜弁	BH-S20Ax0.8m				3	1		4
湯抜弁	WD-S20Ax0.8m				1			1
電動水抜操作部	水抜1回路用 電動駆動部1個共						1	1
電動水抜操作部	水抜1回路、湯水連動1回路用 電動駆動部3個共			1				1
不凍水栓柱	DA20x13x1.5m アルミ外装角型							
電気温水器	容量370L、先止め式 最高使用圧力0.1MPa 1φ200V4.4kW BAV20、自動空気抜弁			1				1
浸透機	300HP 鋼製蓋 300HP 鋼製蓋 砂利0.5m3							2
キッチン流し台	本体、水栓金具共 建築工事						1	1
洗面化粧台	本体、水栓金具共 建築工事			1		1		2
ユニットバス	本体、水栓金具共 建築工事						1	1

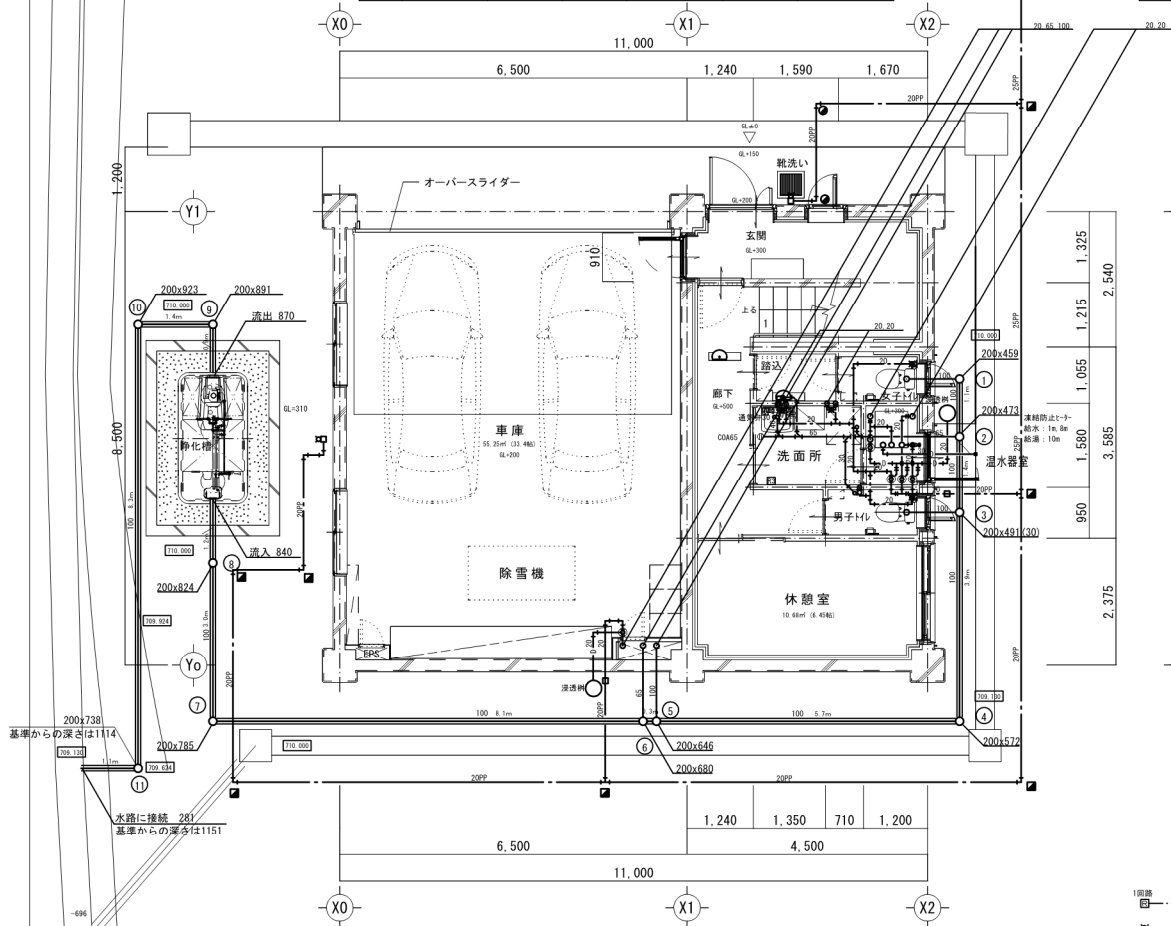


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称			設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事			—	
					製図	担当	受領年月日	図面名称		図面番号	
							.	給排水衛生設備 排水管路縦断面図		衛生器具表 現況配置図	
								縮尺		M—03	
								S=1/200, 600 (A3) S=1/100, 300 (A1)			

番号	排水器具	器具トラフ	形状	規格	防護蓋等	備考
1	1階トイレ	有	4SL左	100-200	無	
2	1階洗面系統	全て有	90Y左	100x75-200	無	
3	1階トイレ	有	45YS左	100-200	無	段差付
4	屈曲点	—	90L	100-200	無	
5	2階トイレ	有	45YS左	100-200	無	段差付
6	2階洗面系統	全て有	90Y左	100x75-200	無	

番号	排水器具	器具トラフ	形状	規格	防護蓋等	備考
7	屈曲点	—	90L左	100-200	無	
8	中間点	—	ST	100-200	無	
	浄化槽	—	—	—	—	
9	屈曲点	—	90L右	100-200	無	
10	屈曲点	—	90L右	100-200	無	
11	屈曲点	—	90L左	100-200	無	側溝に放流

1. 汚水管はVU100φとする
 2. 配管勾配は起点側から浄化槽までは1.3%とする。
 3. 浄化槽から放流先までの勾配は2.3%とする。
 4. 内の数値は排水設備に於ける標高とする。



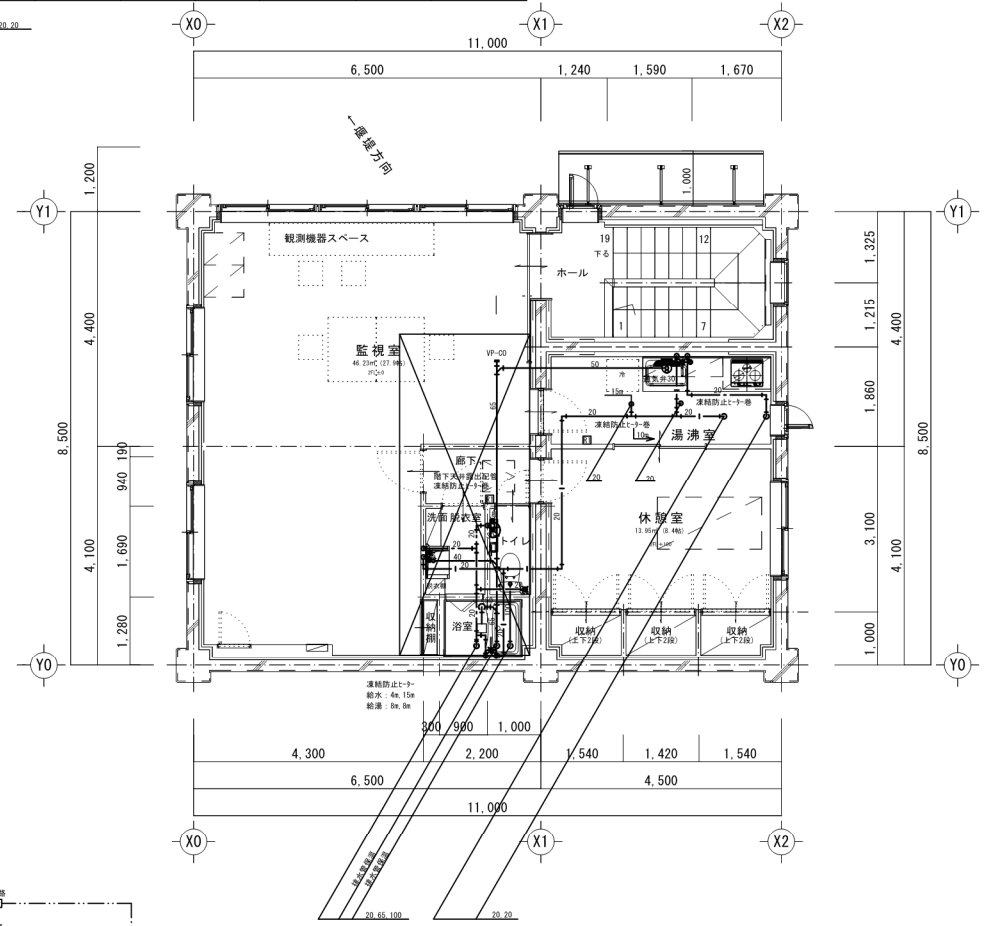
1階平面図 S=1/50

■ 地中埋設標 (コンクリート製)

● 地中埋設標 (金属製)

電動水抜配線施工要領

給水・給湯系統図



2階平面図 S=1/50

- 注記1. 給水、排水その他の配管設備のつては、建築基準施工令129条の2の4による。
 注記2. 電気温水器は、国土交通省告示第1447号に適應した固定を行う。

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							給排水衛生設備 1階平面図・2階平面図 系統図	M-04
							縮尺 S=1/100 (A3) S=1/50 (A1)	

主 要 機 器 表

(機器表に記載なきものは別紙図面書き込みによるものとする)

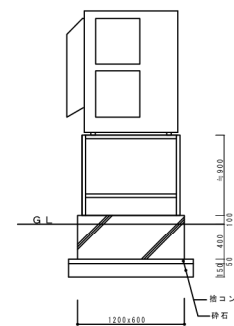
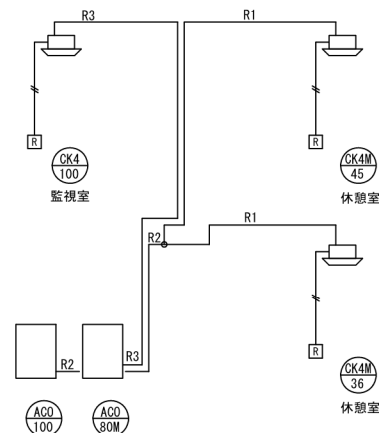
適用事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 形式・種別等で○、※印のある場合の適用は下記による。
○印の無い場合は、※印を適用する。
○印のある場合は、◎印を適用し、※印は適用しない。
○印と◎印のある場合は共に適用する。

パッケージ 空気調和機	記 号	機 器 名	系 統	形 式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	圧縮機位置	圧 縮 機			屋 外 送 風 機			燃料消費量 Nm / h	冷媒	台数	架 台	塩 害 仕 様	基 礎	備 考
	ACO-80M	パ ッ ケ ー ジ 形 空 気 調 和 機 エ ア コ ン (屋 外 機)		・冷房形 ○冷暖兼用形	○電気・GHP	8. 0	9. 0	※屋外・室内	相	V	kW	相	V	kW	R410	1	○坪架台900H・防雪屋根	・耐塩害 ・耐塩塩害	○本工事 ・別途	
	ACO-100			・冷房形 ○冷暖兼用形	○電気・GHP	10. 0	11. 2	※屋外・室内	三	200	1.98	三	200	0.06x2						

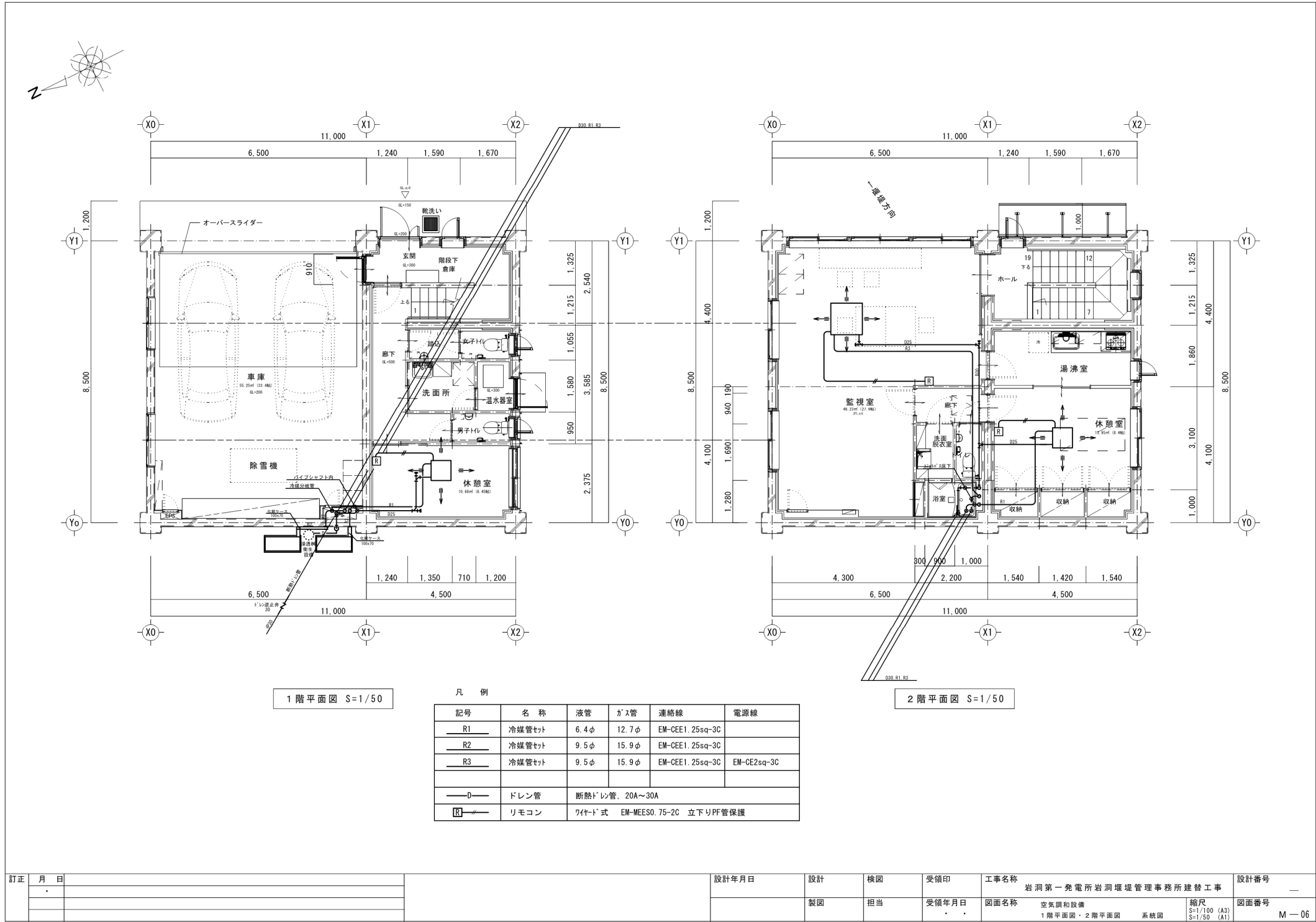
凡 例

記号	名 称	液管	ガス管	連絡線	電源線
R1	冷媒管セット	6.4φ	12.7φ	EM-CEE1.25sq-3C	
R2	冷媒管セット	9.5φ	15.9φ	EM-CEE1.25sq-3C	
R3	冷媒管セット	9.5φ	15.9φ	EM-CEE1.25sq-3C	EM-CE2sq-3C
D	ドレン管	断熱ドレン管、20A~30A			
R	リモコン	ワイヤード式	EM-MEES0.75-2C	立下りPF管保護	



屋外機基礎施工要領

訂正	月 日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
			製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						空気調和設備 機器表・系統図	M-05



主 要 機 器 表

適用事項

1. 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2. 形式・種別等で◎、※印のある場合の適用は下記による。
◎印の無い場合は、※印を適用する。
○印のある場合は、◎印を適用し、※印は適用しない。
◎印と◎印のある場合は共に適用する。

(機器表に記載なきものは別紙図面書き込みによるものとする)

全熱交換器

記号	機器名	系統	形 式	風 量 m^3/h		機外静圧 Pa		初期抵抗 Pa	温 度 交換効率	電 動 機		台数	備 考		
				給 気	排 気	給 気	排 気			単 相	100 V			140 W	
HEC-300	全 熱 交 換 器		・回転形・静止形 ○ユニット形 ○カセット形 ・天井埋べい形 ・床置形 ・換気扇形	300	300	105	105		65 %	単 相	100 V	140 W	1	LQH-N150K3 深型フード、スパイラルダクト共	
				24時間換気 微風風量運転時	100	100									マイコン式24時間運転スイッチ共
HEC-120			・回転形・静止形 ○ユニット形 ○カセット形 ・天井埋べい形 ・床置形 ・換気扇形	120	120	105	105		65 %	単 相	100 V	69 W	2	LQH-N150K3 深型フード、スパイラルダクト共	
				24時間換気 微風風量運転時	50	50									マイコン式24時間運転スイッチ共
備考	イ) ユニットの操作スイッチ及び運転表示灯は付属品とする。 ロ) 床置ユニット形はフィルターを付属する(製造者標準品)。 ハ) SUS製深型フード(ダクト径)を付属させる。 ニ) 予備フィルター(特共)として100%納入する。 ホ) ユニットの形は ◎標準形 ○マイコン形とする。														

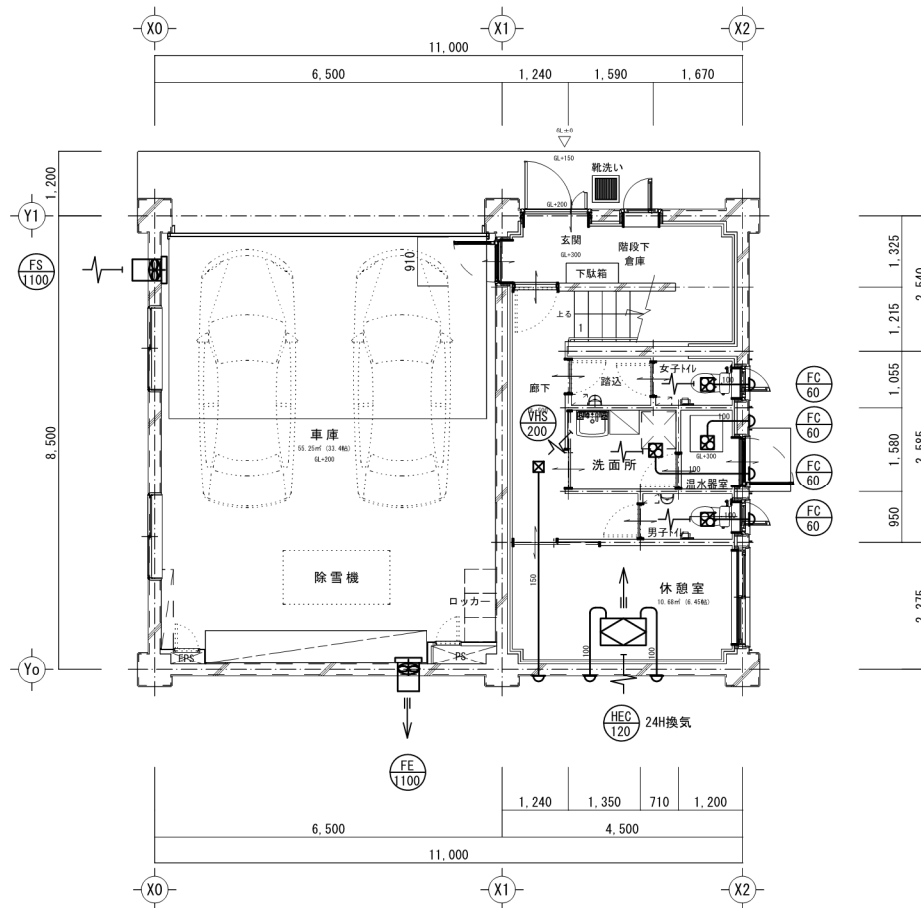
換気扇類

記号	機器名	形 式	種 別	羽 根 径 mm	風 量 m^3/h	静 圧 Pa	24時間換気風量 m^3/h	電 動 機		シャッター形式	台 数	備 考	
FC-60	換 気 扇	○普通形 ○圧力形 ●天井埋込形	●標準形 ○防湿形	100	60	80	—	単 相	100 V	13 W	●風圧形 ○電気式	6	VD-13ZC14 深型フード、スパイラルダクト共
FE-1100		○普通形 ●圧力形 ○天井埋込形	●標準形 ○防湿形	300	1100	50	—	単 相	100 V	50 W	○風圧形 ●電気式	1	ENF-30BSA2 SUS製ウェザーカバー、電動シャッター、防鳥網、バックガード共
FS-1100		○普通形 ●圧力形 ○天井埋込形	●標準形 ○防湿形	300	1100	50	—	単 相	100 V	50 W	○風圧形 ●電気式	1	ENF-30BSA2-Q SUS製ウェザーカバー、電動シャッター、防鳥網、バックガード共
FC-XX	換 気 扇	建 築 工 事									(1)	本体別途 深型フード、スパイラルダクト接続 本工事共	
RF-XX		建 築 工 事									(1)	本体別途 深型フード、スパイラルダクト接続 本工事共	
VHS 200	制 気 口	VHS 200×200	ボックス 300×300×300H		約250						2	深型フード、スパイラルダクト共	
VHS 300		VHS 300×300	ボックス 400×400×400H		約450						1	深型フード、スパイラルダクト共	
備考	イ) FC-○○には深型フードを付属させる。 ロ) 深型フードはSUS製とし、接続ダクト径とする。 ハ) 図中の「FD付」はFD付深型フードとする。												

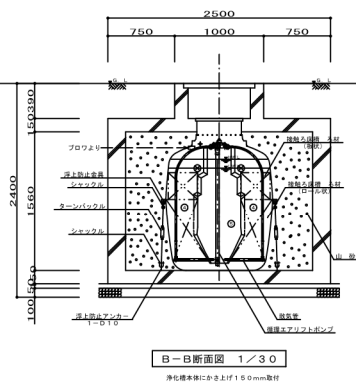
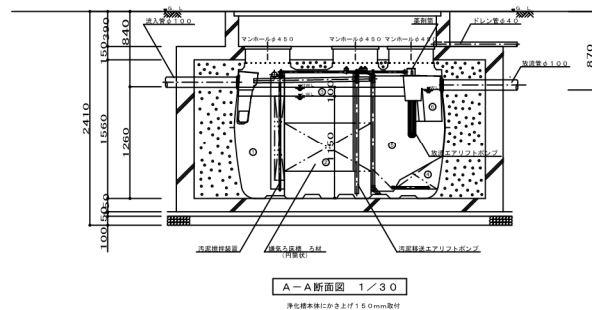
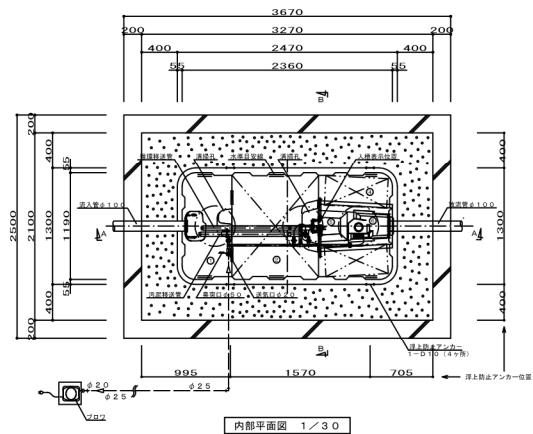
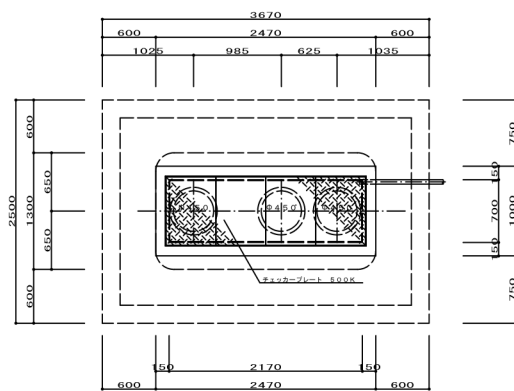
建築物換気法施行令第20条の4第1項第一号イによる計算

室名称	床面積 m^2	天井高さ m	気積 m^3	換気種別	給気機による給気量 m^3/h	排気機による排気量 m^3/h	換気回数 (24h) 回/h	判定	測定機種
1階									
休憩室	10.68	2.500	26.70	第1種	50	50	1.87	OK	HEC-120
2階									
休憩室	18.45	2.500	34.88	第1種	50	50	1.43	OK	HEC-120
監視室	46.23	2.500	115.58	第1種	100	100	0.87	OK	HEC-300

訂正	月 日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩 洞 第 一 発 電 所 岩 洞 堰 堤 管 理 事 務 所 建 替 工 事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							.	換気設備 機器表・換気計算書	縮尺 S=No (A3) S=No (A1)
									M-07



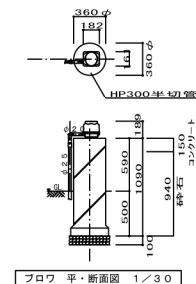
訂正	月	日		設計年月日	設計	校図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		設計番号 —
	.									
					製図	担当	受領年月日 .	図面名称 換気設備 1 階平面図・2 階平面図	縮尺 S=1/100 (A3) S=1/50 (A1)	図面番号 M — 08

[illegible]

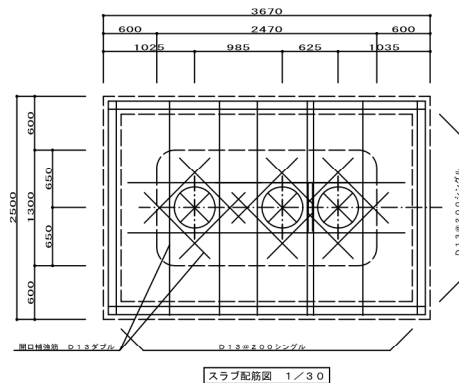
配管仕様	
露出配管（プロフ張り）	V P
土中配管	φ 40 以下 ~ V P ・ φ 50 以上 ~ V U
壁内配管	メーカー仕様

- 注 1) 表 1 及び 2 の単位は t/ha である。(上部層厚=積算 1m+路盤層厚+土=500 kg/㎡)
- 注 2) 側溝排水量は積算 1000 V/ha とする。
- 注 3) 図中の「G」は浄化槽排水量での土上引排水を示す。
- 注 4) 浄化槽から G の排水で排水道は 10 m 以内とする。
- 注 5) 流入水・流出水管理工事は別添とする。又排水工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 6) 臭気発生管理工事は別添とする。又騒音工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 7) プラフ引付にコンクリート 1 m を投否の可否。投付は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 8) 側所排水工、杭工事、地盤改良工事、ウェルポン排水工事は別添とする。
- 注 9) 製品全量は、製品総重量に+1.0、-2.0mm の公差があり得る。

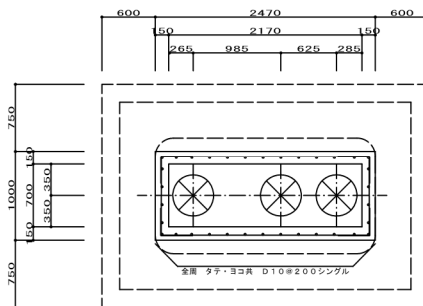
流入・流出管管は、製品規格が製品全長に十分 1.0mm の公差があります。



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	.				製図	担当	受領年月日 .	図面名称 浄化槽設備 仕様書、平面図、断面図	縮尺 S=1/60 (A3) S=1/60 (A1) 図面番号 M—09



スラブ配筋図 1/30

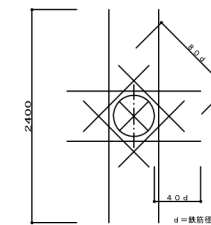


上部点検部配筋図 1/30

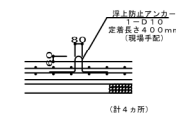
SDS2447A

一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鋼筋	SDS295A
鉄筋かぶり	スラブ・壁 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地盤	砕石又はRC 40~0

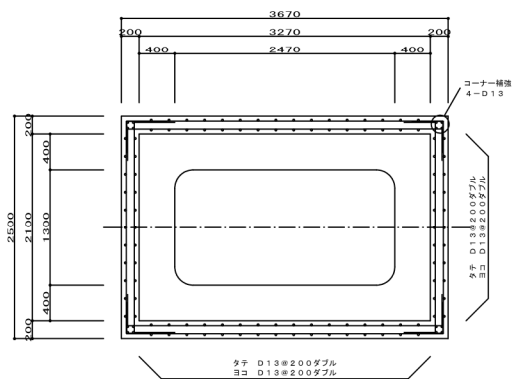
注1) 上部は1~2倍量とする。(上部荷重=積雪1m+除雪機械+人=500kg余)
 注2) 箇中の"0.1"は浄化槽設置での仕上げレベルを示す。
 注3) 地耐力は48kN/m²以上必要とする。
 (実際の工事業者が確認後施工の事)



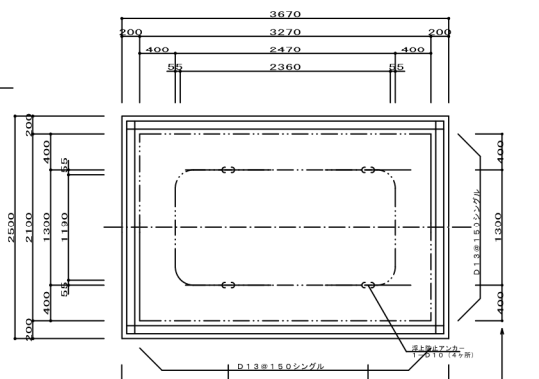
開口補強筋詳細図
(ダイヤモンド補強: D13シングル)



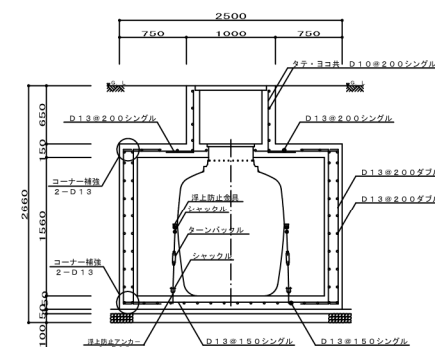
浮上防止アンカー詳細図 1/20



内部平面図 1/30



ベース配筋図 1/30



断面配筋図 1/30

浄化槽本体に於きより150mm配付
 金具間は、55間

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
								浄化槽設備 構造物 平面図・断面図・配筋図	縮尺 S=1/60 (A3) S=1/30 (A1)